

海軍中佐廣瀨武夫君遺著

航南私記 全

修徳園藏版



558  
H566k

影眞君夫武瀨廣正中軍海故



影撮終最



影撮月一年四廿治明



海軍中佐廣瀨武夫君墓誌銘

君諱武夫、廣瀨氏、系出菊池氏、世仕岡藩、考諱重武、盡瘁維新之際、妣村田氏、君性仁厚、瀟灑好學、未弱冠、入海軍兵學校、明治廿四年、任海軍少尉、累進中佐、征清之役、從軍有功、後奉命駐劄露京六年、頗通國情、已而獨行衝雪、貫西比利、窮東清鐵道而歸、卅七年二月、我水師之攻旅順、君爲朝口水雷長、廿三日、與右馬中佐等、率死士七十餘人、分乘五艦、進冒砲火、自沈之以塞港口、効未完也、三月廿六日、再往沈四艦、爲振古未曾有之壯舉、君從容移部下於小舸、猶少一士、三還索之、砲丸忽掠全身去、僅留一片肉、實廿七日拂曉也、天下傳其英風、稱爲軍神、是日、叙功三級勳四等、越十有五日、贈正四位、四月十三日、葬遺體青山之原、君生明治紀元五月十三日、年卅七、未娶、無嗣、兄勝比古現大島艦長、君臨再往、題詩朝日艦壁、錄以代銘、曰、

七生報國 一死心堅 再期成功 含笑上船

序

我が 神州ハ 東方清淑ノ 氣ノ 鍾マル 所ニシテ 生民自  
ラ 樸實上古

天祖建國ノ 大猷ニ 遵ヒ 忠孝一途 萬古變ラズ 各其ノ 天  
職ヲ 盡クス之ヲ 稱シテ 日本魂ト 曰フ 抑此ノ 日本魂ハ  
日本民族ノ 特有ニシテ 諸外國ノ 未ダ 嘗テ 知ラザリシ  
所ナリ 然リ而シテ 今 征露ノ 役ニ 於テ 始メテ之ヲ 八紘  
ニ 表明スルコトヲ 得タルハ 豈愉快ナラズヤ

故海軍中佐廣瀨武夫君ハ 出征武人ノ 傑出セル者其ノ  
旅順口閉塞ノ 偉業ニ 際スルヤ 毎ニ 從容其ノ 任務ヲ 果  
タシ 殊ニ 部下ノ 一兵曹ヲ 索メテ 三タビ 破船ニ 還リタ



ルガ如キハ殆ド人爲ニ非ズ宜ナル哉世稱シテ軍神ト  
爲スヤ熟中佐ノ爲ス所ヲ視ルニ險ニ臨ム夷ノ如ク死  
ヲ見ル歸スルガ如ク精誠ノ到ル處形體ト相忘ル豈其  
ノ神タル所以ニアラズヤ然レバ則チ中佐ノ死セルハ  
形體ノミ其ノ偉功ハ千載朽チズ其ノ神ハ儼然トシテ  
天地ノ間ニ在リ感化ノ後人ニ及ブモノ豈窮リアラン  
ヤ  
余ハ中佐ノ忠勇ニ感シ曩ニ其ノ舊同藩ノ土工藤一記  
君ニ就キ中佐ノ爲人ヲ詳ニスルヲ得テ追慕ノ念愈深  
シ本書ハ中佐ノ少尉タリシ時南洋航海ノ日誌ニシテ  
中佐ニ在リテハ固ヨリ其ノ緒餘ニ過キズト雖モ而モ

其ノ志氣精神紙表ニ躍如タルモノアリ今工藤君ヲ介  
シ中佐ノ令兄勝比古君ノ許諾ヲ得テ鉛字以テ謄寫ニ  
代ヘ之ヲ知人ニ頒ツ讀者若シ尋常ノ紀行視スルコト  
無ク其ノ忠勇至誠ニ同情ヲ寄セ益日本魂ノ光輝ヲ發  
揚セラル、アラバ幸ナリ

明治三十七年秋九月穀旦

伯爵松平直亮識



### 凡例

- 一本編ハ廣瀨武夫君二十四五歳ノ交即チ明治二十四年九月二十日ニ起リ翌二十五年四月十日ニ終ハル二百餘日間ノ手録ニ係ル原本ヲ寫セシモノナリ想フニ職務鞅掌ノ傍ラ手ニ任テ筆セシモノ固ヨリ完璧ト云フヲ得サランモ武ニシテ文ヲ兼ル斯ノ如キハ亦以テ其ノ材ノ卓越セルヲ見ルヘシ故ニ一字ヲ忽ニセス勉メテ本來ノ面目ヲ存セリ
- 一編中ノ詩篇ハ特ニ福井學圃君ニ請ヒテ批點ヲ加ヘタリ
- 一卷端寫眞ノ一ハ二十四歳ノ撮影ニシテ本編記述ノ時ニ當レリ因テ其ノ最終ノモノト併セテ之ヲ掲ク又背面ニ墓誌銘ヲ印シ以テ小傳ニ代フ
- 一本編印行ニ關シ松本眞~~純~~君ノ助力少カラス茲ニ其ノ勞ヲ



謝ス

直亮又識

二

### 航南私記緒言

己ニ名ケテ私記ト云フ知ルヘシ唯一己余ノ境界ヲ筆ニ任セテ  
寫セシモノナルヲ

艦内日々ノ事業、操練、天候、風力、風位、推測、實測ノ經度、緯度、流潮、寒  
暖計、風雨、鍼ノ昇降、航路距離ノ如キハ海軍尉官トシテノ勤務日  
誌ニ記載スヘキヲ以テ此ニ詳ニセス

余ヤ元來疎懶ナリ故ニ唯其ノ意ノ如何ニ因リテ或ハ詳ニ或ハ  
畧ナリ又文章モ時ニヨリ漢文メキタル所モアリ倭文メキタル  
所モアルヘシ普通文ニ似タル所モアルナラン新聞紙メキタル  
所モアラン報告體ヲシキ所モアルヘシ是余ノ文ニ拙キノ致ス

緒言

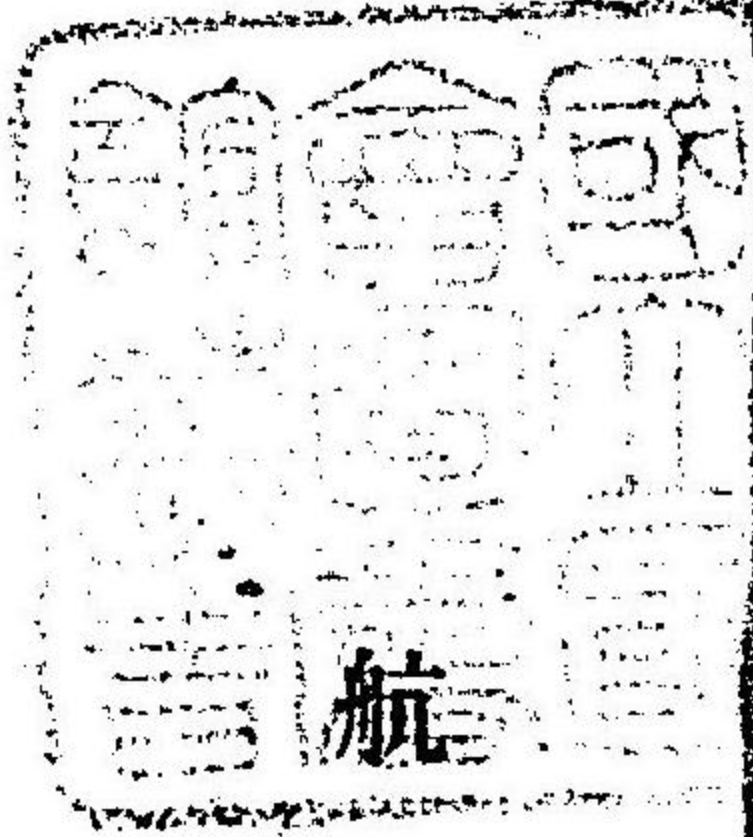


所讀ム人幸ニ之ヲ恕セヨ併シ文章ノ如何ニ因リテ事實ヲモ抹殺スルコト無シハ幸ナリ

余ヤ文辞ニ閑ハサル如ク又詩歌ニ通セス然レモ往々二三首ノ腰折數首ノ惡詩ヲ挿ム是唯余ノ其ノ境界ニ臨ミテ浮ミタル感想ヲ出鱈目ニ列ネタルノミ

余ノ此ノ艸ヲ起スマ余ノ遠航中ノ有様ヲ重ニ家大人其ノ他知己ノ諸友ニ示スニアルナリ讀ミ到テハ其ノ意ノアル所ヲ知ルニ足ラン乎

大日本 廣瀨武夫誌



南私記

海軍中佐 廣瀨武夫君 遺著

伯 爵松平直亮 校

大日本帝國軍艦比叡ハ實ニ  
今上天皇明治廿四年九月廿日ヲ以テ大日本帝國品川灣ヲ拔錨シ總員三百六十一人ヲ載セ茲ニ南洋航海ノ途ニ上ル

大鵬の羽搏今日の征途かな

大日本帝國軍艦比叡ハ英國有限責任ミルホールドヘウン會社ノ製造ニ係ル同會社造船及ヒ機關製造社員ベンブローク氏ノ計畫スル處タリ

艦種ハコルベット形ニシテ鐵骨木皮ナリ長サ二百三十一呎幅四十一呎深サ廿三呎五吋喫水前部十六呎後部十九呎排水量二千二百四十八噸トス而シテ水線ノ上下ニ於テ厚サ四吋半ノ甲鐵帶ヲ有ス

機關ハ英國ヤール會社ノ製造スル所ニシテホリゾンター、コンバウンド、レタンコ



ンネクチングロッド、エンジンタリ、サーヘイスコンデンサーヲ有シ、グリフヒス氏  
推進機ヲ備フ實馬力二千五百トス

裝帆ハ、バークリグニシテ總面積一萬二千四百九十八平方呎タリ

兵裝ハ十七瓏克砲二門、十五瓏六門、八瓏二門、短七、五瓏二門ヲ備フ十七瓏ハ追擊砲  
并ニ側砲トシテ使用セラレ十五瓏ハ側砲ニノミ用非ラレ八瓏ハ禮砲七、五瓏ハ艇  
砲并ニ野砲トシテ用非ラル艦尾旋回砲トシテ尙十七瓏一門ヲ有セシガ候補生練  
習艦タルニ及ヒ之ヲ卸シテ候補生室ヲ擴ム然レモ事アルノ日ニ當テハ再ヒ搭載  
シテ使用スルヲ得ヘシ

尙諾典機砲六門ヲ備フ中四門ハ一吋口径ニシテ艦首艦尾各舷ニ外二門ハ小銃口  
徑ニシテ前檣樓大檣樓ニ備ヘ得ヘクス

水雷ハ、シクスコトプ氏式魚形水雷六個ヲ搭シ艦首發射管二個ヲ有ス

發電機ハ、ブラシユ式ナリシカ此航海ニ際シ代ユルニ、シイメン式ヲ以テシ、ゲルン  
フオクスル上ニ電燈一個ヲ備フ

石炭ハ五十七萬斤ヲ貯ヘ一晝夜五萬七千斤ヲ費シ以テヨク十晝夜ヲ連航スルヲ  
得ヘク其全速力ハ十三海里七五ヲ得シモ一昨廿二年ノ公試運轉ニハ十二海里七  
五ニ減セリ



欠

MISSING



マストステイスルヲ展スタ軍事點檢後溺者救助法配置ヲ讀ミ之ヲ行フ其ヒ<sup>註</sup>ツ<sup>註</sup>ヨリ順廻盈風ヲ行フニ當リ風下ニ落テ難ク漸クニシテ前進路ニ復スルヲ得タリ

此日正午北緯卅三度廿二分東經百四十五度四十三分針路南六十九度廿三分東距離八十六哩風位北西ニシテ其力ニヨリ三ニ至ル

此日潮ヲ沸カシ總員ヲシテ入浴セシム其法帆布ヲ以テ方八尺深サ五尺餘ノ袋ヲ製シ上甲板ニ於テ其四隅ヲ釣リ潮ヲ唧筒ニテ注入シ補助汽罐ヨリ蒸汽ヲ細管ニテ送り二三分時ニテ温湯トナル衆一浴快ト稱セサル者ナシ

體量ヲ測ルル十七貫二百六十目之ヲ航海前去ル十七日講道館ニテ測リシトキニ比スルニ已ニ二百六十目ノ增量ヲ見ル余ノ東京ヲ去ルヤ實ニ千斛ノ愁ヲ殘シテ去レリ前月廿五日余ガ小弟ヲ東京ニ遊學セシム未タ一句ナラス腸窒扶斯ニ罹リ大學醫院ニ托ス是余カ生涯始メテ單獨家事ノ累ヲ見シ者ナリ然ト雖發途後之ヲ憂フルモ亦一ノ益スルヲナク且ツ盡スヘキノ手段已ニ盡シ得タレハ又意ニ介セス實ニ欣々快々トシテ海上ニ出テタル此活快ナル境界余ヲシテ體重ヲ増加セシムル是其原因ナルカ

雇夫中剃夫トシテ乗組ム者アリ嘗テ講談師ノ伴ニ入り口舌ヲ以テ糊口ノ資トナ



セシ者ナルカタ得意ノ講談ヲ始メヌ聽ク者座ニ滿ツ是毎夕航客消閑ノ一具ナリ  
宮本武藏水滸傳中ノ史進魯知深等ノ豪傑嘖々口頭ヨリ迸出シテ來ル

○廿四日木曜 晴驟雨屢來襲スタ下手廻配置當直アツバルセル絞方ノ配置ヲ  
爲ス

風向ハ廿二日正午ヨリ右回シ此日午後五時全ク一回轉變スルヲ見ル其間殆ト五  
十三時間ニシテ平均三ノ力ヲ有セリ午後六時下手廻ヲ行ヒテツキヲカユ

正午北緯三十二度七分東經百四十五度四十五分潮流一時間奇零九哩ニシテ其方  
位東北ニ向テ流ル航路南二度東ニシテ距離七十五哩ナリ

○廿五日金曜 晴總員ニ衣服洗濯ヲ許シヌ素ヨリ制限ノアル水特ニ長途ノ航海  
ニシテ蒸餾シ得ル量モ漸ク其日ヲ支フルノミナレハ與フル量トテ多カラス然レ  
モ限アル衣服ノ汚レタルヲ其儘打棄テ置クトモナラス候補生ヨリ水兵共ニ至ル  
マテ各自洗濯ヲ爲ス洗濯物ノ夥シキリチロープニ掲ケ切レス上甲板衣服ノ林  
カト疑ハル小銃操練ヲ爲サシム正午北緯卅一度卅一分東經百四十六度七分針路  
南廿七度東ニシテ漸ク四十一哩ヲ走レリ潮流ハ北廿三度東ニシテ十一哩アリ已  
ニ黒潮ノ區域ヲ脱セリ

○廿六日土曜 晴例ニヨリ下甲板大掃除ヲ爲ス木曜日ニハ下甲板中掃除土曜日

ニハ大掃除ハ是艦内ノ日課ナリ以下略ス

風位北西ニシテ其力二或ハ三ナリシカ午後四時頃ニハ其力加ハル五ニ及フ正午  
緯度卅度廿三分東經百四十七度六分針路南卅三度東直航路九十二哩海流正南ニ  
シテ八哩アリ

○廿七日日曜 曇驟雨屢來襲ヌ又電光屢閃ク

洋心一碧水如天時見亂雲頭上懸叱咤收帆聲未畢狂飈送雨捲  
船舷

此日午前艦長分隊點檢下甲板點檢ヲ行フ終テ勅諭拜讀式ヲ行フ

正午北緯二十八度廿五分東經百四十八度九分針路南廿六度東ニシテ距離百廿三  
哩潮流南卅度東ニシテ十哩ナリ

○廿八日月曜 晴防水扉閉方コリジョンマツト備方ヲ試ミ又大砲操練水雷操練  
ノ手續ヲ爲ス正午北緯廿六度卅三分東經百四十八度三分針路南三度西直航路百  
十二哩ニシテ潮流ハ南六十一度北ニ六哩アリ驟雨屢來ル午後重虹ヲ見ル一ハ我  
艦側八番砲門ノ直下ヨリ起ル一奇觀ナリ

○廿九日火曜 晴陸戰隊編制アリ又洗濯水ヲ給ス實ニ斯ル優ナル航海ノ如キハ



稀ニ見ル處ニシテ常ニハ驟雨來襲スル毎ニ各自洗濯ヲ爲スアルノミ艦内ニテ水ヲ貴重スルハ陸上ノ人ノ夢想セサル處ニシテ一掬ノ水ニモ制限アリ蒸餾機其他故障ナキハ於テスラ一日費スヘキ用水艦長二升各士官一升五合候補生一升下士以下ハ漸ク五合トス朝口ヲ嗽キタル後手拭ニ浸セハ僅カ五合ノ水ノ如キハ又一掬ヲモ殘サルナリ

「ボースンバールド」其他二三ノ島ヲ見ル格蘭パス島ヲ去ル遠サルノ致ス處カ此島ノ經度緯度未タ確然タラスト云フ此日正午北緯廿五度六分東徑百四十八度十分針路南四度東直航路八十三哩流潮北五十度西ニシテ五哩アリ「マーカス」島ヲ距ル二百八十一哩南四十二度東ニ方レリ正午針ヲ轉シテ北緯廿一度四十分東徑百五十一度卅五分ノ「マーシャル」島ヲ指ス昨日來風位天候共ニ已ニ貿易風圈内ニ入シ者ノ如シ

征帆孕得氣何雄已駕東方貿易風一碧茫茫天如水濛濛破浪大洋中。

○卅日水曜 晴風力弱ク一ヨリニ至ル午後六時熱帶ニ入ル熱帶トテ急ニ熱ヲ感スル者ナラス東京灣口ヲ出シヨリ天候或ハ風向ニヨリ差異アリト雖モ大凡緯

度二度ヲ下ル毎ニ寒暑針一度ノ昇加ヲ見ル本日八十五度ニ至ル

正午北緯卅三度四十五分東徑百四十八度卅分針路南十二度東航路八十七哩流潮南九度東ニシテ十七哩アリ正午ヨリ針路ヲ「ガム」島ノ北端リチデアン岬ニ求ム然ルニ當季「マリアナ」列島近傍雨量多ク北東恒風及南西信風ノ會スル位置ナルヲ以テ可成的之ヲ避ンカ爲ニ充分析ヲ開キ尙南東ノ針路ヲ保續ス  
戰闘操練ヲ行フ摩擦管小銃空砲ヲ發ス茫々タル洋心ニ爆々タル砲聲定メテ無數ノ海族ヲシテ驚カシメシナルヘシ

○十月一日木曜 曇貿易風ヲ得タリト言ヒシトモ今日ニ至ツテ其謬レルヲ知ル風力漸ク衰へ午後四時雨一過スル後殆ト無風トナル屢「ヤード」ヲ旋廻シ或ハ脚蹯法ヲ行フモ風至テ微ニシテ艦ヲ進ムルニ足ラス午後五時十分終ニ盡ク横帆ヲ疊ミ縱帆ヲ展シテ待ツ一詩ヲ得

渺矣大洋中唯從浪與風征兒苦無事爭釣信天翁

正午緯度北廿二度五十四分經度東百四十八度五十四分針路正南ニシテ五十一哩ヲ走ル流潮南ニ十五哩アリ彈藥庫及ヒ機關砲操練ヲ行フ  
鉢量十七貫三百二十目身體益ス強健ナルヲ知ルヘシ流潮ノ方位速力ヲ測ルカ爲ニ其他ノ經緯度ヲ記シ月日時及ヒ艦名ヲ添へ之ヲ空瓶子ニ密封シテ海ニ投ス是



航客ノ屢試ミル處ナリ我艦此日午後三時四十分ヲ以テ又之ヲ試ミヌ知ラス空瓶  
子何レノ邊ニカ流レ何レノ地ニカ到ラン

○二日金曜 晴空氣頗ル煩鬱タルヲ覺ユ午前七時廿分總帆ヲ展シ桁ヲ開ク風稍  
出テ午後速力五節ヲ示スニ至ル大砲操練アリ正午北緯廿二度卅分東經百四十八  
度卅一分針路南二度東ニシテ僅ニ廿四哩ヲ走レリ流潮南四十三度東ニシテ七哩  
アリ

○三日土曜 曇火災操練アリ正午北緯廿度卅六分東經百四十九度二分針路南十  
四度東距離百十八哩ヲ得流潮南十八度東ニ九哩アリ此夜ヨリ實ニ我海軍ニ於テ  
未タ曾テ聞カサル猛烈ナル颶風ニ逢フ一生涯ニ於テ幸ヒ幾度カカ、ル荒天ヲ凌  
キ吾伎ヲ試ミ吾膽ヲ練リ得ル者カ今左ニ此大畧ヲ記述セン然ト雖モ此颶風遭難  
ノ景情ヲ遺憾ナク記述シ得ル才筆ハ天下果シテ幾人カアル韓歐柳蘇ト雖モ恐ラ  
クハ十カ一ヲ記スル能ハシ況ンヤ余ノ如キ文辭ニ嫻ハサル者ニ於テヲヤ水路誌  
或ハウインドチャート等ヲ按シ九月末ニハ北緯廿五六度ニ下レハ偏東貿易風ノ  
吹クヲ期セシモ事豫想外ニ出テ貿易風ヲ得タリト喜ヒシモ長クハ續カス終ニカ  
ームトナルナト皆案ニ相違セリ尤モ當季ハマリアナ鮮島雨多ク且ツ東北及西南  
ノ恒信風相會スルノ邊ニシテ颶風ノ虞アリトノヲナレバ遠ク東ニ避ケタルモ終

ニ此危險ナル颶風圈内ニ入ルニ至レリ二日大氣頗ル鬱シテ煩悶ヲ覺エ一旦無風  
ノ後風吹き出シ其力三ヨリ四ニ及ヒ三日ニ至リ風力益加ハリ晴雨計漸ク下リ大  
氣倍ス鬱シテ煩悶ヲ感シ天候不良ニシテ淒涼ヲ覺ユ午後二時北緯廿度廿六分東  
經百四十九度二分ノ地ニ至リ風向東北トナリ其力漸ク強ク六ニ至リ晴雨計倍下  
ルヲ以テトツブスルヲ二縮シ「ゲルンマス」トヲ半下シ「ストルムステニスル」フオー  
ルトツブマステニスルヲ展シ「ジブメインスル」ヲ疊ミ風上ノ「トツブスルヤイ  
ダーム」及ビ「フオーイルロワイヤードーム」ニ「ブレメンダ」ブレニスラ置キ「トツブス  
ルヤード」ニ「ブレメンダ」バレルヲ置キ又「トツブマステニスル」ヲ下ス午後六  
時廿分大砲及ビ「ブームス」ヲ緊縛シ不虞ニ備フルナト用意頗ル周密ナルヲ以テ天  
如何ニ荒レ浪如何ニ高ク風如何ニ怒ルモ先ツ意ヲ安ニスルニ足ラント坐ニ想像  
ヲ畫キタリキタニ及ヒ滿天赤褐色ヲ呈シ滿目荒涼タリ水鳥アリ飛ヒ憊レ艦ヲ慕  
フテ去ラス輒スク手獲セラル、者二羽海上波荒レテ安シ難キヲトスルニ足ルヘ  
シ九時頃一天全ク晴レ渡リシモ十時一點ノ黑雲風上水天ノ際ニ現セシカ忽然滿  
天ヲ覆ヒ驟然タル疾風驟雨ヲ伴ヒ來ル十一時風力倍ス強ク終ニ大強風トナリ風  
雨鉞ノ下降倍ス急ナリ全卅分機鐘ニ點火ヲ命シ突然號笛一聲掌帆長屬ノ大喝一  
聲總員上へ衆倉皇上甲板ニ出ツ詩アリ之ヲ記ス



狂鷺、地、驚濤、堆、翻倒、孤帆、又、殆哉、警笛、呼醒、弔牀、夢、健兒、三百、上、  
舷來

風怒號シ雨沱滂浪ハ舷ヲ撲チ艦動搖ス蹒跚タル步履踉蹌タルノ足働作頗ル困難ニシテ號令ニ從ヒ命令ニ走ラントスルモ言々語々風ニ破ラレ濤ニ壞カレ耳ニ達セズ夜暗黒咫尺明ナラス事ヲ辨スルニ苦ム唯艦副長ノ號令傳令ノ聲各士官ノ叱聲怒聲掌帆長屬ノ號笛僅ニ濤聲風聲雨聲ノ間ニ斷續タルアルノミ「ストルムステール」已ニ壞レ「メイントツプスル」「フォールトツプスル」「フォースル」ヲ絞リ「ブレイス」ヲ張りテ「ヤード」ヲ旋廻シ又再ビ「フォースル」ノ風下「クリュー」ヲ展シ艦ノ進路ヲ保タントセシモ機關働作スルニ及ヒ直ニ之ヲ絞ルナト其困難ナル殆ト名狀スヘカラス此ノ如キ荒天ニ此ノ如キ暗夜ヲ以テス櫓上ノ危険測ラレサルヲ以テ登桁疊帆ノ業ヲ取シムル能ハス爲ニ風ニ煽ラレ凄サ云ハン方ナシ尤モ大砲ノ滾轉「ブーム」ノ動搖スル如キアラハ一艦ノ運命モ殆ト測レサルノ惧アルヲ以テ倍ス其緊縛固定ヲ嚴ニシ「メンロープ」ヲ張りテ人ノ歩行ヲ助ケ「ウオツシポルト」ヲ助ケテ上甲板ノ水ヲ排シ「ターバリン」ヲ覆ヒテ海水ノ下甲板ニ入ルヲ防クナト準備聊モ怠ル「ナシ」機關部ニテモ非常ノ勉勵ヲ以テ蒸汽ヲ發生セシメ四日午後一時廿分ニハ

全ク推進機ヲ動かシ艦ヲ進退セシムルニ至ル因ツテ航路ヲ正西ニ取り怒濤山ノ如キヲ蹴破ツテ進ム艦舂動甚シク一舂一動蝶翼水中ニアリ又水上ニアリ水ニ入ルキハ久シク働カス機關破壊停止スルカ如ク水ヲ出ツルキハ空シク急ニ旋ツテ機關破壊センヤト疑フ一靜一急一停一動其凄サ何ト譬フルニ物ナシ其夜嚴戒艦内殆ト夢ヲ結フ者ナシ天漸ク明ク四面濛々晦々トシテ艦ハ全ク水煙ノ中ニアリ唯艦ヲ撲ツ濤其高キ片ハ山ノ如ク低キ片ハ谿ノ如ク激シテハ飛沫雨ノ如ク雪ノ如ク霧ノ如ク「チツシング」ヲ超エテハ瀧ノ如ク甲板ヲ洗ツテハ河ノ如ク艦橋ヨリ前甲板直ヲ見ル能ハス前甲板ヨリ艦橋ニ立ツ人ヲ見ル能ハサル「展浪」ノ打込ム間ニ漸ク其影ヲ認メテ互ニ其ノ事ナキヲ知ルノミ艦ノ滾轉舂動益ス甚シク傾斜計六十九度ヲ示スニ至ル其他ハ推シテ知ル可キナリ第二「カッター」稍破壊シ「フォールバントライン」「フォールトツプスルバントライン」切レ終ニ「トツプスルシート」切レ「ロワイヤード」ト相打ち鏘爾聲アリ閃然光ヲ發ス風上ノ「フォールリフト」尋テ切斷シ「ヤード」傾キ右舷「スイギングブーム」ハ其「チツキ」ヨリ折レ左舷ハ「チツキ」ヨリ折レ再ヒ中央ヨリ折レ「ブリットセール」ガ「フ」ハ破壊ス勢已ニ此ノ如シ「セール」ヲ疊マサレハ其危害又測ル可ラス終ニ勇敢ナル水兵ハ死ヲ冒シテ登櫓シ「ヤード」上ニ立チテノ働ハ實ニ勇マシク又目覺マシカリキ「メイントツプスル」ニアツテハ「メイントツ



ブスルヲ全ク疊括セシモ、フオールニテハ漸ク風上ヲ括リシモ風下ニハ近ツク能ハス爲メニ「セール」ノ半面ハ見ル見ル痛ク扯裂カレ恰モ秋末ノ芭蕉雨ニ叩カレ風ニ破レタルカ如ク又東子タル荒布ヲ取亂シタルニ左モ似タリ風雨減下降倍ス急ニ尙下ル又下レリトノ報告ニ尙カ又カノ驚嘆斷ヘズ風濤倍ス險惡何時收マル様モナシ蓋シ當時本艦ハ颶ノ左半圈前半圈内上弦ニ位置シ其中心近ツキ來ルヲ以テ益ス危險ニ逼ル者ノ如シ此カ運用術ヲ按ニスルニ其颶心ニ遠ルカ爲メ針ヲ北東ニ轉スルヲ良トスレ共此際艦首ヲ此方向ニ向ケ其強濤怒風ニ逆ラハンニハ艦艀ノ損害殆ト測ル可ラサルヲ以テ故ニ北西ニ針ヲ轉シヌ時正ニ午前九時卅分ナリ針ヲ轉シ風ヲ右舷ニ受ケタルニ未タ五分時ナラス打寄スル濤ノ勢凄シク「ガレ」ヲ奪ヒ去ラントシ殆ト其保持シ難キヲ以テ手斧一揮「ボートホール」ヲ斷チ敢ナクモ濤間ニ捲去ラレヌ全時五番砲門破レ上扉ヲ打壞シヌ特ニ一際凄シキ濤撞キ來リ舷ヲ襲フト見ヘシカアワヤト云フ間モアラハコソ右舷「チツチング」メキメキ聲アリ半ハ破壊シ終ラントス此瞬間タル殆ト滿艦ノ者ヲシテ一驚ヲ喫セシメシカ直ニ死力ヲ盡シ絞轆索具ヲ用ヒ板ヲ副ヘテ漸ク保持スルニ至ル斯ク損害ノ甚シク且ツ橋上ノ弱點風上ニ在ツテ此舷ニ風濤ヲ受クルハ策ノ得タル者ニ非レハ再ビ進路ヲ南ニ轉シ機關ハ其速力ヲ緩ニシ艦ノ位置ヲ殆ト全一ノ點ニ置クヲ目的

トシ以テ風狀ヲ窺フ十一時五分第一「ギグ」モ又其「フオール」ダビツトト共ニ濤ニ奪ヒ去ラレ第一「カッタ」ハ已ニ半ハ破壊ス午後三時ニ至ル風位稍東ニ偏スル者ノ如ク晴雨計ハ降ルヲ廿九呎、二〇ニ至ル尤モ中心ニ近ツキタルヲ知ル可シ之ヨリ又再ヒ昇リ始メ衆漸ク其中心ニ遠カルヲ知リ稍安ニスルノ色アリ實ニ此際唯頼ム者ハ機關ニ舵ノ二ツノミ五時五十分舵索切斷ノ報アルヤ實ニ又一驚ヲ與ヘヌ直ニ豫備舵索ヲ備ヘ張一張スルヤ又切斷セリ此報タル又實ニ驚愕ヲ重子タル者ト云フヘシ艦ヲ左右スルノ路ハ已ニ已ニ斷タリ艦内一全ノ心事此時果シテ如何ソヤ直ニ「ラフテ」クルヲ用ヒテ之ヲ補ヒ當直人員ヲ配シ舵索ト此索ニテ其夜ハ舵ヲ操リ漸ク艦ヲ左右シテ其進路ヲ保チ此夜モ全シク快ク夢ヲ結フ者ナカリキ此夜雨殊ニ甚タシク電光屢閃キ特ニ一段ノ凄キヲ覺ユ「ジブブーム」折レ第二「ギグ」流ル翌六日天已ニ明ケ浪漸ク穩ニ風稍減シ天候良好ニ赴クヲ覺ユ新舵索ヲ通シテ之ヲ用ユ正午ニ至リ殆ト普通ノ雄風ニ復シ艦内始メテ嚴ヲ解ク已ニ颶風ノ圈ヲ脱セシ者ノ如シ此朝艦内ヲ巡視セシニ其荒涼タル様亂蕪ノ狀ハ亂後ノ景カ兵火ノ跡カ洪水ノ後カ余ハ其景様ニ苦シムナリ前甲板ニ上ツテ愕一愕ス「ヘツドキヤ」殆ト無ト云フモ不可ナキカ如シ「ジブブーム」ケツブ「ヨリ折レ」スブリツトセ「ルガイブ」ドルヒンストライカイ「漸ク蝶扣ニ因ツテ保タレ寸々斷々タル」チツトト共



ニ「ボースブリット」ヨリ垂下セリ「ジブブーム」ハ三折シタリト見ユ其「フライングジブブーム」ハ其「ギヤ」ノ爲ニ流失スル「能ハス」追撃砲門ノ下浪ニ浮ヒ艦ニ牽レツ、アリ之ト「ケツブ」ノ間ハ已ニ去ツテ痕ナシ兩舷側ニ釣レル「ゲンガー」ハ其「アイボルト」ヲ抜キ「ストツブ」ヲ切り弓形ニ垂下セルヲ索ニテ辛シテ釣置ケリ右舷「スイギングブーム」ハナク左舷ハ漸ク其半折セル前部ヲ舷側ニ釣シテ維持セリ「ストルムテースル」ハ破レテ前甲板ニアリ「フォールトツブ」マストステースル「ハ裂ケ乍ラ漸ク其位置ヲ保チヌ後部ヲ見一見スルニ「ガレ」ハ「ダビット」ノミ立チテ其短艇ノ隻影ヲ止メズ第一「ギグ」ハ曲レル「アフターダビット」ノミヲ殘シ其ノ「フォールダビット」ト共ニ流失シ第一第二ノ「カツター」ハ半バ破壊シ漸ク數條ノ索ニ因ツテ其位置ヲ保チ第一「ギグ」ハ全ク其影ヲ殘サズ右舷「チツチング」ハ平板ヲ副へ索「テークル」ニテ緊縛セラレ「ブーム」ハ「ホーサー」ラフ「ジツカー」等ヲ縦ニ横ニトリテ其動搖ヲ支ヘラレ大砲ハ又盡ク緊縛固定セラレ索具ハ白ラキ塗具ハ剝カレ取亂レタル索ノ累々トシテ此所彼所ニ堆ク靴衣類帽子ナドノ算ヲ亂シテ彼隅此隅ニ散タルモ哀ナリ頭ヲ擧グレバ「フォールヤード」ドリフト切レ「シート」ヲ曳キ乍ラ左舷ニ傾キ「ソライスルガ」ト「ハ其」ヴングヲ切りテ動搖セリ「フォールトツブ」スル「フォースル」ハ僅ニ左舷ヲ括リタルノミニテ右舷ハ盡ク破レ扯裂ケ其形殆ド無ラントス「メインスル」ハ「ヤード」ニ正シク疊括セシモ「メイントツブ」スル「ハ漸ク「ヤード」ニ括ラレ又「フォールトツブ」スルヲ學ハンカト疑フ下甲板ニ入りテ又一愕ス卓ハ横タハリ柵ハ飛フ甲板ニハ水ヲ湛ヘ「ビスケット」ハ散亂シ手荷物ハ散ル油ノ流レタルアリ「豚脂」ノ落チタルアリ眞ニ落花狼籍玉石混合ノ躰實ニ目モ當テラレヌ有様ナリア、此荒天其暴ヲ極メ一艦ノ損傷一己人ノ損害ヲ計算セハ非常ナル者ナルヘシ艦内ニハ多年海上ニアリ屢生死ノ海ヲ出入セシ者モ少カラス皆舌ヲ捲テ曰ク斯ノ如キ颶ニハ嘗テ逢ハスト聞ク十七年我軍艦筑波ノ遠航ノ歸途日本近海ニ於テ遭逢セシ大颶風ハ我軍創立來第一ノ者ナリト然ルニ筑波ニ搭シテ其難ヲ凌キタル者モ十數名現ニ此比叡ニアリ全シク此颶風ヲ凌キシモノナルカ皆云フ到底今回ニ及ハサル遠シト之ヲ以テ推セハ今回ノ颶風ハ我大日本帝國海軍ニ於テ遭遇セシ難風ノ最大ナルモノト謂ツヘシア、天幸ニ此難ヲ下シテ余輩ニ實験ヲ與ヘタル余輩ハ天ニ向ツテ深ク謝セサル可ラサルナリ況ンヤ艦内三百六十一人一個ノ死者ナク一人ノ大負傷ヲナシタル者ナキニ於テ「ヤア、此難ヲシテ筑波海門天龍若シクハ武藏大和葛城等ノ諸艦ニ遭ハシメハ其損害タル此ニ止マラジ其覆没ノ不幸ヲ見ンモ或ハ測ラレザルナリ

颶風行ヲ作ル句々熟練ヲ闕クト雖モ自ラ欺カサルヲ證スルナリ



颶風行

二八

海國男兒志氣剛。滄溟到處皆吾鄉。狂瀾怒濤是師友。泛海豫期風伯荒。時維九月將航遠。片帆如葉太平洋。連日海上頗平穩。雄心却冀風浪狂。十月初三日之夕。水天處々浮雲黃。窮鳥投舷兆已見。滅却展帆太匆忙。三更一點雲潑墨。驀地疾風猛兩逼。一聲鐵笛直傳警。蹶然赴急救不得。帆々已破艦殆而。東西南北何處之。忽見烟筒黑龍躍。鯤尾蹴浪可若爲。寸前尺退往幾里。又近曉鐘八點時。鉞倍下兮風倍惡。乾坤晦冥一淒其。小索切兮大索斷。大材折兮小材飛。一波一濤幾覆沒。一艦安危機一髮。尤懼大砲脫緊鏈。舷側半摧水蕩汨。三個端艇被奪去。碎片一一隨溟渤。入夜閃電射人紅。操舵愈極運用工。幸有皇天未棄我。急補斷索見其功。三百健兒手操索。滿艦不眠夜亦終。曙色初生浪稍收。鉞倍上兮風倍柔。亭午雲散淨如拭。

水天萬里縹渺秋。健兒踴躍歡聲溢。佳氣鬱々籠檣頭。君不見日本海軍男兒價。艱難經來膽倍大。狂瀾怒濤來則來。世間何物果能挫。

余ハ三日、ラストドク直ヲ終リ直ニ就眠セシカ十一時頃夢稍覺メ檣桁ノ軋ル音釣床傾斜ノ度稍荒天ニナリシコトヲ感ス須臾機關長ノ聲アリ島田少機關士ヲ起シテ曰ク早速點火用意直ニ點火ト余ハ之ヲ怪ミ訝リタルカ突然總員上エトノ聲ニ叫破サレ蹶然帽子ヲ取リテ梯ヲ上リテ出ツ其夜ハ終ニ再ヒ下甲板ニ下ラス寢衣脱キ去リ肌着一枚罨隠ニ身ヲ固メテ終夜上ニアリ

○四日日曜 朝、メイントツブスルヲ疊括スルキ全シク登檣シ八時ヨリ十二時ニ至ル前甲板直ヲ爲セリ、トツブスルアレノ切レテ左舷海中ニアルヲ以テ、シトエンマル上ニ立チ、グラフネルヲ使ヒ之ヲ引入レタルルキ、如キ余カ顔面ヲ海中ニ突込タルコト同其夜又、フォルスト直ナリシカ雨衣ヲ著ケス大雨ニ暴サレ寒ニ戰キ乍ラ四時間ノ勤ヲ終リヌ其時一首ノ即吟ヲ得タリ蓋シ艦ニ酒樽ヲ開キ一杯ノ衛生酒ヲ與ヘラレ各員ノ勇氣著シク増シテ必死勞働セシヲ以テナリ

怒濤百尺忽成堆。千里如飛呼快哉。此間誰識一杯酒。十倍兒曹元氣來。

二九



當直ノ終一壘ノ葡萄酒ヲ携ヘ余ニ飲マシムル者アリ余一飲酒氣ヲ蒙リ疲勞ハ醉ト共ニ發シ「ガム」ニ打伏セシカ殆ト三時間半穩ニ夢ヲ結ヒ前後モ知ラザリキ是此遭颶中余一己ノ記事ナリ其各員ト勞苦ヲ分チ勤勉セシハ知ル人ゾ知ラン

○五月月曜 天測ヲ行フヲ得タリ正午北緯十八度五十七分東經百四十七度五十三分タルヲ知ル三日遭颶以來其位置ヲ變スルコト少ナキヲ知ルヘシ終日甲板片附ノ爲ニ忙ハシ

○六日火曜 晴驟雨屢來ル風位正南ニシテ漸ク減シテ二ニ至ル正午北緯十六度卅五分東經百四十六度五十七分航路南十八度西ニシテ百七十八哩ヲ走レリ遭颶後「ガム」島已ニ近ク帆ハ破レ「ブーム」折レタルヲ以テ專ラ汽力ヲ藉リテ進行ス

○七日水曜 晴五時四十五分天漸ク明ル頃右舷正橫水天ノ際ニ當リ雲カ山カト疑フ青螺「テニアン」島ヲ認ム是野島崎ヲ失ヒシヨリ始メテ眸ニ入ルノ陸地ナリトス「サイバン」島「アグリガン」島續テ見ハル午後三時廿分「ロタ」島ニ並フ翠色滴ラントス豐沃ナルヲ知ルニ足ラン形恰モ我讚州屋島ニ似タリ五時半「バウケ」フルヲ取付ク正午緯度十四度十五分北經度百四十五度卅分東針路南卅一度西ニシテ百六十四哩ヲ走レリ流潮北七十七度西ニ十四哩アリ

○八日木曜 前日來速力ヲ緩ニシ此日午前ヲ以テ「グアム」島「アブラ」港ニ入港セン

トス夜明ク港口ニ向ツテ進ム余ハ昨年二月此港ニ碇泊スルコト九日我舊知己ニ逢フノ想アリ

回頭故國已天涯、破浪征帆何處之、今日、舳頭笑、長楫、波光嵐影、舊相知。

港口暗礁アリテ危險ニ且ツ日ニ對シ前途實ニ辨シ難ク且ツ水蒸氣起リテ港一面ヲ覆ヒシ故其晴ルヲ待チテ入港十時十七分左舷錨ヲ投ス水深廿尋錨鎖六節ヲ出ス投錨ノ際「コンプレッサ」ヲ締ムル「ストロップ」ヲ切斷セリ位置「スタクルズ」島東イ南四分一南「アバ」島西端北東二分一東「ポイント」島南東イ南四分一東ニ見ル全五十五分檢疫者來ル一時間餘ニシテ去ル錨地素ヨリ良カラザルヲ以テ水路嚮導者ヲ呼ビ十一時五十分錨ヲ揚ゲ午後一時廿五分再ヒ左舷錨ヲ投ズ深サ二十尋錨鎖六節ヲ出ス本艦ノ位置闕文アリ

本艦ノ品川ヲ發シテ賀謨島ニ向フヤ期スルニ十月三日ヲ以テ碇泊僅ニ三日ヲ限ル然ルニ五日後レテ入港シ且ツ遭颶ノ爲修覆ヲ要スル箇所太タ多キヲ以テ茲ニ殆ト十日間定泊スルニ決シヌ艦内一全ノ上陸ヲ禁シ水兵火夫ノ中ヨリ木工鍛冶ノ業ニ曉レル者ヲ撰ビ木工助手五人鍛冶助手四人ヲ得非常ノ勤勉ヲ以テ各其



修理ニ係ル終ニ十六日ニハ盡ク落成ノ効ヲ奏シ天晴一個ノ軍艦航海ニハ少シモ支障ナキ儼然タルモノトナリ終ニ十七日出航スルニ到レリ

○八日午後第一「ギグ」ノ「ダビット」ヲ抜キ第一「カッター」ヲ「ブロー」ニ取入レ九日午後總帆ヲ取離チ「ケルン」マストヲ下シ「トツブ」スルヤ「ド」ヲ甲板ニ「フォール」ヤ「ド」ヲ「チツ」チン「グ」ニ下ダス十六日ニハ第一「カッター」ノ「ダビット」ヲ抜キシガ十七日午前ニ盡ク之ヲ備ヘ終リヌ「ジブ」ブーム「ハ」已ニ「スベア」ヲ用ヒ七日ニハ美事之ヲ備フ  
○九日ニハ航海長首府「アガナ」ニ到リ知事ヲ訪フ余ハ之ニ尾シテ都見物ヲ爲シヌ十日ニハ艦長軍醫長第二分隊長上陸知事ヲ訪問セシカ十一日知事外士官一名答訪セララル十三日艦長副長招カレテ知事ノ宴ニ赴ク十六日知事外數名ヲ招キテ宴ヲ「ケビン」ニ張ル艦内一全ハ三等分シ十四、十五、十六、ノ三日ニ於テ上陸ヲ許サレヌ各自ハ思ヒ思ヒニ散策見物ヲ試ミタリキ余モ十六日再ヒ上陸近郊ヲ遊歩セリ

訪「阿賀那」

斯郷、自使俗情疎、水色山光滿、賀謨、椰子清陰、三里路、涼風驅馬、入蠻都。

當島ノ記事ハ「寰瀛水路誌」ニ載スル處詳シト雖モ誤謬ナキニ非ス「アブラ」港ノ海圖

ノ如キ正確ト云フ可カラス盡ク信ヲ措ク能ハサルナリ

余前ニ陳述スル如ク現ニ昨年廿二年ニハ當比叻ニテ一月廿五日ヨリ二月五日ニ到ルマテ此臥夢島「ウマタ」港并ニ此「アブラ」ニ寄泊セリ今當時「レ」マーク「ブツク」ニ載セシ者ヲ抜キテ之ヲ記セン

「グアム」島一名「グアシアン」島「ハ」マリアナ群島一名「ラドロ」群島中ニアリテ其幅員最モ廣ク南西ヨリ東北ニ延キ長三十哩ニ及ヒ幅十哩ヨリ三哩ニ至ル處アリ北方一般ハ平坦ナル高邱ノ連リタルカ如ク南方稍突出セシ地ハ峯巒相連レリ

「ウマタ」港ハ本島ノ殆ト西南隅ニ在テ沿岸少シク灣曲シ東北南ノ三方ハ陸地ヲ以テ擁セラレ唯西ノ一方ノミ太平洋ニ臨ミ西南ニ當ツテ一個平坦ナル島アリ沿岸ハ岩礁峙チ端艇ヲ寄セ得ルハ唯二丁餘ノ砂濱アルノミ飲水ヲ得ルニ難ク其他船舶ノ需用ニ應スル物ナク香橙椰子唐芋ノミヲ得ヘシ昔ハ殖民政府モ此地ニ設ケラレ一時頗ル繁華ニ赴キシモ一千八百四十九年一月大地震ニ逢ヒ全都殆ト覆滅シ終ニ今日ノ如キ慘憺タル景ヲ呈スルニ至ル人家僅々四十餘戸家毎ニ家鶏牛豚ヲ飼養シ且ツ田地ヲ耕作セリ

「アブラ」港ハ該島西岸中部ニ位シ「ウマタ」港ヲ距ル僅ニ十二哩當群島中第一ノ良港ト稱シ軍艦商船ノ錨泊所ナリ現ニ我金剛比叻ヲ除キ米國捕鯨船四隻寄泊セリ港



内頗ル廣濶ナレモ礁岩多ク其陸岸ニ近キ所ハ特ニ多ク碁布羅列シ端艇タリト雖「カツター」以上ノ者ハ容易ニ近ク可ラス港口ニハ二個ノ暗礁アリ頗ル危険ナレハ宜シク注意シ陸地ニ近ツキ進ムヘシ我比叡ニハ爲メニ「ブイ」ヲ浮ヘテ其位置ヲ標セリ又港口ノ左ニ「レムナムリ」フ長ク斗出セリ其間一條ノ通路アレ共狹隘ナレハ通行セサルヲ可トス其陸「ビチー」村ニ行クニハ木杆ヲ植エタレハ之ニ因ツテ其礁ヲ避ケ端艇ヲ進ムヘシ村ハ又寥寥タル寒村ニシテ需要ニ充ツベキ物ナシ諸品多クハ皆之ヲ首府「アガナ」ニ仰ク

當島ノ事情ハ水交社記事第八號鈴木徑勳氏ノ寄送ニ係ル者甚タ詳ナルヲ以テ之ヲ附ス

長短篇一首ヲ得タリ

日本南去一千里。波濤堆裡認賀謨。幅八九里長卅里。全島無處不豐腴。椰子涼陰翠欲滴。芭蕉實熟百萬株。香橙累累莖三寸。不負航客稱樂區。土人廉直知禮節。溫順不似他蠻奴。自稱祖先出日本。容貌習慣太類吾。年來已屬西班牙。西人跋扈連責租。滿島生民無生色。江山到處欲荒蕪。嗚呼何日仁人出。仆暴救弱加版圖。

（「アント」ニ「ガ」ル「バ」ヲ「ム」氏此列島ヲ「ロス」アラゼラスト云フ蓋シ「ブレザン」ト愉快列島ノ意義ナリ）

「ビチー」村ヲ距ル五哩首府「アカニヤ」ニ到ル人家二千有餘戸人口六千ニ過クルト云フ政廳學校寺院兵營病院等ノ建築アリ兵營ニハ僅々六七名ノ衛兵ヲ認メタリシカ聞ク所ニ據レハ現役一百人豫備四百四人ナリト云フ商店五六個アリ漸ク用ヲ辨スルニ足ルヘシ日本人夫妻下田新太郎夫妻當府豪商「ジョセフ」ニ雇ハレ麵麩焼ヲ業トセリ一ヶ月廿五弗ノ給料ヲ得ルト云フ正直トテ至テ評判宜キ方ナリ當群島中唯僅二人ニ因ツテ以テ其本國人一般ヲ表シ居ル者ナレハ其責又大ト謂フヘシ此婦人身ニハ土人ノ服ヲ纏ヒタレハ余ノ「ビチー」村ニテ相見ルヤ其日本人タルヲ知ラヌ目スルニ土人ヲ以テセリ彼カ日本語ニテ我水兵ト談スルヲ見テ始メテ悟リタリキ

嗚呼敷島の大和心を人問はば朝日に匂ふ山櫻花ト詠セシ我大日本帝國人大和民族中ニモ僅々目前ノ私利ニ走リ我國威ヲ傷ケタル者アラントハ余ハ實ニ之ヲ信セサリキ然ト雖其實事ナルヲ奈何セン昨年比叡金剛ノ兩艦ノ此地ニ來ルヤ我通用貨幣一圓ハ一圓ニ五錢ハ五錢ニ通用シタリキ今年ニ至リテ一圓銀貨ハ漸ク五十錢ニ十錢銀貨ハ漸ク五錢ニ通用ス然モ其僅半額ノ價タルモ好ンテ請取ル者ナ



ク我貨幣ノ信用ハ殆ント地ニ落テタリ是嘗テ此ノ地ニ來リシ我日本人中一己目前ノ小利ニ走リ國家ヲ是忘レ我貨幣ハ僅米銀ノ半額ニ當ルト聲言シ我貨幣ノ此地ニ在ルヲ集メ己レノ懐ヲ温メテ歸國セシ者ナリシヨリ此地一般ノ信用ヲ害セシ者ナリト實ニ惡ムヘキノ所業ト云ツヘシア、我同胞ノ日本人中ニモ斯ル人アリトハ慨一慨

此ノ「マリアナ」群島ハ西曆一千五百廿一年三月六日世界周航者ノ先登タル彼ノ「マゼラン」氏ノ發見スル處ニシテ一千五百六十四年或ハ六十五年ナランカ「アンドロ」  
「スミゲール」  
「ロベズ」  
「レガスパイ」氏渡航シテ西班牙領ト聲言シ一千八百六十八年  
西班牙王「ヒリツプ」四世ノ皇后ナル「埃地利」ノ「マリア」  
「アンナ」ノ名ヲ取リテ「マリアナ」  
群島ト稱シ從來襲用セシ種々ノ名ヲ壓スルニ至レリ今尙西班牙王ニ因ツテ派遣  
サレタル奉行ノ支配ノ下ニ立テリ當時ノ奉行「ルイス」ハ陸軍大佐ニシテ今年八月  
任ニ就キシ者就任以降賦歛甚シク商賈營業稅ノ如キ卅八圓ナリシガ六十一圓ト  
ナリ爲ニ「アガナ」府ニ七軒ノ商戸アリシモ已ニ四軒ニ減少セリ酒家ハ一ヶ月一圓  
宛徵稅スト下田妻ノ話ニ昨夜乃チ十五日行商稅卅圓ヲ課セルノ令下ル蓋シ昨日  
迄ハ僅ニ五十錢ヲ課セシ者ナルガ忽チ六十倍ニ上レルナリト其他徵稅頗ル苛酷  
ナルニ似タリ此等ノ話頭信ヲ措ク可ラサルハ西人ノ跋扈虐待スル土人一般ニ之

ヲ畏怖嫌惡スルノ情甚シキ以テ推知スヘキカ

土人ヨリ「バナ」  
「マレンジ」其他ノ物ヲ得ル金錢ヲ用ユ可ラス交易スルヲ以テ雙方  
ノ利益トス「フォール」ノ者カ交易スルヲ見ルニ甚タ巧ニシテ「ハンカーチ」  
「フ」若クハ石鹼ノ一片ヲ以テ香橙數十個芭蕉實一枝ヲ得ヘシ此交易ニ就テハ頗ル奇談ニ  
乏シカラス駿河半紙五葉ヲ以テ西瓜一個ヲ得タル者アリ  
土人ニ梅毒多シ聞ク西班牙人嘗テ之ヲ齋セシ者ナリ醫師二名アレハ土人ニハ至  
ツテ評判惡シキ趣ナリ

馬尼刺ヨリ當賀謨「アブラ」港ニ寄り「ボネビ」島ニ回航シ歸路再ヒ「アブラ」港ニヨリ馬  
尼刺ニ往復スル蒸汽船一隻アリ漸ク二ヶ月ニ一回ナリト本艦發航ノ前二日信書  
ヲ本國ニ寄スル者ヲ集メ之ヲ當府ノ政廳ニ托ス郵便賃實ニ廿八圓ニ上リタリト  
云フ

恐ラク此郵便中去ル四日大颶風記事ヲ載セサル者ナカルヘシ十一月末若クハ十  
二月上旬ニハ日本ノ新聞ニハ噴々之ヲ記載スヘク海軍一般又乘組員一家ニハ其  
通信ヲ讀ンテ一愕ヲ喫スルナルヘシ

余ハ嘉納塾知己ノ人ニ記行ヲ送ル約アリシカ倉卒ノ際書綴リテ送ルテトノ餘暇  
ナキヲ以テ僅カニ航海中ノ詩歌ヲ書列テ以テ其責ヲ塞キ又家大人家兄ニモ又然



リ親思ふ心に優る親心今日の音信何と聞らんとハ穿チ得タル者ト云フヘシ今ノ通信ニ對シ慈祖母愛父ノ心裡果シテ如何ソヤ又他ノ二三知己ニ書ヲ送リヌ十月十五日ハ我舊曆九月十三日ニ當ル此夜何時ニナク雨ヲラス月光明ナリ不識庵能州ノ月ニ吟スルノ詩今我境界ニ髣髴タルヲ覺ユ感慨ニ堪ヘス不識庵ノ韻ヲ踏ンテ一絶ヲ作ル

一碧秋天萬里清。眩頭橫槩月三更。青衿又濕健兒淚。坐教家鄉憶

### 遠征。

賀謨記事ヲ終ルニ臨ミ氣候ニツキ尙筆ヲ勞セサル可ラス該叢島ハ日々雨ノ降下スルト瀑布ノ奔湍スルカ如ク乾期雨期ノ別ナク終歲天日ヲ見ス蓋シ太平洋ヨリ蒸發スル水蒸氣該叢島ヲ經過スルノ際收縮シテ雨トナル且ツ風四方ヨリ吹來リ晝夜風雨ノ絶ユルキナシナルバヌ號ハ十二、一、二ヶ月間此處ニ碇泊セリ此時季ハ即チ所謂乾期ナレモ日々降雨甚シ而シテ土人ハナルバヌ號乗組員カ天氣陰鬱ナリト云フヲ聞キ却テ奇異ノ想ヲ爲セリ以テ日々降雨ノ多量ナルヲ徵スルニ足ル是寰瀛水路誌ニ載スル所ノ一節ナレモ頗ル過張ナルカ如シ終歲天日ヲ見サルナト、ハ虛ナリ本艦碇泊中殆ト一日數回ノ降雨セサルヲナシ唯十五十六ノ兩日

ハ殆ト晴天ナリシモ多少微雨來レリ其雨ノ多キハ實ナレモ水路誌ニ記スルカ如クナラス

溫度ハ平和ニシテ之ヲヒリツピン叢島ニ比スレハ多ク寒冷ナルヲ覺ユ然ルニ住民ハ八九月ハ暖熱甚シク爲メニ窒息スルニ至ルト云フ是北東恒風ノ斷止スルニ因ル此恒風ハ一年間絶ヘス連吹スト雖此二月間ハ一時斷止シ南西信風之ニ代リテ吹ク然レモ該風ハ該叢島マテ吹キ來ラサルヲ以テ全く無風ト云ツヘシ是レ此二月間ハ暖熱酷烈ノ時季ニシテ雨降下シ暴風猛吹シ屢恐ルヘキ颶風ノ起ル所以ナリ是モ亦水路誌中ノ一節ナルガ四日遭遇セシ颶風モ此ニ原因スルヲ知ルヘキナリ窒息スルニ至ルト云フモ亦過張ナリト云ツヘシ炎暑ノ際天日ニ暴露セル石ニ足ヲ着クルトキハ火膨ヲ生シ恰モ火傷ト同狀ノ觀ヲ呈スト土人ハ云ヘリ稍信ヲ措クヘシ

○十七日土曜 午后一時拔錨臥夢島アラ港ヲ去ル笑ツテ相迎ヘタル山光水色又別ヲ惜ムカ如ク港口ヲ出テ願一願スルニ黑風白雨已ニ港ニ滿チ晦々タリ濛々タリ前途ヲ望一望スルニ水天渺タリ又茫タリ不知今夜宿何處。平沙萬里絕人行。ト陸ト水トノ差ハアレトモ又此感ナクンハアラサルナリ二時縱帆ヲ展ス三時ウマタ港ニ并フ後ヲ控スルノ邱昨春演習ノコトヲ想ヒ出サレヌ夕六時汽走ヲヤメ摠帆



ヲ展セシモ風力微ニシテ艦ヲ進ムルニ足ラス直ニ之ヲ絞リ再ヒ汽走ヲ續ケヌ  
○十八日日躍 晴午前八時摠帆ヲ展シ汽走ヲ止ム風位東ニシテ其力二ヲ得タリ  
九時半人員調査ヲ行フ

正午北緯十一度卅五分東經百四十五度十六分針路南二十度東ニシテ距離百五哩  
流潮北七十度西二十一哩アリ

○十九日月曜 曇驟雨屢來リ風位時ニ變ス桁ヲ開キテ之ニ適合スルヲ屢ナリ  
正午北緯十度十三分東經百四十五度廿九分針路南九度西ニシテ八十四哩流潮北  
五十八度西ニ九哩アリ

此日ヨリ冬期日課ヲ施行ス抑モ日課ニハ夏期冬期兩日課アリ又其一期日課中ニ  
航海碇泊ノ別アリ時已ニ十月中旬ヲ過ギタリト雖氣候益ス炎暑ニ赴キ日愈ヨ長  
キニ方リ冬期日課ヲ行フハ兩日課ニ慣サントスルニアルカ然ラスシテ單ニ冷氣  
ニ向ヒ日中ノ短キノミ行フトセバ來年仲秋ノ候ニ至ルマデ又日課ヲ蹈ム能ハサ  
レバナリ

本艦出帆以來疾病ニ罹リシ者殆ト少シ唯一人赤痢ヲ患フル者アリシガ數日ニシ  
テ全治セリ頃日又一人ノ脚氣患者ヲ生シ又艦内大ニ戒心スル處アリ此日艦長總  
員ヲ「クオーターデツキ」ニ集メ各員尤モ其衛生ニ怠ルコトナキヲ訓誡シ且ツ醫官ノ

勸說ニヨリ糧米ノ分量ヲ減スルコトヲ告ク但シ一人一日白米六十八匁ナリト嘗テ  
十六年我軍艦龍驤ノ南米遠航ニ方リ脚氣患者ヲ生シ終ニ廿三人遠逝ノ客トナリ  
終リヌ聞モ恐ロシキ事ナレハ以後尤モ意ヲ糧食ニ留メ殆海軍部内ニ此病ヲ斷チ  
タリシニ今回茲ニ一人ノ患者ヲ生セントハ衆心大ニ安ンセサル所ナリ患者名ハ  
本田久五郎二等水兵ニシテ出帆前吳海兵團ヨリ轉勤セル者ナルカ轉乘前身體餘  
リ壯快ナラサリシト云フ

○廿日火曜 晴午後四時五十五分右舷艦首ニ方リ「グリムス」島ヲ認ム此島ハ西歷  
一千八百四十一年「ゼー」號船長「グリムス」氏ノ發見スル所ニシテ土地高ク聳ヘ樹  
木鬱茂シ周圍殆ト六哩ナリ其位置確定セス種々記載スル者アレモ英板大平洋諸  
島水路誌「西曆千八百八十五年」載スル所ノ北緯九度十五分東經百四十五卅三分ト  
アル者尤モ正確ナルガ如シ

正午北緯九度四十三分東經百四十五度廿四分針路南十二度西距離三十哩流潮南  
六十七度西ニシテ十三哩ナリ

○廿一日水曜 快晴午前三時五十分驟風雨大ニ至ル六時廿分「ウエストヘー」  
島ヲ右舷艦首ニ認メ七時廿分僅カ四哩ヲ距テ之ヲ正横ニ見ル此島ハ東北東ヨリ  
西南西ニ擴延セル一礁脈ノ中央ニ位セル一小嶼ニシテ「ビケロット」島ヲ距ル正西



五十五哩ノ地ニアリ嶼上全ク樹林簇立鬱蒼タリ數多ノ麵菓樹ヲ認メタルモ熱帶地方ノ特産タル椰子樹ハ一株モ認メヌ又一人ノ住ヲ者ナシト云フ十時四十分右舷艦首四點ニ方リ「ターカー」島ヲ認メタリシカ午後零時三十分六哩ヲ距テ之ト並フ此島一名「セクタ」ト稱ス西曆千七百九十三年十月二十五日宣教師「ウイソ」ナル者初メテ本島ヲ視認セリ北緯七度廿二分東經百四十七度六分ニ位シ周圍二里半餘ノ石花礁嶼ナリ椰子樹鬱茂全島ヲ圍繞セリ人口約二百ヲ有スト云フ已ニ「カロリン」叢島ヲカワリシ故五時ヨリ汽走ヲ止メ帆走トナス體重十七貫八百三十目ニ上ル去ル十一日ノ體重ハ十七貫五百目僅々十日ニシテ三百三十目ノ増加ヲ見ルカク體重ノ増加スル殆ト停止スル所ナキカ如シ

○廿二日木曜 晴正午北緯五度四十八分東經百四十七度五十七分針路南廿八度東距離百〇五哩ヲ得流湖南六十度東ニ卅二哩アリ已ニ赤道逆潮ノ區域ニ入りシ者ノ如シ此夕始メテ軍歌ヲ唱ヘシム慷慨淋漓瀉意氣爽然タルヲ覺ユ講談落語優弱ニシテ面白カラヌヲ喋々スルニ優ルヤ遠シ

○廿三日金曜 晴正午北緯五度十二分東經百四十八度四十三分針路南四十五度東ニ六十六哩ヲ走レリ流湖南八十四度東ニ卅六哩アリ風力甚々微ナリ

○廿四日土曜快晴 正午北緯四度五十二分東經百四十九度五十分針路南七十三

度東ニ七十哩ノ距離ヲ得タリ流湖北七十九度東ニシテ四十三哩アリ赤道逆潮ノ極メテ強キヲ知ルヘシ已ニ赤道ヲ距ル僅々三百哩内ニ至リ皆炎暑ノ赫々燦クカ如キヲ期セシニ連日頗ル涼氣ヲ覺ヘ日中寒暖計八十六度ヲ超ユルヲナシ海水溫度ハ反ツテ八十八度ノ高ニ達セリ此日鱈魚二尾ヲ獲タリ長各六尺有餘此航海ニ於テ始メテ獲ル所ナリ風力和ラキ艦遅々タルトキ鱈ヲ釣ルハ又艦内悶ヲ遣ルノ一樂事ナルカ海ニ在ルコト已ニ一閱月ニ及フモ未タ一尾ノ鱈ヲ尾スル者ナカリシニ今日此獲物アリ衆ノ喜ヒ知ルヘキナリ又「パイロツトフィツシ」一尾ヲ共ニ獲タリ「パイロツト」トハ水先ノ意義ニシテ鱈魚ヲ餌アル方ニ導キ誘フナリト其形奇異ニシテ腹背殆ト辨ス可ラス頭部平扁其狀恰モ草鞋ヲ戴ク如ク能吸着スルノ質ヲ有スルコト鱈ノ足ノ如ク鱈ノ腹部ニ吸着シ共ニ上リ來レルナリ余ハ之ヲ捕ヘ「アルコール」瓶中ニ密閉セリ鱈ヲ釣ルノ具ハ又聊カ記スルニ足ルヘシ其鉤ハ拇指大ノ鋼鐵製ニシテ之ニ鐵鎖二尺余ヲ附シ其ニ又半呎以上ノ「ロープ」ヲ附ケリ餌ハ牛肉若クハ豚脂ヲ布袋ニ盛リタル者ヲ挿シ艦尾ヨリ投スルナリ鱈ノ體ヲ返シ一嚼曳キ去ラントスルヲ機トシ當直事業部員ニテ之ヲ曳キ上ケ打殺スナリ翌朝已ニ食卓ニ上リ滿艦三百六十一人ノ舌ヲ鼓シ

○廿五日日曜 晴聚雨來ル午前分隊點檢倉庫點檢アリ終テ 勅諭拜讀式ヲ行フ



正午北緯四度卅二分東經百五十一度十六分針路南七十六度東ニ距離九十哩ヲ得  
タリ流潮北七十八度東ニ五十六哩アリ

○廿六日月曜 晴午後無風トナル電光屢閃ク夜半ニ至リ南東ノ風其力三ニ及フ  
者ヲ得タリ連日海上頗ル平穩濤甚タ滑ニシテ下甲板舷窓ヲ閉ツルコト稀ナリ緯  
度高キ洋上ハ無風ノドキト雖モ舷窓ヲ開キ得ル稀ニシテ屢下甲板ニ方形式ハ圓  
形其舷窓ノ形ニ隨ヒタル海浪ノ打込ムコトアリ賀謨ニ至ル迄士官次室ノ如キ屢  
靴ノ卓下ニ游泳スルコトヲ認メヌ釜屋大尉嘗テ詩アリ蓋シ眞ニ事實ヲ寫セル者  
ナリ附記ス

昨宵初入熱帶地。今朝風死水如油。海上猶存大溶裔。艦體依然多  
動搖。繙書冊臨舷窓讀。潮水襲來勢奔瀑。全身忽浴書欲流。消得一  
時炎熱酷。

正午北緯三度四十八分東經一百五十二度五十四分針路南六十七度東ニ百七哩ヲ  
走レリ流潮甚ダ大ニシテ正東ニ六十二哩アリ艦ノ頻ニ東ニ偏シテ走リシヲ知ル  
ヘシ

○廿七日火曜 曇大ナル樹根ノ西ヨリ流レ來ルモノヲ認ム小銃舶刀拳銃操法ヲ

行フ正午北緯三度廿七分東經百五十二度卅五分針路南四十二度西ニシテ僅卅哩  
ノ航程ヲ得タリ流潮北七十度東二十三哩アリ赤道逆潮ノ域ヲ脱セシヲ知ル

○廿八日水曜 曇ル驟雨來襲スルヲ數回又電閃ヲ見ル午前戰鬪操練ヲナシ空砲  
發火ヲ行フ轟々響音漢々タルノ烟快又快午後フオールトツブスルヲ交換ス大颯  
風ノ際寸々斷々ニ破レタルヲ繕ヒ見事一枚ノトツブスルトナシ展シタルナリ正  
午緯度北二度廿九分經度東百五十一度二十分航路南五十二度西航程九十五哩流  
潮北五十八度西ニ十九哩アリ赤道本潮ニ入ルヲ知ルヘシ

○廿九日木曜 曇ル電光ヲ見ルカロリン叢島ニ入リシヨリ日トシテ電閃ヲ見サ  
ルヲナシ風力至ツテ微ナリ斯ク緯度低キニ進ムマテ風ヲ得タルハ又期セサル處  
ナリシカ終ニ本日午後十時總帆ヲ絞リ瀛力ヲ藉リテ航進スルヲトナリヌ正午北  
緯一度卅五分東經百五十九度九分針路南五十二度西航程八十七哩流潮北七十三度  
西ニ四十九哩アリ赤道流潮ノ速度大ナルヲ知ルニ足ラン

○卅日金曜 此日午前十時二十分ヲ以テ我大日本帝國軍艦比叡ハ總員三百六十  
一名ト共ニ東經四十九度卅五分ノ經線ニ於テ無事赤道ヲ通過シ勢ヨク南半球ニ  
乘込タリ余ハ既ニ三タヒ赤道ヲ横キリ再タヒ南半球ニ入リヌ一詩ヲ聯ヌ

三橫赤道圈。一入南溟頭。夢魂慣風浪。海上換葛藟。經歷有未洽。半



世空優遊前途自遠遠斯志何日酬慷慨彈長劍秋高兩半球。

四六

艦長以下各將校準將校二十二名艦長室ニ於テ「シヤンペン」ノ杯ヲ舉ケ茲ニ 天皇陛下ノ萬歳ヲ祝シ目出度赤道ヲ通過セシコトヲ賀シ祝賀ノ歡聲ヲ舉クルコト三回時ナラヌ春ヲ生シスマ、赤道ヲ通過スルハ航海者ノ名譽トシテ赤道ノ神ヲ祭リ祝賀ノ式ヲ舉クルコトナルカ一昨年金剛ハ盛ニ此式ヲ行ヒ一人赤道ノ神ニ擬シ赤衣ヲ纏ヒ前檣頭ニアリ艦長以下乗組員一同ハ恭シク之ヲ奉拜シ艦長自ラ祭辭ヲ讀ミ赤道神檣頭ヨリ天下リマシマシ神勅ヲ下シ玉ヒ初メテ赤道ヲ横キル者ニハ各其藝ヲ神前ニ献セシム藝ヲ爲サル者ニハ海水ヲ浴セカケ笑ヒ樂ミ以テ航海中ノ一快事トシ長ク其話頭ヲ殘セシカ今年當比叡モ亦此舉アラシク期セシニ細雨蕭々終日晴レス爲ニ果サリキ熱帶ニ入レハトテ急ニ熱ヲ感スル者ナラス赤道トテ赤キ線アルニ非ラス其直下トテ世人ハ炎熱焚クカ如キ想ヲ爲スモ決シテ然ラズ此日ハ終日雨フリ冷涼ナル我梅雨ノ候ノ如シ黒服ニテ通過セントハ實ニ期セサル處ナリ寒暑計僅ニ八十一度十數回此赤道ヲ通過セシ掌帆長ノ如キモ今年ノ如キ氣候ハ嘗テ知ラサル處ナリト赤道ニ於ケル地球自轉ノ速度ハ一時間十五度乃ハ千九百海哩ニシテ我品川ニ於ケル速度ハ七百三十一哩半ナリ今余輩ハ日本ニ於ケル者ヨリ一時間百六十八哩半多ク此地球ト共ニ自轉スルヲ知ルナト、坐

ニ想像ヲ畫キタリ 昨年赤道ヲ横キリシ詩

磁針今夜向何州望斷洋心萬里秋回首北辰看不見長風破浪入南球。

此日實測ヲ得ス推測正午緯度零度十二分南經度百四十九度四十九分東トス斯ク艦位ハ確定セスタニ及ヒ「シント」マセアス「島」ヲ認ムルコトヲ期セシモ之ヲ認メ得サルヲ以テ夜ニ及ヒ速力ヲ減シ彷徨ス

○卅一日土曜 早朝舊針路ニ復ス「シント」マセアス「島」看レ共見エヌ午前七時廿五分艦首ニ當ツテ雲カ山カト疑フ一髮ノ青黛ヲ認メタリシカ續テ右舷ニ青螺ヲ見ル圖ヲ按スルニ初メ眸ニ入リシ者ハ「ラバンドラ」島ニシテ次ニ見シハ「シント」ガブリド「ロス」レエス「二島」トス共ニ「アドミラルチ」群島中ニシテ其東方ニ横タハル者ナリ艦ハ一昨日來赤道潮流ノ爲西方八十餘哩ノ遠ニ流サレシヲ知ル正午針路ヲ轉ジテ「ボート」アイランドニ向フ南六十九度東ニ方ツテ六十四哩ヲ離ツ午後五時十分左舷艦首ニ之ヲ認ム依テ又針ヲ轉ジテ「ニ」ブリテン「島」グリト「港」ヲ指ス正午南緯二度十五分東經百四十八度四十分

○十一月一日日曜 晴午前人員調査午前零時卅分「ニ」ユー「ハ」ノ「バ」ト「バ」イロンス

四七



トレイトヲ左舷正横ニ見ル一時四十分、サントウイツチ島ヲ左舷艦首ニ認ム二時五十五分該島ヒীগルボボイントヲ正横ニ見テ五時二十分始メテ「ニューブリテ」ヲ認ム艦ハ「ニューアイルランド」ノ海岸ニ沿ヒテ進ム全島皆山馬蓋ノ如ク峙チテ相連リ樹木鬱蒼一ツノ兀山ヲ認メ得ス山勢ノ延キテ遠ク黛ミタル我伊豫沿岸ノ景ニ彷彿タルヲ覺ユ幾株ノ煙立昇リ艦ノ近ツクニ從ヒ順次相傳フルハ警ヲ報スルニ非サルヤト疑フ男島母島南北娘山ヨク候島ノ勝宛然笑ツテ迎フルカ如ク追次吟眸ニ入り來リ殆ト應按ニ違アラザルナリ

舷頭長嘯覺心閑吟破鯨濤、  
浪間艦向東南五千里、  
天邊指點母

娘山

午后四時卅分「ニューブリテン」ノ「ブランド」灣口ニ入り同五十三分「グリートハーボア」ニ於テ左舷錨ヲ投シテ泊ス錨地「マツビ」島東端南ノ東二分ノ一東ニ其西端ヲ西南西四分ノ一南ニ見テ錨鎖三節ヲ出ス水深十一尋底質泥土トス艦ノ「ニューブリテン」島「マツビ」島「グリートハーボア」ニ寄航セントハ實ニ豫期セサル處ナリ加護ヨリ三十五日ヲ以テ「ニューカレドニア」ニ向フ筈ナリシカ彼ノ「マリアナ」洋ニ於ケル遭颶ノ爲豫算ヨリ石炭ヲ費ス多シ賀謨ヨリ赤道直下其他無風帶ヲ横キリ目的地

ニ達センニハ是非トモ汽機ノ力ヲ藉ラサル可ラス其之ヲ動カスノ原動力蒸汽ヲ發生セシムルノ石炭斯ク欠乏ヲ告ケタレハ茲ニ之ヲ搭載スル最近ノ地ヲ求メ終ニ此港ニ寄泊スル「ニューナリ」着スルノ日ハ已ニ豫備炭庫ノ石炭ヲ用ユルニ至リ餘ス處ハ僅々十三萬斤ニ過キス港内ニハ獨乙商會アリ石炭ヲ貯フト諸書ニ見ユルモ僻遠ノ地如何ナラント案シタリ現ニ一昨年當艦ノ「ヒジ」ニ於テ石炭ヲ求メタルキ有合セナク石炭船ノ入港ヲ待チテ漸ク用ヲ充シタル「ナリ」シガ幸ニ當港ニ貯フル物アリ早速之ヲ購買スルノ約ヲ結ヒシモ頗ル高價ナルヲ以テ漸ク百二十噸ヲ求メヌ一噸米量二千斤ニシテ其價六十志我國ニ於ケルヨリ殆四倍以上ノ高價ナリトス

當港ノ如キ瘴烟瘴雨鬼ノ棲ムテフ地モ如何ナル好因縁カ我大日本帝國軍艦ノ來臨ヲ忝ウスル茲ニ二回我軍艦龍驤ハ廿年「マデレイト」航海ノ歸途之ニ寄泊シ石炭ヲ積ンテ出港セリ時ニ吉島大佐艦長タリ平尾少佐副長タリア、此地モ亦幸ヒナル哉地誌ヲ讀ミ地圖ヲ按スルモ人ノ輕々ニ見過ス處モ龍驤比叡ノ兩艦ニヨツテ我日本人ニ紹介セラレントハ余モ又筆ヲ援リテ此ノ地ノ大畧ヲ記シ我父兄其他知己ノ友ニ紹介ノ勞ヲトラントス

新不列顛島ハ古昔ハ新幾尼亞ノ一部トシテ世ニ信セラレシカ一千七百年「ダンビ



「ル」氏渡航スルニ及ヒ初メテ一島ヲ形ツクリシモノナルヲ發見セリ南緯五度ヨリ七度半東經百四十八度ヨリ百五十三度ノ間ニ横ハル一大島ニシテ殆ト四十餘哩ヲ距テ有名ナル發見者ノ名ヲ殘セル「ダンピール」海峡ヲ以テ新幾尼亞ニ對シ「シントジョウジ」海峡ヲ以テ僅カニ新愛蘭土ト相距ツ面積大凡二萬四千萬方里ニシテ其沿岸ハ凸凹甚シク一千三百餘里ニ及フ内地ハ層巒相連リ樹木頗ル鬱蒼セリ又火山脈ニ富ミ母山附近ノ諸島皆此質アリ現ニ母山ト南娘山ノ間ニ於ケル一山嶺ハ猶噴火セリ

母山其高二千四百四十七呎屹トシテボルカン噴火半島ノ中央ニ聳ニ南北娘山其左右ニ峙チ北娘山ハ高一千八百六十六呎南娘山ハ一千七百廿七吹アリ此三山ノ麓底深ク入りテ「ブランチス」灣ノ北部ヲ形ツクル此灣ハ一千八百七十二年英艦「ブランチス」號ノ發見ニ係ル一大廣灣ニシテ三四ノ好錨地ヲ有ス廣サ四哩灣入七八哩ニ至ル我軍艦比叻ノ投錨セシ地ハ此「ブランチス」灣内「サルソア」ブリッジ兩角間ニシテ「マツビ」島ノ北「グリート」ハボウア譯本大港ニ作ルト稱スルノ地ナリ

該港ノ錨地ハ四圍ノ景色甚々雅致アリ母山娘山突屹トシテ峙テ翠色天ヲ摩シ其間ニ又噴火山坑アリ朝暮白煙ヲ吐ク「アツビ」島ノ椰樹繁茂シ其間ニ人家ノ點在セル一段ノ風致ヲ添フ「マツビ」島ト「ブリッジ」角ノ間ニ當リ遙カニ二個ノ大岩石屹然

トシテ相對スルヲ見ル我二見浦ニ似タリ蜂房列岩ト稱ス港口ヲ望メハ近クハ「サル」角遠クハ「ステエルズ」角嵐光滴ラントスル者ノ如シ且ツ港内頗ル平穩ニシテ風浪ノ虞少ナシ海水ハ濁リテ黄ニ汚レタルハ我品川灣ニ於ケル洪水後ニ似タリ是噴火ノ作用ニヨリ北岸ヨリ噴出スル硫黄泉ノ多キニ原ツクナリ余ハ一日此硫黄泉ニ入浴セリ海岸ノ岩石沙濱ノ間ヨリ沸々トシテ溫泉ノ出ツル我豊後別府濱脇ニ似タリ廣キ海岸淺洲中ニ出ツルヲ以テ溫度モ皆異ニシテ各人ノ好ム處適良ノ度ヲ得ヘシ四十餘日來久シ振リノ溫泉入浴トハ實ニ快又快心中ノ鬱ハ皮膚ノ塵垢ト共ニ洗ヒ流シヌ「マツビ」ハ周圍僅ニ二哩餘ノ一小島ニシテ新不列嶺島中第一ノ都會ナリ第一ノ都會ニシテ商店僅ニ二戸一ハ獨逸商會トス石炭火藥ヲ貯ヘ内地ノ物産ヲ纏メ之ヲ輸出シ又外品ノ輸入ヲ掌ル獨逸人三人アリ又一ハ支那人ノ商店トス各種ノ雜貨食料ヲ販クアルノミ其他ハ實ニ蠢愚ノ蠻民ノミ而シテ此叢爾タル黒子大ノ地ニ住スル者總計一千餘人ニ超ユルト云フ實ニ當時此「ピア」種屬新ブリテンノ土人ハ人口最モ稠密繁榮ノ時ナルカ蜂房岩ノ周圍ニ居ル者實ニ二百人ニ上ル水路誌ヲ閱シ此「ビーハイブ」岩ノ傍ニ二百人ノ住民ヲ見ルト記セルアルモ多クハ此「マツビ」島ノ誤ナラントテ信スル者ナカリシニ「マツビ」島ニ上陸シテ其謬見タルヲ知リ「ビーハイブ」岩ニ到リテ其真ナルヲ確メタリ然レ優勝



劣敗ハ數ノ免レサル處白哲人種ノ渡來多キニ從ツテ該ビアラス種屬ハ漸ク其數ヲ減シ終ニ全ク無キニ至ラン然リ其全ク無キニ至ランハ果シテ幾年ノ後ニアルカ余ハ斷言スル能ハサルナリ然レモ此地方ニシテ少ナク共十年以内ニ開墾其利ヲ收メントセハ盡ク土蠻ヲ撲滅シテ全ク其迹ヲ斷タシメサル可ラス實ニ該地ノ土人ハ殆ト獸類ナリ人間ニ伍ズヘキモノニ非ラス兇險ナリ多欲ナリ卑劣ナリ怯弱ナリ殘忍ナリ狐疑深シ白人ノ他蠻民ヲ禽獸視スル史上ニ屢見テ切齒扼腕スル處ナレモ余輩モ此土蠻ニ對シテハ全シク人間ノ稱下ニアルハ快キヲニアラス嗚呼此開化シタリト稱スル此ノ「ニューブリテン」ニテハ尤モ繁華ナル「マツビ」島ニ於テ此感アリ其内地ニ於ケル住蠻ニ於テハ果シテ如何迎モ尋常一樣ノ耐忍ニテハ敵フベキノ人種ニ非ラザルナリ

該島ノ蠻民ハ人カ鬼カ余ハ「サモア」「ヒシ」ノ蠻民ヲ見テ人間社會ノ最劣等如何ナル地ニ至ルモ我地球上ニ於テ見ラルヘキ野蠻ノ最低度ハ先ツ斯ノ如キ者ナラント想像ヲ私ニ確メタリシニ艦該港ニ投錨スルヤ例ノ獨木舟ニ乘リテ艦ノ傍ニ簇リシ土人ヲ見一見シテ呆レ果テタリ實ニ人カ鬼カ將タ猿猴ノ種屬カ遙ニサモアヒジ」ニ劣リタル者ニシテヨモヤ人間ニテハ殆トナカルベキカト疑ヘリ豈唯余一人ノミナランヤ艦内人トシテ驚キ呆レザル者ナシ今其躰格容貌ヲ記センニ

躰格ハ「ヒジ」サモア人ニ比スレハ劣リタリト雖モ概シテ餘リ弱キニアラス又強キニモアラス又大ナルニモアラス小ナルニアラス中脊中肉ニシテ健ナリ若年ニ於テハ姿勢正キモ中年ヲ過クル頃ヨリ重キヲ負フノ習慣ニヨリ稍前方ニ彎曲ス特ニ婦人ニ於テ然リトス皮膚ハ黑奴ノ如ク全ク黑キニ非レモ頗ル銅色ヲ帶ヒ往々黑白ノ斑點ヲ印シ恰モ蠶ノ背ノ觀アリ頗ル穢ハシ口ハ大キク唇ハ厚ク爛々タル眼ハ圓カニ頭髮ハ縮ミ上リテ釋尊ニ似タル多シ其色元來灰黑色ナレ共石灰ヲ塗リ或ハ種々ノ塗料ヲ施シテ青色赤色靑色黃蘗色等ト爲セリ鬚髯モ之ニ從フ者アリ鳥ノ羽ヲ挿シテ飾ル我簪ニ異ラス大抵耳輪ヲ穿キ又往々牛ノ如ク鼻骨ニ輪或ハ針ヲ通セシ者アリ求ムレハ輒ク之ヲ拔キ或ハ挿ス等奇ナリ大概裸躰ニシテ腰部ニ布片若クハ艸葉ヲ以テ僅ニ陰部ヲ覆フアルモマ、全ク陰部ヲ暴露シ少シモ恠色ナシ顔面或ハ躰四肢等ニ文身ヲ施セルコト又「サモア」「ヒシ」人ニ異ラス而シテ一種ノ日向臭キ氣アリ余輩ハ一見嘔氣ヲ催サントセリ慣ル、ニ從ヒテ漸ク其氣ヲ減シタリ

家屋又陋穢ニシテ僅ニ雨露ヲ凌クニ足ルノミ竹或ハ木ヲ樹テ、柱トナシ椰子其他ノ木葉ヲ以テ四壁及屋根ヲ覆フ長サ三間幅一間ニ過クル家ナシ寢床ハ杭ノ上ニ板ヲ並ヘ敷クニ椰子葉ノ席物ヲ以テス又唯單ニ地上ニ木葉ヲ藉キテ偃臥セリ



而シテ嚴ニ四圍ニ障壁門戸ヲ設ク蓋シ皆互ニ竊盜ヲ戒ムルナリア、カ、ル僻遠野鄙ノ地ニシテ此設アリ以テ該島蠻民ノ性質如何ヲ窺フニ足ルヘシ、蜂房列岩ニ二百人ノ住民ヲ見ルナト防禦的乃チ古昔城塞ヲ構ヘ割據スル者ニ異ナラザルナリ

食料ハ重モニ天產物ヲ以テ供給セラレ、ヤム、タロ、芋、馬鈴薯、椰子、芭蕉實、麵、麩、果等ヲ以テ日用ノ食料トス、其他豚肉、龜肉ハ美食ノ一トシテ貯蓄セラレ、鰐、鰻、海魚、鳥卵、龜卵其類ヨリ狐、栗鼠、蝙蝠ノ類ニ至ルマテ之ヲ喫フヲ厭ハス而シテ肉ヲ貯フルニハ乾燥セシメ或ハ燒燻シ決シテ鹽ヲ用ヒス、犬肉ハ其尤モ珍重スル所ニシテ僅ニ會長葬送ノ大典ニノミ用ユ又蜂蜜ハ神ヨリノ賜モノナリトテ之ヲ拾集ス都テ食料ハ婦人ノ擔任スル處ニシテ男兒ハ預リ知ル所ナラス

該土人元來食人種ニシテ、マツビ島ニ居住スル者モ皆嘗テ人肉ノ味ヲ知レリ内地ニ至レハ猶往々人ヲ食フ、ヨーク侯島新愛蘭土ニ於テハ特ニ甚シトス、彼蠻民ハ唯單ニ其味ヲ嗜ムノミナラス捕虜ヲ弄シテ之ヲ屠リ其痛苦號泣スルヲ見テ樂トナス者ナリト云フ

斯ク性質ノ殘忍ナルニ拘ラス又極メテ怯弱ナルハ奇ト謂フヘシ、余輩ノ上陸スルヤ土人ハ其近ツクコトヲ懼ル、者ノ如シ試ニ大聲一呼スレハ容貌鬼童ト疑フ兒輩

ハ反ツテ倉皇逃避ス又狐疑心極メテ深ク人ノ己カ家屋ヲ視フコトヲ忌ミ其己ニ近ツクヲ嫌フノ觀アリ交換買賣スルモ其價若クハ品物ヲ手ニセサレハ己レ手中ノ物ヲ渡サス又慾心深ク金錢ノ使用ヲ知ラス、爾モ價ヲ食ルコト甚シク容易ニ他ト交易買賣セス又假令ヒ木片石塊タリト雖他ニ與フルコト肯ンセス嗚呼此土人ニ比スレハ彼ノ「サモア」「バングバンゴ」土人ノ如キ剛勇大量磊落寡慾淡泊ナリト謂フ可ク之ヲ「ガム」土人ニ比スレハ霄壤月鼈ノ差アリト謂フヘシ、實ニ呆レ果タル蠻民ナリ土人ノ貨幣ハ「タブ」ト稱シ「コウリ」ト云ヘル小貝ヲ蔓條ニ貫キタル者ニシテ其價格ハ長短ニ由リテ之ヲ定ム通常一尋一弗ニ當ル又獨人支那人ノ商買スルアルヲ以テ墨銀ヲ通用ス產物ハ「コブラ」鼈甲、真珠、蠟、胡桃、馬鈴薯、ヤム、タロ、バナ、甘藷等ニシテ獨人ハ之ヲ拾集シテ本國ニ輸送ス本國政府ハ獎勵トシテ高價ヲ以テ之ヲ償フト云フ

土人ノ言語ハ地方ニ從ヒテ差アリ僅々數里ヲ隔ツレハ互ニ理解シ難ク漸ク手ヲ以テ其用ヲ辨スト雖「マツビ」近傍ノ者ハ僅カニ英語ヲ解スル者アリ

女兒ハ全ク男兒ノ奴隸ニシテ待遇家畜ニ異ラス生殺與奪ノ權舉ケテ男兒ニアリ婦夫ノ意ニ協ハサレハ放逐セラレ、モ訴フル處ナシ而シテ耕作培養食料ノ拾集盡ク婦人ノ手ニ委テ幼年ノ片ヨリ重キヲ荷フニ慣ル、故ニ中年後ニ至レハ自ラ



身軀前方ニ變曲ス且ツ婦ハ家産ヲ管理シ紛失物アレハ其責ニ任ス土人ノ諺ニ「女ハ二枚ノ舌ヲ有スト秘事ハ決シテ女子ニ洩サス蓋シ婦人ノ饒舌前後ヲ顧ミス喋々事ヲ謀ルニ足ラサルヲ戒ムルナリ實ニ該土婦人ノ喧囂ナル艦側ニ來ル一隻ノ獨木舟他男子十隻ノ舟ヨリ喧シキヲ覺ユ惡ムヘシ惡ムヘシ  
 在留支那人ノ話ニ「マツビ」島ヲ去ツテ他ニ行ク頗ル戒心セサル可ラス余モ亦幾度カ死ニ瀕セリ土人ノ親切メカシテ「バナ」ヲ薦ルヤマ、或ル毒樹ノ汁ヲ加フ知ラズシテ之ヲ喫スレハ忽チ痛痒ヲ覺ヘ苦悶言フ可ラス其虛ニ乘シテ荷ヲ奪ヒ衣ヲ褌クナリ又初メハ頗ル平穩ナルモ稍日ヲ經ルニ從ヒ倦厭ノ情ヲ生シ不穩ノ舉動ヲ示シ危害測ル可ラス屢此等ノ難ニ遭ヒシモ幸ニシテ死セス今日アルヲ致セリト支那人ノ耐忍冒險ナル驚クヘシ稱スヘシ  
 獨人ノ冒險敢爲ナル又驚クヘシ稱スヘシ此蠻島ニ自若トシテ居住スルトハ本國政府ハ少シモ在留獨人ヲ掣セス全島ヲ擧ケテ獨逸新キニヤ商會ノ手ニ一任シ唯政府ハ他各國ニ對シ該島ノ主權者タルノミ實ニ明治十八年五月十七日ヲ以テ當「ニューブリテン」及ヒ「アドミラルチー」デューク、ラフ、ヨーク「ニューハノーバー」ニユ「アイランド」ソロモン群島ヲ併セ當時ノ宰相「ビスマーク」侯ノ名ヲ命シ之レヲ己ノ版圖ニ收メ天下ニ公告セルハ又偉ト謂ツヘシ到ル處三色旗ヲ懸シ獨逸ノ國

威ヲ遠リ南洋諸島ニ迄モ輝カセリ嗚呼壯ナル哉余詩アリ

鐵血宰相比馬克威風又已遍南洋新愛新英宗問地旗飄獨逸

色三章。

該蠻民ノ習慣等猶記スヘキ者多シト雖モ先ツ筆ヲ止メ本艦碇泊中ノ記事ヲ掲ケ

去レハ十一月一日午後五時碇泊シ二日ニハ艦内諸所繕ヒ塗リ一年中我々大日本國民ノ最モ祝スヘキ天長節ヲ迎フルトナリヌ明ケテ三日ハ我々乗組三百六十一名ノ大和男兒カ日々指ヲ折リ待チニ待チタル大祭日ノ當日トナリヌ天麗カニ氣清ク四圍ノ山光水色一段ノ美ヲ呈シ異郷萬里ノ地モ我意ヲ迎ヘテ我ト喜ヲ共ニスル者ノ如シ八時滿艦飾九時半總員盛裝北ニ向ヒ「天皇禮式棒ヶ銃」ト衛兵司令ノ號令ニ衛兵隊捧銃シ吹キ出ス喇叭ト君カ代ヲ千代ニ八千代ニ壽キテ祝フ聲音モ揚々ト肅々遙拜式ヲ行ヘリ終ツテ艦長以下下士官迄艦長室ニ於テ 三陛下ノ御眞影ヲ拜ミ奉リヌ謹テ一絶ヲ賦ス

絶海那邊望帝畿羈臣萬里仰光輝壁間御影眞如在坐覺仁風  
 薰客衣



端艇競漕會アリ前甲板手ニ後甲板手前檣樓手ニ大檣樓手右舷直左舷直ノ五等水兵前部員ト後部員ノ撰手競漕トス競漕端艇ハ第一第二カッターニシテ各端艇ヲ換へ前後兩回競漕シ互ニ秒時ノ差ヲ以テ優劣ヲ定メ賞品ヲ授與ス僅カ一艦中ノ一ナレ共各其部其部ヲ勵シ各人各個恰モ狂スルカ如シ又勇シク目覺シキ競漕會ナリキ午後零時三十分終ル

午餐ノ卓上ニハ各出來得キ丈ノ美饌ヲ備へ士官以上ハ「ブ」ニ候補生ハ其室ニ下士以下ハ「メ」デツキニ於テ各祝杯ヲ舉ケ鼓腹太平ヲ樂ミ到ル處歡聲笑聲和氣瀟々タリ何人ノ手ニヤナリケン五六ノツクリ菊「テ」ブル上ニ今ヲ盛リト咲亂レタルハイト心地ヨシ又土人六七人ヲ甲板ニ上ケ吟歌歌舞ヲ爲サシメシハ艦内一同ノ笑聲ヲ買ヒ又一興ナリキ二時半舷上陸ヲ許サレ残り員ハ網曳ヲ爲サシメタルニ獲物ハ「バケツト」一杯半又一興ヲ添へヌ

○四日午後半舷上陸ヲ許ス此日獨逸商船「アカバル」號入港ス噸數五百五十四噸今年四月獨逸「ハンボルク」港ヲ發シ「ケー」ホルンヲ廻ハリテ寄航セシナリ當「マツ」ビ島一隻ノ小蒸汽アリ「マツ」ビト號ス獨逸商會ノ所有ナリ五日六日ノ兩日ニハ石炭ヲ積入レ艦内一統ノ手ヲ勞セリ

在留獨逸人ハ商買スルノミナラス兼テ該島ノ行政官司法官ナリ愉快ナル庭園ヲ

營ミ居住セリ屢艦長其他ノ士官ト往來シ或ハ艦ニ招カレ陸ニ招カレタリ六日艦長外三四ノ士官ハ招待セラレ其終リニ土人ノ歌舞會ヲ催ス趣ナレバ他在艦ノ士官及候補生等ハ唯歌舞見物ニ上陸セリ生來ノ頑僻未タ嘗テ洋式ノ「ダン」シングナル者ヲ目ニセザル余モ蠻民ノ歌舞後日ノ談柄日記ノ好材料トシテ全シク上陸セリ余ハ寧ロ其歌舞ノ如何ヲ評スルヨリモ其異樣異裝ナル今日ヲ晴ト着飾リ塗飾リタル土人ニ一驚ヲ喫セリ第一回ニハ壯年男三十人二列ニ並ンテ現ハレタリ愕一愕恰モ是百鬼夜行彼ノ恐ロシキ容貌顔色其常時ニ於テスラ人カ鬼カト疑フナルニ顔墨黒々ト塗ルアリ眞赤ニ塗ルアリ眞青ナルアリ白キアリ或ハ無數ノ紋點ヲ畫キ或ハ白墨ニテ眼ノ周リニ輪ヲ畫クナド種々雜多手ナリ足ナリ躰ナリ腹ナリ勝手氣儘ニ塗立テ或ハ頭髮ヲ二等分、四等分ニ色別シテナト奇云フ可ラス間々彩リタル舞衣新ラシキ禪片ヲ穿ツアルモ多クハ例ノ裸躰頭ノ周リ腰ノ周リ頭腕ノ周圍ニ艸花ヲ以テ飾リ立テ各雙手ニ全シク艸花ヲ携へタルハ一場ノ奇觀ナリ樂器ハ長筒ノ鼓二孔ノ尺八、木ヲ擊テ節ヲトリ舞手之ニ和シ聲高ク囂々ト歌ナカラ踏舞スルナリ節々ヨク整ヒ見ルニ足ル而シテ最後ノ一伍ハ踏舞シナカラ左右ヨリ前第一列ニ入り終ニ一周シテ止ム殆ト一回三十分ヲ費セリ次ニ現ハレシハ婦人ノ一隊ニシテ十才許ノ小兒三人ヲ雜へテ踏舞セリ又第一回ノ者ニ異ラス第



三回ニ現ハレシハ血氣ノ少年廿一人ノ隊長ヲ加ヘ各手ニ一條ノ投鎗ヲ携ヘ勇進勇退健馳奔闘入り亂レ敵ヲ挫ク狀ヲ示ス勇壯活潑々大ニ余輩ノ喝采拍手ノ賞讃ヲ博シ得タリ其舞フキニ當ツテハ熱心他ヲ顧ミズ現ニ終ラントスルニ臨ミ勢ヨリ地上ニ突キ立テントシタル一條ノ投槍傍ニ離レテ見物シタル土人ノ小兒ノ左額ニ突込ミ血流レ見ハ哭シ土人ノ驚愕喧囂スルニ拘ラス其舞ヲ終リタルハ目覺シカリキ小兒ハ擁セラレテ家ニ送ラレヌ此日土人ノ來觀スル者無慮四百餘人舞一回ヲ終ル毎ニ獨人ハ喫煙艸ヲ撒ケリ土人ノ之ヲ拾フ實ニ一場ノ好見物老若男女我劣ラシト争フ様又余輩ノ拍手ヲ博シタリ

「マツビ」ノ氣候風土ハ惡シカラス本艦碇泊中最高溫度八十八度ニシテ豫想外ニ涼氣ヲ覺ユ風頗ル穩ニ無風若クハ微風ノミ曇天多シ

「ニューブリテン」島「グレイトハーホア」碇泊モ勿々一週間トナリヌ七日午前八時出艦濠洲「モルトン」灣ニ向フ始メハ「ニューカリドニア」島ニ航スルノ豫定ナリシモ石炭欠乏ノ爲メ當島ニ寄航シ石炭ヲ搭載シタルニ石炭ノ費大ニ不廉ナルヲ以テ且ツ「ニューカリドニア」ヨリ長途ノ航濠洲「メルボルン」港ニ到ル石炭ヲ其地ニテ再ヒ高價ヲ以テ買フキハ炭費ノ豫算上ニ出ツル恐アルヲ以テ此ニ航路ノ順次ヲ變シ先ツ石炭ノ價廉ナル濠洲ニ向ヒシ者ナルカ又風潮ノ如何ヲ察セシ者ニヨルカ九

時「オコボ」沖ニ至リ漂泊ス「オコボ」ハ當「ニューアリテン」島廳ノアル所ナリ海岸十數戸ヲ認ム島廳ヨリ獨人一名來艦ス艦長軍醫長ヲ從ヘ答禮トシ且ツ「マツビ」島ヨリ便乗ノ獨人「バイキンソン」氏ト共ニ上陸ス氏ハ已ニ白髮ノ老翁ナリ多年南洋諸島ノ間ニアリヨク諸蠻ノ事情ニ通シ爲ニ一書ヲ著シ「バイキンソン」ト名ツク世ニ行ハル午後零時二十分艦長軍醫長歸艦ス再ヒ前進ヲ始ム一時十分「クレデュール」島ヲ左舷ニ二時「ベララ」角ヲ右舷正横ニ見テ「シントジョージ」海峽ニ入ル兩岸ノ風光吟賞スルニ堪ヘタリ此日驟雨來ル

○八日日曜 驟風雨屢來襲ス南東ノ「ウチク」甚タ大ナルヲ覺ユ正午緯度六度廿四分南東徑百五十三度卅二分「マゴゴ」角ヨリ針路南廿六度東ニ百廿八哩流潮南五十三度東ニ十七哩アリ

○九日月曜 曇ル午前三時十五分左舷艦首ニ「トレジュリー」島ヲ認メ午後二時之ト並フ此日驟風猛雨屢襲ヒ來リ天候稍不良ノ虞アルヲ以テ夕ニ及ヒ「ゲルン」マス「ト」ヲ下シ「ポイントヤード」ヲ行フ此日正午ヨリ「サウスリーフ」ヲ指ス針路南四十三度東距離百八十八哩ナリ是艦ハ汽力ヲ借リテ遠ク南東ノ風上ニ出テ一折シテ濠洲「モルトン」灣「ブレスベン」港ニ到ラントスルニアリ斯クシテ艦ハ「ソロモン」群島ニ沿ヒ常ニ三四十哩離レテ南東ニ向ハントセシモ北東ノ流潮甚タ強ク痛ク壓流セ



ラレ群島ヲ距ルコト近キニアルヲ知レリ

正午南緯八度九分東經百五十六度十三分針路南五十七度東距離百九十三哩ナリ  
流潮モ其力甚ク大ニシテ北三十九度東四十七哩アリ

○十日火曜 曇驟雨又來ル縱帆橫帆ヲ屢展縮疊絞セシモ風向風力適セス徒ラニ  
勞セシノミ此日小銃操練ヲ行フ午正南緯十度十五分東經百五十八度廿五分針路  
南四十六度東ニ百八十一哩走レリ流潮ノ方位ハ昨日ニ全シク四十五哩流レタリ

○十一日水曜 雨フル午前七時四十分針路ヲ正南ニ變シ一縮フオースルヲ展ハ  
シ八時半高橋ヲ上ケトツブスル及一縮メインスルヲ展ス十時四十分突然驟雨猛  
風ノ來襲ニ逢ヒ倉皇帆ヲ絞リテ之ヲ避ケ風向ノ定マルニ及ヒ再ヒ展帆午後一時

五十二分機關ヲ停止シ風帆ノ力ニ因ツテ航進ス  
正午緯度實測ヲ得ス正午推測緯度南十二度三十一分實測經度百五十八度八分距  
離百卅五哩針路南六度西トス正午ヨリ南緯十七度廿分東經百五十五度五十四分

「メリツシユリーフ」ヲ「バウンド」シ針ヲ轉ゼリ南廿四度西ニ當ツテ距離三百十七哩  
アリ

○十二日木曜 午後一時頃ヨリ風勢漸ク強シ三時四十分「メインスル」ヲ絞ル四時  
驟雨大ニ至ル倉卒「フオールクリュー」ヲ上ケ「ゲルンスル」ヲ疊ミ續テ「トツブスル」ヲ

下ス七時十分「ヤード」ヲ右舷ニ開キ「トツブスル」ヲ上ゲシカ全廿五分之ヲ左舷ニ開  
ク

正午南緯十三度五十六分東經百五十七度卅五分針路南廿三度西ニシテ八十四哩  
ヲ走レリ

○十三日金曜 大雨滂沱ス風力微ニシテ其方向モ屢變シ針路モ亦屢變ス  
正午南緯十四度〇分東經百五十七度廿五分針路南七十度西ニシテ僅々八哩ノ航  
程ヲ得タリ

○十四日土曜 又雨フル風力至ツテ微ニシテ其方向亦惡シク航進甚ク遅々ナル  
ヲ以テ正午總帆ヲ疊ミ午後一時ヨリ機關運轉ヲ始ム正午ヨリ又「ゲト」島南緯廿三  
東經百五十五  
度三十四分ニ針路目標ヲ變ス南十一度廿分西ニ方リ距離五百五十五哩アリ艦ハ

正南ヲ指シ風壓流潮ノ爲全島ノ東ヲ過ラントス  
正午推測十四度十一分實測經度百五十七度卅分針路南廿一度東ニ十二哩アリ

○十五日日曜 雨又至ル連日ノ雨頗ル陰鬱ヲ覺ユ此日太陽直下ヲ横キル熱帶ニ  
入リテ熱ヲ感セス赤道ヲ横キリテ暑ヲ覺ヘス太陽直下コソ熾クカ如キ炎熱ナラ  
ント想像セシモ其想像ハ又杞憂ニ屬シタリ溫度漸ク七十九度此日南東ノ風強ク  
其力三ヨリ六ニ至ル



正午南緯十六度三分東經百五十七度廿二分針路南三度西距離百十三哩

○十六日月曜 晴風力衰へス終ニゲルンマストヲ半ハ下ス

正午南緯十八度一分東經百五十六度四十五分針路南十六度西航程百廿三哩

○十七日月曜 晴午後一時五分、フォースルヲ展シ續テゲルンマストヲ上ケトツ  
プスル、ゲルンスル及ヒ、メインスルヲ展ス二時廿分全ク汽關ヲ停止シ風帆ノ力ヲ  
藉ル

正午南緯十九度五十三分東經百五十六度八分針路南十七度西ニシテ航程百十七  
哩流潮南八十五度西ニ廿四哩アリ

○十八日月曜 晴午前戰爭操練空砲發火ヲ行フ午後五時五分、メインスル、フォ  
スルヲ交換ス、フォースルハ彼ノ遭颯ノ際破レタルヲ繕ヒタルナリ六時廿分終ニ  
又總帆ヲ疊ミ汽機ヲ用ユ正午ヨリ濠洲モルトン岬ヲ指ス南十二度四十一分西ニ  
シテ三百六十六哩距リタリ

正午北緯廿一度六分東經百五十四度五十七分針路南四十四度西ニシテ航程百〇  
一哩流潮南六十度西ニ二十哩

功名到處可相求。休問人間有死不。夜半舷頭橫槩立。洋心月白  
一天秋。

○十九日月曜 快晴午後二時熱帶ヲ出テ、溫帶ニ入ル午前九時四十分總帆ヲ展  
セシガ午後三時五十分再ヒ之ヲ絞ル風位惡ケレハナリ海豚無數艦ヲ追フ時々跳  
躍ス其狀壯快ナルヲ覺ユ此日我航海ニ於テ實ニ忽諸ニ付ス可ラサル緊要ナル  
コトヲ發見セリ歌ニモ、磁石一つを便り行くト此唯單一ナル便り行くベキ磁針イ  
ツノ程ニカ大ニ謬リタリ今日始メテ天測ニヨリ南々西ノ自差十二度ニ上リタル  
ヲ發見セリ今日マテ屢磁針自差ニ付キ稍不安ナルヲ覺エシモ是地ノ異ナルニ  
從ヒ偏差ノ外又自差ニ付キ一二度ノ差アルハ常ノコトナリトテ抛チ來リシモ餘  
リ變化ノ甚シキヲ以テ茲ニ之ヲ天測ニ訴ヘタルニ豈圖ランヤ斯ノ如キ大差アラ  
ントハ因ツテ六時廿分艦首ヲ右廻轉シ各自差ヲ求メタリ一驚又一驚東西兩點ノ  
如キ殆ト二方位ノ差アラントハ因テ諸鐵部ヲ檢セシニ豈圖ラン、メインマスト、全  
ク磁柱ナラントハカ、ル大磁柱艦ノ中央ニ屹立スル其羅針ニ差ヲ起ス豈ニ異ト  
スルニ足ランヤ其原因ヲ按スルニ種々複雑ナレ共品海抜鑄以來南方ニノミ常ニ  
航行シ爲メニ地球磁力ヲ感セシモ其因ナルヘク遭颯ノ際特ニ南ヲ指シテ航進セ  
シトキ波濤ノ艦躰ニ激スル恰モ磁力ヲ永久ニ付セシナルヘシ又、ダイナモエンジ  
ンノ新ニ、シーメン式ヲ据換ヘシモ其因タランカ、ガムニユトブリテン又航海中ニ  
點燈セシコアレハナリ此等ノ原因ニ歸スルナト一說又一說殆ト底止スル處ヲ知



ラス艦内一般講究ノ一良材料ヲ與ヘタリ六時四十分舊針路ニ復シ十一時廿五分再ヒ總帆ヲ展ス

正午南緯廿三度十六分東經百五十四度三分針路南廿度西百四十哩ヲ走レリ流潮南六十五度西二十四哩アリ

○廿日金曜 晴午前十時サンテ島ヲ右舷艦首ニ認ム艦ハ順潮ニ乗シ駛行速カナルヲ以テ通常ノ速力ヲ續ケナハ此夜モルトン灣ニ入ル筈ナレトモ頗ル不安ノ地ナレハ屢速力ヲ減シ終ニ全ク機關ノ運轉ヲ止メ汽鑪ハ埋火ノ位置ヲトレリ而シテ風位頗ル適シ且ツ其力又強キヲ以テ總帆ヲ展シタルモ漸ク減シ終ニ一縮フオースル及從帆ノミニテ順潮順風ニ乗シテ南下スルノミ午後已ニ濠洲沿岸ノ諸山ヲ望ム夜十時ダブルアイランドノ燈火ヲ失フ

長風拂面立檣樓落日浮雲鷓影幽船到南球濠太利入眸青黛女王州

正午南緯廿五度四十分東經百五十三度四十七分針路南六度西航程百四十五哩流潮南三度東ニ廿五哩アリ

○廿一日土曜 晴午前二時廿分グリーブモルトンノ燈火ヲ右艦首ニ望ム五時十分

再ヒ汽力ヲ用ヒ全五十分展帆ヲ疊ム八時四十分水路嚮導者來艦各淺洲各浮標ノ間ヲ縫ヒ灣内ニ入り終ニ十一時六分錨入レノ聲諸共左舷錨ヲ投シ濠洲モルトン灣アレสบアン河口ニ我旭章旗ヲ飄ヘストナリヌ

日夕相見ルノ人ハ全シク是三百六十一人日夕起臥スルノ場ハ全シク是軍艦比叡賀謨ノ邊新不列嶺ノ地艦内又異郷ノ地ニアルヲ知ラス全シク是品川沖ノミ横須賀港ノミ唯舷頭ニ立チテ四顧スレハ眸ニ入ル江山異ニ始メテ萬里ノ外ニアルヲ覺ユルナリ然レモ當灣碇泊地ノ四圍東ニ横ハル翠色モルトン島ハ房總ノ半島ニ比スヘク西ハ濠洲ノ大陸沃野遠ク連リ沿岸ノ樹村アレสบアン河口及ヒ燈臺ノ海中ニ屹立スル恰モ六郷附近ニ比スヘク宛然我品川ニアルノ想一望ノ間ニ生スルナリ其錨地マツト島ノ東徑南四分一南ニリフポイントヲ北西徑西ニセントヘレナ島ヲ南東二分一東ニ見テ水深四尋半泥質ナリアレสบアン河口ヲ去ル五哩サンデグート村ヲ距ル四哩渺茫タル灣内我品川ノ錨地ヨリ尙一層廣濶ノ地ナルヲ以テ風浪高クシテ安全ナラス故ニ船舶皆アレสบアン河ヲ湖ル湖ル十四哩アレสบアン錨地ニ到ル其廣僅々大船一艘ヲ通過セシムヘク其滿潮ノトキニ於テ喫水廿呎以下ノ物ヲ通スヘシ掃底汽船アリ常ニ浚掘ニ從事ス又灣口ニハ測量船アリ常ニ灣口ノ深淺ヲ探ル其他燈臺ノ數多キ水路ニ關スル諸報告ナド實ニ其周



「サンドグート」ハ一村ヲシテ海水浴場ノ設アリ諸人ノ浴場トス此灣内鱈魚多シ網ヲ張リテ其害ヲ防グ本艦碇泊中三四尾ヲ得タリ若シ誤ツテ水中ニ落ツル等ノコアラバ其慘害ニ遭ハンモ測リ難シ

該「モルトン」灣ニ入りテ鋪地ヲ求ムルハ實ニ初メテノ他邦人ニナシ得ヘキコトニアラズ其大部ハ數多ノ淺瀬ヲ以テ充タシ安全ナル水道ハ僅々ニ過キスシカモ其水深常ニ變シ易ク「シツプ」チャン「ミツドル」チャン「ル」ノ如キ西曆一千八百八十八年ニ至リ終ニ閉塞シ全ク航行スヘカラス是本艦ノ朝入灣シ且ツ水路嚮導者ヲ招キシ所以ナリ其價百噸ニ付キ英貨一磅ノ割合ヲ以テス常ニ「コンボロ」角燈台ノ南ニ近ク「モルトン」島西岸北端ニ位置シ前橋ニ國旗ヲ掲ケタル片ハ直ニ其招キニ應ズ本艦ハ之ヲ招キタルモ一錢ヲ要セザリキ蓋シ該女王州政府ノ我大日本帝國ノ軍艦ニ對スル好意ニ出ヅルナリ

賀讚ノ僻地新不列顛ノ蠻土ヲ經濠洲屈指ノ都會女王州ノ首府「プレス」ハンニ至ル況ンヤ官民ノ好遇豫想外ニ出ツルニ於テ「ヤ」狂浪怒濤苦雨酸風ヲ凌ギタル艱難モ萬里異郷ノ地官民歡待聲裡ニ盡ク消却シ了ラントス蓋シ當港ハ軍艦ノ寄泊スルコト稀ニシテ殊ニ我大日本帝國ノ旗ヲ「モルトン」灣頭ニ飄ヘンシハ前ニ筑波アリ

今當艦比叡アリ前後唯兩回ノミナレハ假令都ニ向ツテ懇篤ナルニモセヨ其日本軍艦ニ對スルニハ物珍ラシキ心地シテ厚遇セシモノナランカ

カノ水路嚮導者モ唯政府ノ厚意ニヨリ一錢モ報酬タニ受ケス且ツ一日ヲ隔テ汽船「マイナー」號ヲ遣シ當灣碇泊中全ク我用ニ充ツヘシト

我其厚意ヲ謝シ有用ノ日ノミ之ヲ借ラント約セシモ殆ト隔日必ス我ヲ訪ヒ萬事便益ヲ與ヘタリキ而シテ當地ノ新聞皆異口同音我ヲ賞讚シテ措カス日々ノ紙面日本軍艦比叡ノ字ヲ記載セザルナリ余ノ如キ士官ノ席末ヲ汚セシ身モ堂々ト其姓ヲ掲ケ出サレヌ終ニ廿八日廿九日ノ兩日ノ如キ知事ノ紹介ニヨリ衆庶一般ノ來觀ヲ許サレタレバ逸早クヨリ新聞紙ニハ廣告ヲ掲ケ遊客ヲ募リ汽船ヲ出シ訪艦スルナト頗ル好人氣ヲ博シタリキ且ツ艦長及ビ士官室士官ニハ女王州俱樂部ノ名譽會員タランコトヲ乞ヒ官民共ニ頗ル厚遇歡待ノ實ヲ示シタルハイト心地ヨカリシコト共ナリ

廿八廿九兩日縱覽ヲ許シタルトキノ如ク艦内雜沓ヲ極メタルコトナシ首府ヨリハ大汽船ニ溢ル、許リ縱覽人ヲ載セ信號旗ナト飾リ三四隻相續テ來リ直ニ船ヲ横ニ接シ乘組來ル老若男女無慮幾百人ト云フヲ知ラス喧々囂々上下甲板ニ充滿シ千鉢萬樣種々雜多彼所ニ簇リ此所ニ集リ彼ヲ問ヒ此ヲ尋テ五月蠅キコト云ハ



ン方ナシ交際自慢英語稽古ノ若手ノ面々ハ我劣ラシト紳士貴女連ヲ見受ケ案内  
 スルハ血氣ノ勇士好キ敵御參ナレト敵手ヲ撰ンテ引組ムニサモ似タリ歸リシ後  
 ノ交際談恰モ戰後功名ヲ手柄顔ニ述フルニ似タリ又別ニ艦ニ上ラス唯艦ヲ一回  
 シ帽子「ハンカチ」フ「ナト」打振リ祝聲ヲ揚ケテ直チニ歸ル汽船四五隻アリ洋人モ  
 随分物數寄多シト見ユ而シテ縱覽人ハ大抵世辭ヲ駢へ立テサルナク立派トカ奇  
 麗トカ整頓トカ皆感賞ノ語ヲ殘セリ特ニ我軍艦中一人ノ洋人ヲ搭載セサルニハ  
 殆ト訝リ惑フ程ニテ必ス遇フ人毎ニ艦長ハ洋人ナラン士官中ニ洋人アラン機關  
 長ハ洋人カノ問ヲ發セサルナク否盡ク日本人ノミト答フルトキハ殆ト呆ル、程  
 ニ感シタリ蓋シ日本ノ國タル果シテ如何程開化セシカ其海軍ハ如何ニ進歩セシ  
 者ナルカ其程度ヲ知ラサレハ斯ル疑問ヲ發スルノミ返ス返スモ我國ノ尙未ダ信  
 ゼラレサルハ遺憾千萬ナリ文明開化ハ歐米人ノ專有物ト心得居ルコソ面惡ケレ  
 然レトモ已ニ我艦ヲ訪ヒシ人々ニハ日本國ハ如何其海軍ノ進歩ハ如何ト彼等カ  
 平生ノ妄想ヲ破リシヲ得シハマタシモ幸ニシテ是軍艦遠洋航海ニ於ケル利益ノ  
 一ト謂ツヘキカ  
 我士官及ヒ候補生ノ英語ヲ解スルモ又豫想外ト見ユ新聞紙上ニモ意外ナリトテ  
 驚ケリ特ニ英語ヲ解スルヤノ問ニ應シ多クハ辛シテ若クハ僅カニト答フルモ語

リテ見レハ中々達者ナルニハ感佩ノ外ナシナト、ノ文句ヲ見タリア、英語ヲ知  
 ラスト思ハレ知リタレハトテ感セラル、我國人ノ有様コソ哀レナレイツカ彼ノ  
 洋人ヲシテ日本語ヲ知ラヌカ知ラサルハ耻ヨト思ハシムル時ナカラシヤ概一慨  
 ○廿三日 汽船「マイナイ」號ニ搭シ艦長各士官半舷ノ水兵等ト共ニ「ブレスバン」河  
 ヲ溯ル兩岸ノ蒼樹綠野白壁尖塔牛ハ眠リ羊ハ遊フ婉々タル河流右盼左顧折一折  
 毎ニ景ヲ異ニシ汽機轉一轉毎ニ趣ヲ變ス吟情ヲ促カスコト頻ナルモ韻事三昧ニ  
 疎キ余ナレハ漸クニシテ廿八字ヲ駢へタリ駢へテ見テモ笑止千萬

秋江波穩白鷗眠。兩岸風光武烈邊。船湖中流三十里。吟眸飽賞小  
 春天。

十時武烈邊ニ至ル河ニ碇泊スル軍艦二隻商船又幾十隻アリ我東京灣ノ築港果シ  
 テ幾年ノ後ニカ其効ヲ奏シヨク軍艦ヲシテ永代橋下ニ泊セシムルハ到底期ス可  
 カラサルモセメテ品川砲臺附近ニ錨ヲ投スルコトヲ得ンヤナト、想像ヲ畫キツ  
 ル間ニ船ハ岸頭ニ着キケレハ直ニ上陸ス是余カ濠洲大陸ニ印セシ第一着歩ナリ  
 トス「ガム」ニユーブリテン「ト」ハ打テ換ハリ盡ク是二階三階以上ノ煉瓦石造街頭道  
 滑ニシテ人行絡繹車馬鐵道馬車ノ往復モ忙ハシ各士官ト共ニ當市第一ノ旅館レ



七二  
ンナンニ投ス士官以上皆一泊ヲ爲スコト故余モ又全シク投宿スルコトニ決シヌ一人各一室室内ニハ寢臺アリ洗面鉢アリ箆筒アリ器具清潔ニシテ整頓唯余等ノ室ハ三階ニアリ且ツ昇降器ナキヲ以テ幾回カ階段ノ昇降五月蠅キヲ覺ユ午後一時呼鈴ノ聲ト共ニ待チニ待チタル食堂ニ入り食卓ヲ占ム一卓盡ク是全伴ノ人我劣ラシト此所ヲ專度ト喰散セリ久シク饑詰ニ慣レタル枯腸生肉生菜ノ饗應ニ逢ヒ嬉サ甘サ云ハン方ナク腹一杯ニ詰込ミタルハ勇マシカリシカ將タ見ルニ堪ヘサリシカ岡目ノ評ナト問フ所ニ非ラサルナリ食後街頭ヲ散策シ見物セリ隨分繁鬧ナレ共左マテ我銀座通ニ異ラサル心地ス唯建築ノ稍大ナルト馬車ト人力車ノ差アルノミ唯一戸ノ商店ヲ建築シツ、アルガ特ニ其カ爲蒸汽機關ヲ設ケ煉瓦ヲ積上ツ、アルニハ少シク異ナルカノ感ヲ起セリ博物館ヲ訪ヒシニ余リ其規模ハ大ナルモノニ非ラス我日本ノ大工道具ニ履物一揃ヲ見タリ歸路氷菓子店ニ投シ九月以來久シ振ニ冷カキ待遇モ反ツテ厚キ馳走ト知ラレタリ夕餐モ又全シク滿腹消化機モ定メテ忙ハシキヲ覺エシナラン夜クインストリートヲ歩ス電燈氣燈ヲ點シアルモ半ハ閉店シ晝ノ如ク賑シカラス半時余ニシテ歸宿ス夜一浴ス浴場又一人一已艦内ノ汚垢ヲ「プレスバン」ノ水ニ流シ了リヌ夜快ク寢ニ就ク嗚呼千代田ノ皇城忝ナクモ 龍顏ヲ拜辭シテヨリ幾日ヲ經タル遠ク萬里ノ殊域ニ在ツテ

茲ニ穩ニ夢ヲ結フコトヲ得ルトハ抑モ又誰ノ恩ソヤ身日本國臣民タレハナリ帝國海軍軍人ナレハナリ感激ノ餘枕上一絶ヲ吟ス

艦、艦、奉命遠南航、滿目江山是異鄉、誰識濠州今夜夢、九重城裏拜天皇

翌朝夙ニ起キ食事ヲ認メヌ午食夕餐ノ卓上美味ノ多キニカヘ僅ニ「パン」鶏卵茶ノ三種アルノミ食シ終ツテ倉皇車ニ上リ波止場ニ至リ「マイナ」號ヲ求ムレ共得ス但シ昨夕我候補生水兵等ヲ乗セテ歸リ我艦ノ傍ニ泊シ今日亦他艦員ヲ乗セテ來ルナリト失望云フヘカラス乃ハチ傍ノ「グイン」スバ「ク」ヲ散策ス露ヲ踏ミ青ニ歩ス心意爽ナルヲ覺ユ或ハ女王州俱樂部ヲ訪ヒ或ハ市街ヲ散步セシカ十時「サンデグ」ト行ノ小汽船アリト聞キ倉皇之ニ乗シ我艦側ニ寄ラシメテ歸ル「」ヲ得タリ是余カ朝鮮仁川ヲ除キテ始メテ外國ニ止宿セシナリ況ンヤ仁川ニ於テハ我日本人草草氏ニ宿セシナレハ外人ノ家ニ泊リシト云フハ實ニ此廿四年十一月廿四日ヲ以テ始トス

然ト共余ハ外國旅館トハ云ヘ恰モ内國旅館ノ想アリタリキ如何トナレハ同行十四人盡ク是大日本ノ臣民ニシテ同シク大日本ノ國語ヲ談スレハナリ余ノ如キハ



殆ト此レンナン旅館ニ於テハ一ツノ洋人言葉ヲ用ヒサルモ其不便ハ毫モ感セサレハナリ

七四

當、ブレズバンニハ我同胞日本人ハ唯單ニ一人ノミ姓ハ上村名ハ定吉管テ横濱ニ住ス年漸ク十六歳可憐ノ少年ナリ今春洋人ニ誘ハレ當府ニ來レリ我艦我乗組同胞人ヲ見テ實ニナツカシキニ堪ヘサルモノノ如シ二三回モ艦ヲ訪ヘリア、此妙齡ニシテ万里ノ異郷一人ノ共ニ談スヘキ同國人ナシトハ眞ニ憐ムヘキカナ氣ノ毒ナルカナ然レ共其洋人夫妻ニ非常ニ愛セラレ恰モ其子ノ如ク定々ト呼ヒテ片時モ側ヲ離レシメスト云フハ又幸ト云フヘシ

健兒壯圖遠征ノ途ニアルモ豈一片郷ヲ懷フノ情ナカラシヤ當港ニ着スルノ日知港事來艦セルカ其話ニ曩ニ日本大地震大洪水アリ人畜家屋ノ損害數フ可ラスト此一話ノ艦内ニ傳播スルヤ乗組一同ノ驚愕配慮又一方ナラス想像百出徒ラニ喧々タルノミ深ク之ヲ質スモ知港事ハ唯新聞紙上ニテ一見セシノミ深クハ記セス英國ノ新聞當濠州殖民地新聞ニモ其罹災者救助ノ義釀ヲ募ルト翌日其新聞ヲ乞ヒ一覽セシニ其慘害ナル又想像外ニ出テタリ余詩アリ新聞「テレグラフト」云フ常「ブレズバン」市ノ發行ナリ

外國新聞看一過。故山文字感如何。勿々讀下堪驚愕。水害震災隨

### 處多。

震災地方殊ニ愛知出身ノ人ノ如キ憂慮措ク能ハサルモノ、如シア、誰レカ天涯萬里ノ外ニアリテ此天災ヲ聞ク其親戚故舊ノ如何ヲ慮ハサル者アラシヤ艦内到處愁然タリ悵然タリ悚然タリ

當灣碇泊中本艦ノ畧記事ヲ掲ケンニ

○廿一日土曜 午前碇泊スルヤ午後英國醫官來艦ス檢疫ノ爲ナリ四時ヨリ大雨滂沱電光之ニ乗ス水路嚮導者醫モ之カ爲メニ去艦スルヲ得ス終ニ夕ニ及ヒ雨ヲ冒シテ去ル十時ニ至リテ止ム

○廿二日日曜 快晴小汽艇及ヒ「ラン」チヲ出ス

○廿三日月曜 晴「トツ」ブスル「ヤード」ヲ「トツ」ブニ下シ「トツ」ブマスト「ヲ」半「バ」下シ「ロ」ワ「イヤード」ヲ「チ」ツ「チ」ングニ下シ「リ」ツギン「綿」方ニカ「ハ」ル是長途ノ航海ニ在ツテハ必ス一回ハ碇泊便宜ノ日ヲ以テナス者ナレ共本艦ハ彼ノ遭颶ヨリ諸索具大ニ弛ミタレハ特ニ之ヲ行ヒシナリ此日漁船「マイナー」號ニテ半舷「ブレズバン」市ニ上陸ス

○廿四日火曜 晴他半舷員ヲシテ上陸セシム英國陸軍少將ノ訪艦十三發ノ禮砲ヲ受ケテ去ル此少將ハ昨夕書ヲ「レンナン」旅館ニ於ケル艦長ニ宛テ訪艦ノ日ヲ問合セツ、廿五日來ルト「ノ」ナリシニ今日直ニ來艦セシハ氣早キ者カ又餘程物好

七五



ナル人ナルヘシ

- 廿五日水曜 曇リツキン、綿方終ル諸桁諸櫓ヲ常ニ復ス
- 廿六日木曜 曇石炭百六十二噸ヲ積ム一噸ノ價十六、シルリング艦内人員ヲ以テ積込方ヲ助ケ又、ブラツキンダウン「ラットライン」綿方ヲナス
- 廿七日金曜 晴大掃除内舷塗方ヲナシ縦帆ヲ取付ク
- 廿八日土曜 快晴總帆ヲ取付ク、ブライムミニスタ「來艦ス又衆庶ニ縦覽ヲ許ス

- 廿九日日曜 タニ及ヒ風雨來襲電光四方ニ閃ク縦覽ヲ許ス
- 卅日月曜 雨フルカノ艦艀萬事ニ大損害ヲ與ヘタル十月四日ノ大颶風ノ爲メ失ヒシスイギングブーム「ハ假ニ、ボートスパ」ヲ以テ用ニ充テシカ箸ノ持場ニ齒楊枝ヲ用フルノ觀アリ當市ニ於テ木材ヲ求メ今日ヨリ其作業ニカ、ル
- 十二月一日火曜 微雨ス英艦「リンクダブ」河ヲ出テ西土尼港ニ向フ此艦ハ砲艦ニシテ曩ニ「ソロモン」群島ニ於テ其亂民ヲ懲ラシ我當灣ニ投錨スルノ翌日入港セシナリ「ケビン」ニハ蠻民ノ手ニナル種々ノ分捕物ヲ以テ滿タサレ且ツ二三ノ野蠻少年ヲ甲板上ニ見受ケヌ「リンクダブ」ニハ此戰爭ニ於テ一人ノ死傷者ナシカ、ル氣樂ナル戰爭ハ實ニ又稀ニ逢フ所ナルヘシト彼士官ハ語レリ我曹モ又シカ思ヘ

リ(誰レデモ)

- 二日水曜 曇候補生機砲射的艇砲射的水雷發射ヲ行フ成績良シ又機砲員ニ機砲射的下士官ニ内塘射的ヲ行ハシム
  - 三日木曜 晴
  - 四日金曜 晴水雷射的ヲ行フ遂ニ一個ノ魚形水雷ヲ壞ス此原因タル實ニ神ナテヌ身ノ知ル由モナシト水雷長ノ述ヘタル如ク三四回發射前ニ試ミテ異狀ナカリシ「ピン」其發射ノ瞬間ニ於テ脱却シ魚形水雷ハ發射管内ニ於テ働キヲ始メタルモ發射管ヲ脱シテ海水ニ入ル「能ハス終ニ破壞ンタルナリ午後「ピン」ヲ及ヒ小汽艇ヲ揚ク
  - 五日土曜 晴午前四時汽鐘ニ點火九時終ニ錨ヲ拔キ此二週ガ間住馴レシ處ヲ離レタリ
- 上陸ハ僅ニ一回「フレ」市街ノ精細ヲ記スル能ハズ新聞紙上其他稍見聞セシ處ニヨレハ貧富ノ爭甚シク互ニ反目嫉視シ當市發行ニカ、ル小説多クハ此事ニ關スル所意ヲ洩ス者トス市街ノ景氣活潑ナラス物産ハ羅紗木材ヲ最トス當「クイン」純粋ノ土人ハ「エミ」ヲビツクニ屬シ人間社會最劣等ニ位スル者トス然レ共其躰格ハ尤モ強健ニシテ丈高ク膚黒ク廣額廣口ヲ有シ眼小ニシテ人ヲ射ル



鼻ハ平扁ニシテ毛髮羊ノ如ク其色黒且ツ密頰窪ミ下唇薄シ齒ハ尤モ美ニシテ其強キヲ驚クニ堪ヘタリト云フ女子ハ男子ニ比シテ体格小ニ容貌モ亦醜ナリト西曆一千八百八十一年ノ統計ニヨレハ殆ント三萬一千七百餘ノ人口ニシテ殖民地附近ニハ其數少クシテ恐ルヘキモノナラス往昔殖民ノ始メニハ十五萬以上ヲ有セシカ速カニ減少シブレヌハン府ノ如キ實ニ昨年ヲ以テ全ク土人ノ跡ヲ斷ツニ至レリト云フ

入港ニハ水路嚮導者ヲ招キタルモ出港ノキハ之ヲ謝絶シ各浮標ノ間ヲ點綴シテ午後一時全クモルトン灣ヲ出テ濠洲大陸ノ翠微ヲ右舷隱見ノ間ニ望ミ南ニ下ル北東ノ風其力三ナル者ヲ得テ一時四十分總帆ヲ展シ五時五十分終ニ機關ヲ停メ機鐘ヲ埋火ニ保チ全ク風帆ニヨリテ進ム順潮其速度一哩半以上ノ者ヲ得タリ  
○六日日曜 曇風向漸ク變シテ漸ク惡シ午後九時強驟風來襲ケルニスルヲ絞リヘツドヤードヲ逆廻シテ之ニ應ス十時終ニ又機關ノ運轉ヲ始ム  
正午南緯廿八度四十二分東經百五十三度四十八分

○七月月曜 晴

○八日火曜 「モルトン」灣ヲ出シヨリ大陸ノ諸山各燈臺ヲ常ニ右舷ニ望ミ之ヲ送リ之ヲ迎ヘツ、航シ來リシカ此日曇リテ陸地ヲ見スタニ及ヒ天晴レ艦首ニ當ル

一燈臺是ナン「ジャクソン」灣口「サウスヘッド」ノ燈臺ト思ヒタリシモ近ツクニ從ヒ疑團漸ク生シ終ニ之ヲ天測ニ訴ヘ海圖ニ質シタリシニ豈圖ラン「ジャクソン」灣ヨリ南七十哩「ジャビス」灣口ナラントハ九時五十分艦首ヲ回ラシ北ニ向フ蓋シ昨日來陸地ニ接シテ航セシ爲メニ逆潮ニ逢ヘリトノ謬算ヨリ爲ニ一度「ベヤリング」ヲ謬リ終ニ其謬ヲ重テカ、ル專宜ニ及ヒタルナリ若シ此間ニ恐ルヘキ暗礁等アラシニハ我艦ノ安危實ニ測ルヘカラサルナリト衆相顧ミテ悚然タリ然レ共此事タルヤ我曹ニ一ノ實驗ヲ與ヘタルモノニシテ假令ヒ陸地ヲ見ルキニモセヨ一日ニ一度ハ必ス天測ヲ以テ艦位ヲ確メ置サル可ラサルヲ

○九日水曜 午前二時半「サウスヘッド」燈臺ヲ見ル天明ク已ニ「ジャクソン」灣口ニアリ曉霧ニ會シ其霧ル、ヲ待テ七時卅分灣内ニ進ム政府ヨリ派遣ノ水先案内者來ル八時五分停止檢疫ヲ受ケ五十二分再ヒ前進ス英艦ヨリ一士官來リ我ヲ鎗地ニ導ク九時十五分英國皇帝陛下ニ對シ廿一發ノ禮砲ヲ放ツ陸地砲臺ヨリ直ニ答砲我又英ノ艦隊司令官ニ向ツテ禮砲セシカ直ニ答砲セラレ此禮砲答砲ノ餘響港内ニ轟キ渡ル様勇シクモ又快シ終ニ卅七分第六號浮標ニ緊止シ「ジャクソン」灣シドニ「港頭英國ノ艦艇十數隻ノ間勇マシクモ凌カン許リニ我旭章ヲ翻セリ  
坤輿ヲ按スレハ東大半球南緯ノ地太平洋印度兩大洋ノ間ニ輻然タル一大陸是濠洲



大陸ニ非スヤ其面積實ニ二百四十五萬一千三百九十二平方哩彼ノ世界ニ向ツテ我領地ニ太陽ノ没スルヲナシト誇ル英國女王陛下ノ版圖ニ係ル又偉ナラスヤ此偉大ナル植民地ヲ六州ニ分ツ曰ク「グイクトリア」曰ク「ニューサウスウエルズ」曰ク「グインスランド」曰ク南濠曰ク西濠曰ク「タスマニア」トス

新南維斯州ハ實ニ濠太利植民ノ開闢地ニシテ六州中ノ長老ナリ彼ノ敢爲ノ冒險家絶代ノ航海者千古ノ快男子「ケビテンコック」氏西曆一千七百七十年始メテ此地方ヲ發見シ同八十八年一月廿日「ケビテンヒリツプ」ノ引率セル英人九百餘人ノ移住ニ因ツテ當植民ノ基ヲ建ツルニ至レリ「ケビテンコック」ノ紀念ハ猶當悉土尼府「ハイド」公園内ニアリ偉大ノ銅像左手望遠鏡ヲ提ケ右手ヲ舉ケ天ノ一方ヲ睥睨スル者ノ如シ意昂リ氣張ル又以テ當年ノ意氣ヲ想ハシム

丈餘銅像表功名意氣凌雲眉目明千古英雄船將事遺勳長想悉尼城。

然凡氏ト雖豈ニ其發見ノ日ニ方ツテ今日此ノ如キ繁榮ノ都タルヲ期センヤ而シテ多斯馬尼亞ハ一千八百三年ニ「グイクトリア」ハ一千八百三十七年ニ南濠州ハ一千八百三十六年ニ西濠州ハ一千八百四十年ニ女王州ハ一千八百五十九年ニ各植

民政府ヲ建ツ政體ハ責任政治ニシテ長官ハ女王陛下下之ヲ選任シ此長官ハ諸省ノ長官ヲ選任スルノ權アリ議院ハ上下二部ヨリ成リ上院ノ議員ハ終身ノ有職議員ニシテ長官之ヲ選舉シ下院ハ人民ノ代議者ヲ以テ是皆本國ノ遺轍ヲ襲フニ異ナラスト雖モ下院議員ノ被選人タラン者財產宗教ノ何タルヲ問ハサルナリ  
來て見れば聞くより低き富士の山釋迦や孔子もかくやありなんと詠ミタリシ言ノ葉モ今更思ヒ出サレヌ悉土尼悉土尼ナル名詞ハ余カ幼クシテ漸ク地理書ヲ繙ク頃ヨリ幾回カ目ニモ觸レ又幾回カ耳朶ニモ上リ繁榮ノ大都會ナリト腦底ニ信スルコト深カリシカ今度圖ラスモ此地ヲ踏ミ其景ヲ目撃スルニ及ンテ知ル悉土尼ハ余カ想像セシ程ノ地ニ非ラサルコト勿論海軍軍人ハ多少見聞廣ク一體所謂ツウ／＼シキ者ナレハ滅多ニ繁華ノ地ナトニ驚ク者ニハ非ルナリ然レ共悉土ニ悉土ニヨ都會ニハマキレナシ其繁榮ヲ競ヘハ南半球ニ於テ之ヲ第一指ニ屈セサルヲ得サルヘシ今左ニ之カ概略ヲ記サン

悉土尼港余ハ港ニ付テハ聞シニ優サルト稱セサルヲ得ス「ジャクソン」灣悉土尼港ハ實ニ南半球第一位ノ最良港ニシテ恐クハ全世界ニ於テモ第三トハ下ラサルヘシ灣深ク陸地ニ入り濱岸凸凹彎曲甚ク恰キ犬牙ノ錯雜スルカ如ク河漢ニモヨク船舶ヲ繫キ何レノ濱ニモヨク艦艇ヲ接スヘク噴水廿七呎ノ船舶ト雖容易ニ



海岸埠頭ニ密接繫泊スルヲ得ヘシ而シテ其外觀ニ於テモ世界中天賦絶景ノ一ナ  
 リト誇稱スルニ堪ニ灣口ノ「サウスヘッド」兩角巉岩絶壁白堊燈臺ノ屹  
 然タル太平洋ノ浪打寄セ打碎ク様ノ奇絶峭絶ナルニカヘ灣内ニ入レハ水波タ、  
 ス丘陵相連ナリ綠樹蒼林艸笑ヒ花媚フルノ間白堊尖塔ノ隱見スル麗絶妙絶ナル  
 實ニ人ヲシテ左盼右顧賞嗟措ク能ハサラシム且ツ灣内汽船帆船端艇走舸往復ノ  
 頻繁ナル黒烟白帆港ヲ蔽フ許リ帆檣ハ林ノ如ク立チ橋頭竿頭ニ掲ケタル國旗會  
 社旗ハ翩翩トシテ五月幟ニサモ似タリ西曆一千八百八十六年ノ調査ニ係ル入港  
 ノ船舶ハ千七百四十九隻ニシテ總噸數百六十三萬八千八百〇三噸ナリ又以テ其  
 繁盛ノ一斑ヲ推知スヘシ

灣口ノ防禦ハ實ニ天賦ニシテ假令灣外ヨリ丘陵ヲ超ヘテ大砲彈ノヨク市府ニ達  
 スルコアルニモセヨ船艦ヲシテ容易ク港内ニ闖入スルヲ許サ、ルナリ我等日本  
 人ハ東京灣口ノ廣濶ニ過キ守備ヲ要スル夥シキヲ以テ杞憂ニ堪ヘサリシカ此「ジ  
 ヤクソン」灣口ヲ過キ轉々羨望ノ至ニ堪ヘサルナリ灣口僅ニ十鏈「ミツドルヘッド」  
 「ノースヘッド」「サウスヘッド」ノ三角相對峙シ其他各角皆守備ヲ嚴ニスルニ足ル茲  
 ニ二三ノ水雷ヲ附設シ數門ノ大砲ヲ備ヘハ實ニ容易ニ港内ニ進ムヲ得サルヘキ  
 ヲ覺ユルナリ而テ今現ニアル砲臺ハ盡ク各要點ニ於テ設ケアル者ト覺ユレモ其

砲臺ノ建築裝砲ノ如何ハヨク完備セル者ト云フヘカラス乃「サウスヘッド」  
 「ミツドルヘッド」ニハ數個ノ砲臺ヲ備ヘ「ミツドルヘッド」ニハ廿五噸前裝旋條砲二門  
 及ヒ九吋前裝旋條砲二門ト八十斤前裝旋條砲四門ヲ備フ又「ジョージヘッド」ニハ  
 八十斤前裝旋條砲三門及九吋前裝旋條砲三門ヲ備フ又内ニ進ムコト數百步砲臺ヲ  
 認ム九吋前裝旋條砲三門及八吋前裝旋條砲三門ヲ合セ中間ニ「インチ」ノ鐵板及木板ヲ交互ニ挿  
 入レ以テ前面ヲ隱屏ス砲門ハ高六「ヒート」ト四「ヒート」許恰モ軍艦ノ砲門ニ似タリ  
 而テ九吋前裝旋條砲三門ヲ備フ遙カ港内ニ入り「ブラドリ」ボイントニ八十  
 斤前裝旋條砲三門ヲ備フ「インチ」サウスヘッドニハ八十斤滑膛砲九吋前裝旋條砲各  
 一門ヲ備フ其ノ稍外方ニ三砲臺アリ一ハ八十斤他ハ九吋砲各一門ヲ備フ又右外  
 方ノ砲臺ニ相對峙シテ内岸ニ八十斤滑膛砲五門ヲ有スル砲臺アリ而テ又此砲臺  
 ヨリ遙内方「シャークヘッド」ノ一角ニ八十斤旋條砲三門ヲ有ス其他港内ニ「デニッ  
 シ」  
 「マクケリー」  
 「ダーブス」砲臺アレモ盡ク舊時ノ建築ニ係ルヲ以テ當今僅ニ義勇兵  
 ノ操練ニ供スルノミト云フ實ニ悉士尼港人工ノ防禦ハ盡クセル者ニアラス然レ  
 モ天賦ノ形勢ヲ得タルヲ以テヨク人工ニヨリ此天賦ヲ利用セハ決シテ敵艦ヲシ  
 テ進入セシムルコト無カルヘシ

市街ハ方二千五百四十六「エークル」ヲ有シ長サ三哩八分ノ三幅殆ト三哩本街ノ全



長ヲ通算スレハ百二十哩ニ上ル大別シテ東西南北ノ四部ニ別ツ街道狹隘ニシテ區劃正シカラス敷クニ木道ヲ以テス家屋多クハ三四層以上ノ建築ニシテ或ハ七八層ニ及ヒ或ハ二層ヲ有スル者稀ニ結構ノ壯大觀ルニ足ル可キ者アリ郵便局、タウソール等特ニ著名ノ建築ニシテ南球一二ト稱ス市中鐵道馬車、トラムカー、アリ往復ニ便ニス又公園多シ「ハイド」最著ナル之ヲ「ブレスバン」ニ比スレハ川崎ヲ歴テ花ノ都ノ江戸ヲ見ルノ想アリ人口千八百八十七年ノ終ニ三十四萬八千六百九十五人トス今日ハ殆ト四十二三萬ニ上ルト云フ

余カ拙キ筆ノ運モ漸ク悉土尼マテ進ミ行キシガ最早例ノ疎懶一寸モ歩ミ出サズナリス始ノ廣言ニモ似ヌイヤ早呆レ果タル者ナリト澁面作りナガラヤヲ碇泊中ノ大畧ヲ記シ始メヌ

○十日木曜 午前各艦ヨリノ訪問來ルコト頻繁ナリ午後司令長官海軍少將スコット來艦退艦ニ際シ禮砲十三發ヲ放ツ

○十一日金曜 午前九時四十分我大日本帝國商船三池丸我國章ヲ掲ケテ入港ス萬里ノ殊域此一船ニ逢フ恰モ吾同胞ヲ見ルノ想アリ本艦我品川灣ヲ出ツルノ頃三池丸モ九月一日ヲ期シ濠行ノ舉アリト聞キシヲ以テ濠州地方舷頭相見ルノ機會アルヤ否ヤト案シタリシガ今日此快事ニ逢フ心地ヨシ十時五十五分我帝國名

譽領事「マ」クス氏來艦ス十一時四十五分退艦七發ノ禮砲ヲ放ツ氏ノ意色欣々タル者ノ如シ我奏任官ノ大禮服ヲ着シ胸間ニ我五等勳章ヲ閃カシ禮砲ノ響應ニ満足セシナルヘシ氏ハ「メルボルン」ニアリ今回我此地ニ回航セシヲ以テ直ニ出悉訪艦セシナリ氏又我艦ニ宛テタル新聞書信ヲ持チ來レリ發航以來已ニ八旬家郷ノ便ニ接セス況ンヤ十月震災ノ詳細聞ヘス如何如何ト三百六十一人盡ク頸ヲ延ハシテ音信アルヲ待チ設ケタル「ナレ」ハ艦内ノ喜知ル可キナリ衆欣々タリ怡々タルリ余モ家兄又信朋ヨリノ書ニ接シ先ツ家山ノ無異ナルヲ喜ヒ弟吉夫病殆ト瘵エヲ喜ヒ親シキ友達ノ變ラサル眞實ニ喜ヒヌ震災ノ「ハ」十月卅日頃マテノ新聞ニテ知り得タリ實ニ前代ニモ例少キ天變震災地ハ勿論全國一般ノ驚愕思ヒ遣ラレヌ

此日午後余ハ千坂少尉ト共ニ上陸ヲ試ミス是余カ始テ足ヲ悉土尼ノ地ニ下セシ者ニシテ濠洲大陸ニ於ケル第二回ノ上陸ナリトス街頭ヲ散策シ悉土尼市ニ於ケル繁華ノ中心ナル「キング」ツビト「ジョーシ」ノ諸街ヲ見物セリ假令ヒ聞シニ優ラサルトハ云ヘ街頭肩摩擊所謂蘇秦カ袂ヲ連ヌレハ幕トナリ汗ヲ揮ヘハ雨トナル齊都ノ雜沓モ斯ノ如キ繁華ヲ云ヒシ者カト坐ニ想像ヲ起セリ終ニ其煩ニ倦ミ植



時歸艦セントス路ニシテ山下太尉江頭少尉ニ逢フ共ニ伴フテ再ヒ街ニ出テ土耳其浴場ニ投ズ

土耳其浴場余ハ生來始テノコナレハ心ニ如何ナル者ヤヲ疑ヒ不知案内ノ爲メ如何ナル失策話頭ヲ醸シ出サンモ知レ難シト獨リ危ミタリシモ全シク切手ヲ購ヒ案内者ニ伴ハレ一戸ヲ推シテ一室ニ入ル室ノ中央ニ大理石ヲ鋪キ方十呎長廿呎餘ノ池アリ清水ヲ湛ヘ浴客ノ游泳ニ任ス又傍ニ二三ノ卓子アリ雜誌新聞客ノ縱覽スルニ供ス又浴後水菓子麥酒客ノ嗜好ニ應シテ饗スル所トス其兩側無數ノ小房アリ衣服ヲ脱却スル所トス一客一室ニ限ル又化粧道具ヲ備フ余等此所ニテ衣ヲ脱シ腰ニ浴褌ヲ纏ヒ再ヒ案内者ニ誘ハレ一戸ヲ推スニ一室アリ黒奴三人白人二人皆裸體ナリ蓋シ此黒奴ハ所謂三助ナル者ニシテ白人ハ浴客ナリ黒奴ハ余ノ頭ヨリ水ヲ浴セ手巾ヲ濕サシメ又一方ノ戸ヲ開キテ推入レヌ此部屋ニ入ルヤ皮膚直ニ溫度ノ高キヲ感シヌ下ハ煉瓦ヲ敷キ寢臺四五臺各木枕ヲ備ヘヌ此寢臺横ニハリ手巾ヲ以テ頭部ヲ冷却シナカラ寢ルハ僅カ二三分ニシテ垢浮キ出スト夥シ出ツルモ道理アレヌバン以後風呂ニ浴セシコナク今煉瓦ノ下ニハ火ヲ焚キ常ニ蒸汽ヲ製シ部屋ヲ温メ發汗ヲ促スヲ以テ試ニ摩一擦スルニ污垢ハ燃レテ燃紙ノ如シ此部屋ノ一方ニ路アリ歩ミ行ケハ又一室ヲ得ヌ此室ニハ七八人ノ浴客

各寢臺ニ横ハルヲ見ル然レモ其溫度頗ル高ク余輩ニハ一二分間止ルモ猶堪ヘ難キ想アリキ又他一方ノ戸ヲ推スニ硫黄ノ氣鼻ヲ撲ツ蓋シ硫黄蒸氣浴ナリキ須臾ニシテ身軀恰モ蝟ヲ蒸シタル如ク頭モ熱シケレハ倉皇再ヒ前室ニ出ツ黒奴又余ヲ延キ其室内ニ於ケル一木臺ニ横ハラシメ徐ロニ胸部ヨリ腹部ヲ擦リ始ム恰モ是組上ノ肉安達ケ原ノ惡婆カ妊婦ヲ劈キタル裝置モカクノ有様ニヤト互ニ顧ミテ一笑セリ黒奴ノ污垢ヲ擦スル手練又巧ニシテ擦々聲アリ身軀四肢畢丸臀部ニ至ル迄洩スコナシ擦シ了ツテ再ヒ石鹼ヲ取リテ洗一洗シ導キテ圓筒恰モ艦ノカシニングタワリノ如キ所ニ入レ一開口ヲ捻レハ水アリ上部又ハ前後左右ヨリ注出シテ盡ク污垢ヲ流シ去ル此處ヲ出スレハ人アリ身軀ヲ拭ヒ新衣ヲ着セシメヌヨツテ新聞雜誌ナトヲ捻クリナカラ他ノ浴シ終ルヲ待チ我衣服ヲ着ケテ去ル實ニ浴後吾身ナカラモ吾身ニ非ラナル程輕ヤカニ快キヲ覺エヌ我國ノ洗湯ニ於ケルヨリ頗ル丁寧ナリ其丁寧ナルモ又當然一浴ニ志我六十二錢餘ニ當ル土耳其古浴場ヲ出テメトロポルホテルニ至リ夕餐ヲ認メヌ此旅館ハ其廣大ナルヲ悉土尼第一ト稱シ規模ノ壯ナルレンナンホテルナトノ比ニアラス然レモ此際食膳ノ美味ハレンナンニ劣リタル心地シヌ是アレヌバン以後生肉生菜ヲ屢口ニセシ故ニカ八時歸ル



○十二日土曜 午前七時驟雨來襲ス

○十三日日曜 午前分隊點檢

○十四日月曜 石炭三百噸ヲ積入ル一噸ノ價拾壹志

午前上陸士官七八名ト共ニ蒸汽鐵道ニ乘リ、ムリアパーク内動物園ニ至ル園内禽獸虫魚ノ類極テ多ク其配置又宜シ日本産トシテハ鯉魚并ニ山椒魚ヲ陳列セリ回覽倦ムニ至ル再ヒ鐵道ノ便ヲ藉リ「ハイドパーク」ニ至ル終ニ濠洲俱樂部ヲ訪フ全俱樂部ハ當市紳士官吏ノ俱樂部ニシテ家屋ノ構造ヨリ書庫待合所食堂洗面所ニ至ルマテ頗ル善美ヲ盡セリ所當市第一ノ俱樂部ト稱スル者ニシテ我軍艦比叡艦長ヨリ次室士官マテヲ名譽會員トナセルヲ以テ一同晝飯ヲ喫シヌ食膳ノ美味モ何トナク四方ノ嚴肅ナルカ爲窮屈ナルヲ感セシカ之ニモ屈セス腹一杯ニ喰込ミタリ終テ市街ヲ散策シ再氷菓子ヲ喫シ植物園ヲ歩ミテ歸ル

○十五日火曜 午前五時半我三池丸出港セリ三池ノ如キハ我國ニ於テ蒸汽船中其長大ニ於テハ一二ニ位スル者ト聞キタリシモ當悉土尼港ニ於テハ實ニ其小ナルヲ感ゼリ

世界ハ廣シ萬國ハ多シト雖又是世界狹小萬國比隣ト謂フヘキカ余ハ圖ラヌモ茲ニ一人ノ朋友ヲ得テ爲ニ又一人ノ相知ヲ得ルコトナリヌ十五日余ハ突然外人ヨ

リ一封ノ書信ヲ受取リヌ外人嫌ヲ以テ聞ヘ生來未タ嘗テ外人ト交際セサル余カ茲ニ此事アルコトナレハ他ノ人々モ攘夷家カ毛唐ヨリ手紙ヲ受取ツタト珍ラシカル程ニテ余自身モ實ニ訝リ惑ヒナカラ封押切ツテ一讀スルニ蟹行ノ文字跡目出度モ

我親愛ナル君ヨ余ハ當地新聞紙上ニ於テ日本軍艦叡ノ士官姓氏錄ニ余カ新西蘭ウエリントン市「ワジョリバンク」街ノ自宅ニ來訪セシ貴國軍艦龍驤筑波乘組士官ノ姓氏ナキヤト目ヲ注キタルニ余カ知人トシテハ唯一ツノ「ヒロセ」ナル姓ヲ認メヌ知ル君ハ果シテ余ノ指ス所ノ舊識ナルヤ謹テ確報ヲ待ツ

「ストロスイルド」ニ於テゼ「チ」シヨ

右指ス所實ハ謬レリ然レモ是余カ實兄ヲ指セシ者ナリ乃チ新西蘭廻航ニ於ケル龍驤筑波乘組士官中ヒロセヲ名乗ル者余カ實兄ヲ指キテ他ニナキヲ以テ知ルヘシ此手紙ヲ持チ來リシ者ハ「アール」ブラウント云フ蓋シ「シヨ」ノ近隣ニ居ル眞田石川二少尉候補生ト「ロース」フィールドノ運動場ニテ相識ル此日二友人ヲ拉リ來艦ス余勞ヲ謝シ人毎ニ團扇ヲ送ル「ブラウン」氏喜フト甚シ來ル廿日日曜午前十時ヲ以テ眞田石川二氏ト共ニ必ス來訪センコトヲ乞ヘリ余モ其懇切ナルト「シヨ」ノ余カ實兄ニ對スル親實ナル默々ニ付シ去ル可ラサルヲ以テ直ニ一封ヲ裁シ「ブラウ



ン氏ニ托ス

九〇

我親愛ナル君ヨ余ハ君カ懇切ナル書信ニ接シ深ク満足ヲ表スル者ナリ然レ共  
余ハ君カ指ス所ノ舊識ナラス君カ所謂「ヒロセ」ナル者ノ實弟ナリ來ル廿日日曜  
日午前十時ヲ以テ訪問君ト快ク面晤センコトヲ樂ム者ナリ  
ア、實ニ天下到處其知人ナシト云フ可ラス余ハ前ノ如キ關係アリ茲ニ南半球濠  
洲ノ地ニ於テ圖ラヌモ二名ノ外國人ノ知己ヲ得タリ奇ト謂ツヘシ  
此夕森艦長亡父君ノ十七回忌ニ丁ルヲ以テ副長以下各士官ヲ艦長室ニ招キテ饗  
應ス余モ又席末ニ列スコトヲ得タリ亡父君嘗テ大坂丸ニ長タリ衝突ノ不幸ニ遭  
ヒ紀州洋ニ歿スト

○十六日水曜 天候穩カナラス偏西ノ風吹キ大氣頗ル煩悶ヲ覺ユ但シ内地沙漠  
ノ熱沙上ヲ過キテ來ル者ナリト云フ寒暑針九十四度ニ昇ル當港氣候ノ變化著シ  
冷カナルハ六十四度ニ下ル糧食積入方ヲナス

○十七日木曜 午前砲術長ニ從ヒ候補生ト共ニ造幣局ヲ覽ル鑄造スル者盡ク金  
貨黃壘々タリ一般監督嚴格ナラヌ心地シヌ歸路砲術長ニ從ヒ書籍館ニ至ル觀覽  
者ノ沈黙書架ノ整頓ナル感スルニ堪ヘタリメトロポロホテルヲ過リ午餐シテ歸  
ル又砲術長三番分隊長ト共ニ碇泊ノ英國軍艦四隻ヲ歴訪ス艦内一般少シモ威ヲ

惹クニ足ル者ナク恐ル、ニ足ラス斯ノ如クニシテ猶軍艦カト思フ所ナキニシモ  
アラス旗艦ヲイランド「ワラル」ト相駢ビ棧橋ヲ架シ一ノ當直士官ニシテ兩艦ヲ  
護ルナト其ノ奇ニ驚キ「ブームランク」號ニ至リテ一人ノ「デキヤヒ」サー「ナキ」杯我  
々日本海軍軍人ニハ其無頓着ニ呆レタリ併シ當時ハ夏季休暇中ナリト云フ  
○十八日金曜 「チバルポイント」ヨリ購求シタル「キグ」二隻ヲ本艦ニ裝シ「ガニー」及ヒ  
第一「ギグ」ト命ス

○十九日土曜 縦覽ヲ許ス「ブレスバン」ノ如ク雜沓ナラス一般市民ノ感情頗ル冷  
淡ナルニ似タリ

○廿日日曜 此日午前十時ニハタトヒ猫降り犬降ルノ天候タリトモ必ズ「ストロ  
スファイル」ト「停車場」ニ來ルヘシト「ブラウン」氏ト堅ク約セシコトナレハ余ハ加藤少  
尉候補生ヲ拉リ石川眞田二候補生ト共ニ總員四名午前上陸トラムニ乘リ悉土尼  
停車場ニ至リ「ストロスファイル」行ノ汽車ニ投ス車ハ十五分毎ニ發スル者ニシテ  
駛行甚タ速カナリ四五ノ停車場ヲ經テ「ストロスファイル」ニ着ス直ニ下車シ彷徨  
セシ際一人アリ來リ進ンテ曰ク君ハ廣瀬君ナラスヤ對テ曰ク然リ君ハ「シヨ」君  
カト握手忽チ相識者トナル蓋シ氏ハ新西蘭ニ居ルニ週前來濠セシナリト忽チ見  
ル喜色滿面ノ「ブラウン」氏一友ヲ伴ヒ來リ迎ヘ直チニ余カ一行ヲ訪ヒ一ノ葡萄園

九一



ニ導キ店主ヲ呼ヒ所製ノ純ブドウ酒ヲ饗シ周旋太タ勉ム又艸花ヲ取り各胸間ニ挿サシム出ヅレハ馬車アリ之ニ乗シテ氏ノ寓ニ至ル至ルヤ否ヤ又一杯ノ酒ヲ侑ム氏ハ建築師ニシテ英蘭ニ生ル足跡殆ト天下ニ遍テシ曩年來濠悉府ノ煩ヲ避ケ斯ク近郊ニ寓スルナリト性質頗ル淡泊豪放飲ヲ嗜ム余等ニ對スルニ城壁ヲ設ケス懇待衷情ヨリ出ツル者ノ如シ壁間疑ニ余カ贈ル所ノ團扇ヲ指シ英國ニ歸リ吾愛妻ニ示サント又氏カ所藏ノ物ヲ示シ少シモ隱蔽スルコトナシ公等唯其欲スル所ヲ取レト特ニ余ニ一扁額ヲ示シ尉官ヨリ謹テ贈物トナサン乞フ決シテ辭スル勿レト又横濱ニテ購ヒシ三個ノ敷物ヲ指シ他三氏ニ贈ラントス余等余リノコトニ呆レ唯其厚意ヲ謝シ其等ノ配慮ニ及フナキヲ以テ聞カサル者ノ如シ余又携フ所ノ團扇ニ余カ眞影ヲ副ヘテ之ニ與フ氏喜ヒ禁セサル者ノ如ク又更ニ酒ヲ侑ム余等四人素ヨリ酒ヲ嗜マス氏カ切ニ侑ムルヲ以テ大ニ窘ム氏ハ其伴フ所ノ友人ニ午餐ノ事ヲ命シ「シヨ」及ヒ余等四人ヲ馬車ニ乗セ近郊ヲ馳ス元來日本ニ慣レタル余輩ノ目ニハ珍ラシクモナキ景ナレモカ、ル田舎ノ風致モ又快ク神爽カニ魂清シ終ニハラマタリバ「畔」ノ公園ニ至リ遊歩ヲ試ミル一少時再ヒ車ニ上リテ歸途ニ就ク歸途又一戸ヲ過ク家ハ獨逸人ナリ陋ナレ共頗ル富ム者ナリト余カ一行ヲ紹介シ「ブラウン」氏ハ意氣得々タル者ノ如シ又酒ヲ饗セシメテ去ル終ニ停車場

ノ外一旅館ニ導ク館ニアルノ人士ニ又余輩ヲ紹介シ「ブラウン」氏獨リ欣々タリ余等ハ其懇實ナルニ感シタルモ五月蠅キ「コ」云ハン方ナシ終ニ午餐ノ饗ニ就ク食膳又「ブラウン」シヨ「二人ノ配慮セシヲ察スルニ足ル「ブラウン」氏益酌ンテ漸ク酔フ一客アリ余等ト談ラントス氏怒テ曰ク是皆日本帝國ノ尊紳ナリ汝等奴輩ノ口ヲ交ユヘキ者ナラスト其他言語舉動只熱心余等ヲ敬愛スルヨリ他意ナキ者ノ如シ而シテ又切ニ余ニ扁額ヲ贈ラント勸メテ止マス余頗ル窘ム又誘ハレテ終ニ氏ノ寓ニ至ル余等ハ氏ノ熱心留メントスルニモ拘ラス歸期迫マルヲ口實トシ「シヨ」「ブラウン」二氏ニ謝シ再ヒ汽車ニ乗シ「トラム」ニ轉シテ歸ルア、此日愉快ト云ヘハ愉快ナリ困却セシト云ヘハ困却セシナリ特ニ「ブラウン」氏ノ余等一行ニ對スル好意優遇ハ口舌ノ盡ス所ニアラス氏ノ氣象ハ洋人ノ如クナラス東洋ノ古奇人肌ト余等一行ハ評シタリカノ扁額ノ「コ」モ辭スヘキ辭ハ述ヘ盡シ「シヨ」氏ニモ堅ク其事ナキヲ頼ミタル「コ」ナレハ十ガ一ニモ送り來ル「コ」ナカルヘシト思ヒシニ豈圖ラシテ翌廿一日使ヲ馳セテ贈リ來ラントハ

○廿一日月曜 候補生大學校縦覽ニ赴ク午「ブラウン」氏使ニ齎ラシテ扁額ヲ送り來ル圖書廿一「ギ」ニ「コ」ヲ價セシト殆ト我百參拾五圓ニ當ル余ヤ此贈遺ニ遇フ辭ノ以テ謝ス可キナク禮ノ以テ返ス可キナシ漸クニシテ一物ヲ得タリ是筑前鍛冶ノ



日本刀ナリ骨テ家父ノ出京スルヤ身之ヲ負フテ余ニ與ヘタル者ニシテ余ニ於テハ千金ニモ換ヘ難キモノナレ共他ニ與フヘキ者モ無レハ一書ヲ副ヘテ返シ贈リヌ生來ノ頑固守舊攘夷家ノ評判アル余カ此贈物ヲ彼ノ洋人ヨリ得タルヲナレハ艦内ニテハ大評判若シ單ニ此件ノミヲシテ本國ノ諸友人ニ知ラシメハ必ス廣瀬モ開化シテ交際家ノ伴侶ニ連リタルナラント謂フナルヘシト額面ハ直ニ艦長ニ預ケ艦長室裝飾品ノ一トナリヌ

○廿二日火曜

○廿三日水曜

○廿四日木曜 午後八時ヨリ英國海軍士官及當地ノ重ナル貴紳貴女ヲ招待シテ夜會ヲ吾軍艦比叻ノ甲板ニ開ク前日來爲メニ委員等ヲ設ケ準備ニ怠リナカリシカ實ニ豫想外ノ上出來流石ハ平時ノ外交官外客待遇ノ手際我々如キ者ハ只管威佩ノ外ナシ後甲板ノ芝居舞臺ブーブデッキノ舞踏場候補生室ノ立食場ヨリ一園ノ菊花壇牡丹ノ豐艶梅花ノ清楚杜若花ノ雅致摸シ得テ妙哉々タル岩上一匹ノ猿猴手ニ英語モテ花折ル可ラスト認メタル制札ヲ握リテ立チタルト艦橋ノ正面ニハ小豆米粒ニテウエルカムノ文字ヲ現ハシタル扁額ハ一層衆目ヲ惹キヌ而シテ無數ノ紅燈ト電燈ヲ點シ且ツ到處彩旗ヲ以テ飾リ立テ見ル目眩ユキ程ナリキハ

時ヨリ端艇ヲ以テ客ヲ迎フ入り來ル客ハ盡ク禮服鮮カニ意氣欣々タルモノ、如シ八時四十分音樂起リ踏舞始マル余ハ元來見ヌ先ヨリ踏舞ハ大嫌ナリ現ニ先年布哇ホノルルニ於ケル當艦ノ踏舞會ニモ避ケテ一目ダニ觸レス爲メニ他人ノ笑ヲ招キタル者ニシテ其他二三ノ場合ニモ皆盡ク避ケ來リシカ今回ハ全艦内ト云ヒ艦橋ニ立チタルヲナレハ目前ニテ蹈リ舞ハレ全ク見サル譯ニモユカス一瞥セシカ其男女相抱キ夢中ニテ跳ヌ廻ルニハ呆レヌ是我神州ノ士ノ爲スヘキ者ニアラス況ンヤ特ニ平時タリニ戰ニアルヲ忘レサル軍人ニ於テヲヤト悲憤慨慄スルモ又當世風ニ合ハサルノ士カ呵々

踏舞終レハ茶番狂言アリ手品アリ平生勞役ニ堪ヘ迎モ何ノ隱藝カアラント想ヒシ水兵カ斯克迄モ熟練ノ遊藝ヲ有セントハ笑聲喝采頻ニ起ル此夜ノ盛會モ生憎ク九時半頃ヨリ雨降り十一時半頃ニ至リ益ス甚シク折角ノ踏舞茶番ハ六七分ニテ止ミ衆客ノ散シ盡セシハ一時ナリキ散シ盡セシ後ノ整頓ハ甲板士官ト各水兵ノ骨折ナリ

○廿五日金曜

○廿六日土曜

○廿七日日曜 夕吉岡候補生等ト上陸植物園、ハイド公園ヲ歩ミ直ニ歸ル



○廿八日月曜 總帆ヲ取付ク

○廿九日火曜 午前大艇小蒸汽ヲ揚ケ八時汽鐘點火午後二時廿分解纜濠洲案内記ニ一人ノ旅客モ涙ナシニ見棄ツル能ハサル悉土尼港ヲ後ニシ出帆シヌ然レトモ我艦ニハ恐ラクハ此江山ニ戀々トシテ涙ヲ揮フ者果シテ在シカ頗ル疑ハシ悉土尼在留ノ我全胞無慮四十餘人然レトモ余ハ之ヲ云フニ忍ヒサルナリ兼松商會ノミ唯獨立ノ業ヲ營ム其他多クハ園丁番頭ノ類ノミ慨嘆當府ノ支那人身ニハ洋服ヲ穿テ頭ヲ散髪ニシ一見我全胞人ト認ル爲メニ我全胞人ノ迷惑ヲ蒙ル多シ記スルモ心地ヨカラヌヲナレハ省筆ス

出帆ニ際シ分隊點檢人員ヲ調フ便乘者松岡好一昨夜來上陸歸艦セシ總員三百六十一人茲ニ一人ヲ缺ク  
三時卅五分サウスヘッド燈臺ヲ右舷正横ニ望ム夕軍事點檢後總帆ヲ展シテ汽走ヲ止ム

○卅日水曜 晴午前四時零分三等水兵弘瀨倉太病死ス惘然酸鼻ノ至ニ堪ヘス八時半下手廻ヲナシナ一時半上手廻ヲ行フ品海抜錨後始メトス午後六時半上手廻ヲ行フ半ニシテナラス下手廻ヲナシ漸ク新テツキニ變ス  
正午南緯卅五度九分東經百五十一度六分

○卅一日木曜 曇午前二時十五分右舷艦首ニ當リ「ジャビス灣口セントジョージ」燈火ヲ見ル去八日我艦ノ彷徨セシノ地ナリ次テ風力ノ減殺スルヲ以テ汽鐘ニ點火ス八時脚躡法ヲ行ヒ故三等水兵弘瀨倉太ノ遺骸ヲ水葬ニ付ス遺憾綿々涯ナシ滿艦悄然タリ余メルボルンヨリ其生家ニ寄スル書アリ附記ス

拜呈小官故弘瀨倉太義ニ付キ茲ニ實ニ云フニ忍サル凶事ヲ通報スルノ不幸ニ逢ヒ申候

倉太義實ニ昨廿四年十二月卅日午前四時零分南太平洋上ニ於テ長眠歸ラヌ旅ニ赴キ候書キ列ヌルモ涙ノ種徒ラニ各位ノ御愁傷ヲ重ヌル事トハ存シ候ヘ共云ハテ止ムヘキヲナラテハ連ヒ兼タル筆ヲ援リ書綴リ候間宜敷御推讀可被下候倉太義去ル品川拔錨後至ツテ壯健彼ノ十月四日遭颶ノ際ニモ充分奮勵小官ノ目ニモ一際目立チタル勳ヲ爲シタル者ト認メ居リ候程ニテ頗ル元氣活潑ニ見受ラレ候處豈圖ランヤ十一月十七日ヨリ卒然肋膜肺炎ニ罹リ受診致シ居リ候最初ハ格段ノ容躰トモ見ヘス全愈日ヲ期シテ待ツヘシト存シ候處悉土尼港碇泊頃ヨリ漸ク悪シク終ニ悉土尼拔錨ノ翌日即チ十二月卅日午前四時ヲ以テ軍醫ノ必死投劑救護又看病夫ノ熱心看護スルニモ拘ラス天ナルカナ命ナルカナ果敢ナクモ絶息シ終リ申候噫實ニ當人モ萬里異郷ノ海上特ニ血肉一人トシ



テ看護スル者ナク茲ニ長逝シタルハ遺憾ナルヘク又遺族各位モ其死ニ瀕スル者ノ病床ニ看護セサルハ實ニ不本意千萬ト奉遙察候併シ是天命定數トシテ御明ラメ被下度候格段ニモ去年十二月滿期歸郷ノ筈ナリシニ九月來ノ遠航ニヨリ終ニ萬里他郷ニ病歿スルニ至リタリト念茲ニ至ラハ益ス其愁傷遺憾ヲ重ヌルコトナラント存候ヘ共前ニモ述フルカ如ク是天ノ命定マリタル數ニシテ逆モ人力以テ如何トモ爲シ難キコトトテ御明ラメ可然ト存候素ヨリ艦内ノ事ナレトモ診斷藥餌看護ニ於テハ充分盡シ得ヘキ丈ケノ力ヲ盡シ軍醫長少軍醫ハ殆ト寢食ヲ忘レ是非共救護セントテ大勉強其他看護ノ懇切ナル艦長初メ各士官ノ配慮同列下士卒ノ見舞乘組一同盡ク配慮セシコトニ候ヘハ左様御承知有之度セメテハ御慰懷有之度候

絶息ノ後同列ノ朋友打集リテ丁寧湯棺ナトノ勞ヲ取リシハ現ニ小官ノ目撃スル處ニシテ身内ノ者モ不及程懇切ヲ盡シ申候

葬送ノ義ハ實ニ我國普通ノ習慣トシテハ不本意ノコトナランモ海軍々人トシテハ又不得止條例ニヨリ水葬致シ候是又氣候ト云ヒ航海中ト云ヒ陸地迄持チ運フト申ス譯ニモ不參血肉ヲ分チシ各位ニハ定メテ御不本意此上モナキト存シ候ヘ共是又致シ方ナキ次第ト御明ラメ被下度候

卅日一日丈艦内ニ屍躰ヲ飾リ同列朋友通夜致シ翌卅一日午前艦ノ進行ヲ止メ八時半水葬致候水葬トテ其儘ニ流シタル者ニテハナク最上正服ヲ着ケ毛布ヲ纏ヒ其上ヲ帆布ニテ縫ヒ込ミ重量トシテ大砲ノ彈丸ヲ入レ海底深ク葬リ申候葬式ニハ艦内三百五十有餘人盡ク正服ニテ臨場番兵隊警戒ニ番分隊長小禮服ニテ弔詞ヲ拜讀艦長以下總員燒香致シ申候艦内トハ云ヘ出來得ヘキ丈ノ葬式弔意ヲ表シ申候

香典トシテ艦長ヨリ金三圓副長ヨリ二圓士官候補生準士官下士卒各自月俸百分ノ一ヲ醵メ靈前ニ供ヘ申候

又倉太義遺髮ハ確ト預カリ申候其他土耳其國ヨリノ救難章始メ私有品ハ預リ取纏メ置キ候月俸ノ貯金其他郵便貯金局ニ預ケアル證書等一切確ニ預リ置キ申候歸朝ノ砌早速送致可仕候間左様御承知可被下候其預金等ノ額ハ別紙ニテ御一覽可被下候

小官ハ此等ノ遺髮遺品等ノ各位ヲシテ愁傷悲嘆ノ媒トナルヲ悲ム者ニ御座候其遺髮遺品ノミナラス此凶報ヲ認メ各位ニ報知セサルヲ得サル故倉太氏ノ不幸血肉各位ノ此手紙ヲ見テ發スル愁嘆ヲ悲ムヤ實ニ深シ宜敷御推察可被下候小官事當時倉太義分隊ノ分隊士トシテ長ク親シク其平生ヲ知ルヲ以テ茲ニ一



封ヲ呈シ其委細ヲ陳述致ス義ニ御座候返ス返スモ小官ハ我海軍軍人トシテノ  
倉太我分隊ノ良卒トシテノ倉太ノ病歿ヲ悲ムノミナラス唯一己ノ知人トシテ  
其ノ知人血肉ノ各位ヲシテ驚嘆悲痛セシムル不幸ヲ悲ム者ニ御座候  
艦務匆忙閑暇稀ニ且文意ノ亂雜筆端ノ蕪雜ナル宜ク御推讀奉祈上候  
頓首

比叡分隊士海軍少尉 廣瀬武夫

十七文字二首ヲ手向ケヌ

壯夫のとむらひ弾丸の手向かな

武夫の目にも涙の手向かな

午前七時頃ヨリ汽力ヲ藉ル十時總帆ヲ疊ム夕ニ及ヒ浪濤稍高シ

光陰矢ノ如ク留ムレモ留ラス明治廿四年モ今宵一夜ト逼リヌ武夫汝學ヒ得タル  
所若干ソ汝成シ得タル業若干ソ實ニ慚愧ノ至ニ堪ヘサルナリ感慨頻ニ起ル余カ  
廿二年ノ今夜ニ

事々與心違。偷安常失機。歲華空逝水。知廿二年非

ア、今年モ亦同シク徒ニ廿四年ノ非ヲ知ルノミ

征途年已暮。孤劍在南溟。宿志未酬得。空看十字星

正午南緯卅五度廿五分

明治二十五年

○一月一日金曜日 處ハ南ノ半球ニテ見果モ盡キヌ太平洋唯渺茫タル青海原國  
ヲ去ルコト四千有餘哩南緯八度二分東經百七十度三十一分茲ニ我身モ廿二年ヲ  
送リテ明ケク治マル御代ト諸共ニ打出ス時ハ八點鐘午前零時零分目出度廿三ノ  
春ヲ迎ヘヌ朝風ニ起出テ身裝ブニ上リテ眺ムレハ一天晴レテ長閑ニ風和ニ  
浪靜イト麗ナ心地シヌ四方ノ望モ絶果テ何處ノ空ヤ我郷ト唯其方ヲ思ヒ遣リ遙  
ニ拜ム天皇ノ千代ニ八千代ヲ壽キテ我祖母上ヤ父上ノ恙ナクマシマシテ兄ヤ弟  
ヤ妹等モ目出度年ヲ迎ヘナン如何ナラント案シツ、又親思フ心ニ優ル親心我身  
ノ思ニ彌増シテイカニ思ヒ煩ヒ玉フラント坐ニ妄想ヲ畫キタリ九時總員整列シ  
北ニ向ヒテ遙拜式齊シク千世萬世ト大君ヲ祝キテ艦長始下士官マテ畏レ多モ惶  
クモ我大君ノ御影ヲ伏拜ミヌ終ツテ候補生室ニ於テ祝賀ノ筵ヲ開カレテ謹テ  
天皇陛下ノ萬歲ヲ祝シ併セテ副長以下各位ノ健康ヲ望ムト艦長ノ鶴ノ一聲ボン  
チノ盃差上レハ齊シク連レテ奉拜ト祝賀ノ聲ヲ擧ケタリシハ勇マシカリケル次  
第ナリ此ヨリ後ハ大飲暴食吞メヨ歌ヘノ大騒キ各其歡ヲ盡クシテ止ミシカ終ニ



其度ヲ失シ亂醉狼藉ノ有様ニ終ハリシモ少カラス此際松魚ヲ釣リ得タリトテ其一擲ヲ味ヒヌ出帆以後ノ一好味ト皆々舌ヲ鳴ラシタリキ「フオー」ニテモ同シク祝盃ヲ舉ケタリト覺シク酒醺ヲ帶サルハナシ是ソ即昇平ノ餘澤我天皇ノ仁風ニ酔タル者カ目出度ノ限ニコソ

是余カ廿三年元日ニ於ケル日記ノ一節ナリ、ア、海軍軍人ノ生涯又異ナル哉余ヤ廿一ハ東京ニテ舊ヲ送リ廿二年ハ江田島ニ春ヲ迎ヘ廿三年ニハ南太平洋ニテ新ニ逢ヒ昨廿四年ノ元日ハ横須賀港ニテ賀セシカ今廿五年一月一日ニハ南半球濠洲東岸ノ太平洋中ニアリテ茲ニ壹年ヲ加ヘヌ艦内一班及余カ感想ハ又廿三年ノキニ異ラサルヲ覺ユ唯艦長ハ「ケビン」ニ士官室士官ハ「ワイドル」ニ士官次室士官ハ「ガングル」ニ候補生ハ候補生室ニ割據シ一昨年ノ如ク上艦長ヨリ候補生ニ至ルマテ快ク一堂ニ會飲新年昇平ヲ樂ミシ「ナキノ」然レ共艦内一般トシテハ航海中今日ノ如ク愉快ニ元日ヲ過セシ「ナ」嘗テ無シト老兵者共ノ語り合ヒシ程面白ク遊戯ヲナシヌ先ツ第一ノ遊戯ハ角觥ナリ素ヨリ勞働ニ堪ヘ壯氣牛ヲモ劈カシ若者カ長ラク蓄ヘ置キシ力瘤三百餘人カ目前ノ競技場ノ競ヒニ競フ取組ノ勇サ喝采ノ聲ハ海上ニ響キ渡ル許リ「フオー」バート「アフター」バート「ト互ニ勵シ罵リ合果テハ見物同士モ擲合ハン許ノ有様ナリニ番勝ニハ賞品ヲ與ヘヌ無慮數十番

モ取組ケレハヨキ時機ニ打出シヌ「ブー」ニハ風銃ニテノ射的會一人三發ト定メケレハ我モ我モト應スル者殆ト百人中々ノ賑ヒナリ、土俵跡ニハ忽チ變ハル演劇場悉土尼夜會ノ其ノ砌演シ殘セシ茶番狂言間ニ手品ヲ加ヘシカ是又大喝采、中ニハ思ヒ付ノ手踊ヲト取交セ取交セ今日ヲ晴レト日頃ノ隱藝ヨモヤ彼ノ荒男カト思ヒシ者カ案ノ外人々ノ目ヲ驚セリ、三絃ニ淨瑠璃ヲト其ノ道ノ者モ舌ヲ捲カント此等ノ道ニ通セシ人ノ話ナリキ充分歡モ盡キ果テケレハ同シク福引ノ纏頭ニテ散會射的會モ同シク終結ノ上同シク賞品四十マテヲ與ヘヌ此等ノ賞品皆上艦長ヨリ候補生迄思ヒ思ヒノ寄附品ニテ成立チヌ艦内到處笑ヒトヨメキ靄然タル和氣真ニ是昇平ノ餘澤海上浪靜ニ風穩ニ日出度明治廿五年ノ春ヲ迎ヘタリ、是此航海中艦内上一統ニ與ヘシ尤モ愉快ナル日ナリキ、余ヤ此日ヨリ釜屋少尉ニ代ハリ甲板士官ヲ命セラレシ「ナレ」ハ何ニテモ世話役ノ位置ニ立チ角觥ニテハ勸進元ナリ年寄役ナリ、芝居ニ於テモ勸進元ナリ世話役ナリ射的ニ於テハ幹事ナリ審査員ナリ賞品掛ナリ各表賞者ナリ今日雜務ノ大立者海軍士官モ中々餘計ノコトマテ骨ノ折レル役目ナリ呵々、

午前八時十分「グリン」角燈台ヲ右舷正横ニ午後二時十五分「ガボ」燈台ヲ同シク右舷正横ニ見テ「バツス」海峡ニ入り三時四十分「ケーブ」燈台右舷正横ニ見テ通



過ス

正午緯度三十七度四十三分經度百一一度一分

○二日土曜 曇午前十時廿五分、ホーガン島ヲ左舷艦首ニ認メシ頃ヨリ西方ヨリ強風來襲艦ノ動搖漸ク大ナルヲ以テ大砲並ニ「ブームス」ノ緊縛ヲ固定ス風威益ス加ハリ其力六ニ超ヘ波濤頗ル激セルヲ以テ終ニ「ウオタルロー」灣ニ入り兩錨ヲ投シテ泊ス時ニ午後五時四十分ナリ錨鎖四節ヲ出ス水深十三尋底質泥、艦位「ウエリントン」岬北東才東二分ノ一東、ウオタルロー角南々東四分ノ一東ナリ錨地讚州粟島ニ似タリ

此日ハ是稽古初ト俗ニ稱スル日ニテ余等一行ハ強風ニ逢ヒ錨地ヲ求ムル程ノ困難ニ遭遇セシハ海軍士官ノ本望、今年實地練習ノ先途多望ナルカナ、多幸ナルカナ正午南緯卅九度三分東經百四十六度五十五分

○三日日曜 晴午前八時「カッタ」ヲ下シ海濱ニ至リ砂ヲ採ル沿岸一帯ノ白沙體々雪カト疑フ或者ハ潮ノ結晶セシヤト訝リ嘗メ試ム者アリキ俱ニスル者釜屋少尉候補生七八名及ヒ水兵トス濱邊ノ散步巒山ノ跋躄號令ノ大喝意ヲ爽カニスル快ナリキ歸レハ直ニ出艦用意十一時終ニ錨同四十八分「ウイルソン」燈臺ノ南東角燈臺ヲ右舷正横一哩ニ望ム午後九時十五分「シャンク」ノ燈臺ヲ右舷艦首三點ニ見ル

○四日月曜 晴午前二時四十分「シャンク」燈臺ニ並フ五、四〇艦首ヲ轉シ「ボートヒリツブ」口ニ向ケテ灣内ニ入ル兩岸ノ曙色稍見ルヘシ十一時五分「ボブソンベ」ニ入り水路嚮導者ノ勸告ニ從ヒ右舷錨ヲ投シタルニ前進ノ力強ク錨鎖ハ四節ノ間ヨリ切斷セリ因ツテ直ニ後退左舷錨ヲ投シテ泊ス此日ヤ實ニ此過失ノ爲メニ一日艦内一般ノ力ヲ勞シ辛シテ右舷錨ヲ揚ケ錨鎖ヲ接續シ再ヒ右舷錨ヲ投シ左舷錨鎖ヲ縮メ起錨トナシ其夜ハ右舷錨ノミニテ泊ス餘リ見榮アル投錨法ニテハ非リキ午後一時二十分英國女皇陛下ニ對シ廿一發ノ禮砲ヲ放ツ當州附屬軍艦訥爾遜ヨリ直チニ應砲セリア、國ヲ距ツテ一百有六日茲ニ南米半球濠太利亞「グイクトリア」州米倫慕港碇泊ノ身トナリス

維太利州 本州植民ハ千八百三十五年ヲ以テ始トス新南威斯ノ管轄ニ屬シ「ボートヒリツブ」地方ト稱セシガ千八百五十一年分立シテ一州ヲナシ維太利ト稱ス濠州六州ノ中最モ小ナルモノニシテ總面積八萬七千八百八十四方哩ニ過キスト雖モ人口百廿萬餘ニ上ル始メハ濠州一般ハ著シク進運ニ向ハサリシカ千八百五十年二月十二日「ハーグレイブス」氏ノ金山發見ノ舉アルヤ萬國ニ非常ナル激動ヲ與ヘ歐洲ノ冒險ハ競フテ此地ニ來リ世界ノ資本ハ爭テ金鑛ニ注入シ全州恰モ狂スルカ如ク茲ニ繁榮ノ基礎ヲ立ツルニ至レリ特ニ該維太利ノ如キ進步ハ古來其



例ヲ見サル者ニシテ世界ノ耳目ヲ聳動シ當州ノ首府慕倫ノ如キ南球ニテハ屈指ノ都會ヲ以テ目セラレ悉土尼ヲ凌駕セン勢ナルハ又偉ナラスヤ盛ナラスヤ  
 米慕倫府ハ南緯卅七度四十九分五十三秒東經百四十四度五十八分四十二秒ノ地ニアリテ「ヤラヤラ」河ノ北部ニ位ス大別シテ「メルボルン」北部「メルボルン」東部「メルボルン」西部「メルボルン」ノ四區トナス街衢整正縱橫四達ニシテ悉土尼府ノ如ク不規則ナラス道路ノ幅又廣濶ナリ市中鐵道ノ設ナキモ到處「トラムカー」ヲ通シ以テ往來ニ便ニス大厦高樓相櫛比シ往々悉土尼ヲ凌ク建築ナキニアラス街頭ノ雜沓ハ稍彼ニ劣ルノ觀アルモ同シク是肩摩シ穀擊ス又是南洋二三ノ大會タリ一千八百卅五年始メテ植民セシ當時ハ人口僅ニ十四人ナリシカ一千八百四十一年ニハ四千四百四十人ニ上リ同シク四十六年ニハ一萬九百五十人トナリ同五十二年恰モ金礦發見二ケ月前ニハ二萬三千四百十三人ト算スルニ至レリ而シテ金礦發見後ハ層一層人口ノ増加ヲ見一千八百八十一年ニハ三十萬ニ上リ同八十九年十二月卅一日ノ調査ニヨレハ現ニ四十五萬八千四百七十八人ヲ有スト云フア、又盛ナラスヤ

「ヤラヤラ」ノ河口「ウイリアムタウン」海中ニ突出シテ「ポートヒリブ」内又一ツノ灣ヲ形ツクル之ヲ「ホブソン」灣ト云フ商船軍艦ノ碇泊場トス悉土尼「ジャクソン」灣ノ良好ナルニ比スヘキ者ナラテト又一ツノ碇泊場タルヲ失ハス其「ポートメルボルン」海濱ニ二箇ノ棧橋アリ七百三十「ヤード」五百三十「ヤード」海中ニ突出セリ水深廿呎ニ及フヲ以テ大船巨舶モ直ニ之ニ横付シテ貨物ヲ上下スルヲ得橋上鐵道ヲ敷キ運搬ニ便ニシ又「スチームウイン」チヲ備フ人アリ茲ニ此「ポートメルボルン」レールウエイ「ピア」上ニ立チ彼ノ四若クハ五橋ヲ備フル二個以上ノ烟突ヲ有スル大船巨舶ノ横接シ蒸烟ノ空ヲ蔽ヒ林檎ノ參差タル累々タル貨物ヲ「ウイン」チニテ揚ケ鐵道ノ貨車ニ移シ汽車ハ直ニ之ヲ運搬スルナト其復雜繁忙ヲ見ハ其繁榮ナルニ一驚ヲ喫スルナルヘシ「ポートメルボルン」ハ人口一萬ヲ有シ米慕倫ヲ去ル二英里半トス汽車ハ十五分時ヲ隔テ、相發ス時ヲ費ヤスニ十分ニ至ラス便利云ハン方ナシ米慕倫港碇泊ハ一月四日ヨリ全廿一日ニ至ル其間十七日碇泊日數ヲ云ヘハ少ナシト云フ可ラス之ニ準シテ艦員モ屢上陸見聞ヲ廣ムル者少カラス余モ又上陸ヲ試ミシカ生憎今年元日ヨリ甲板士官ノ任ヲ受ケ艦務執掌勝手氣儘ニ上陸モ出來ス僅ニ三回試ミタリ孰レモ午後ニ上リテタニ歸ル其間僅ニ四五時間ニ過キス日記ノ原料ヲ得ル稀レナリ況ンヤブレスペイン、シドニーニ於ケル上陸ヨリ洋人都會ノ様モ一通リ知り得タルヲナレハ此米慕倫ニ於テ筆ヲ勞スル程ノ價值モ無ケレハ簡ニ單ニ僅ニ碇泊中ノ一斑ヲ記サン



○五日火曜 午前左舷錨ヲ投シテ、ムーリリングヲ爲ス右舷錨鎖三節左舷錨鎖二節ヲ出ス水深四尋半底質泥トス午後天候穩カナラス南西ノ風其力四ヨリ五ニ及フ者吹キ來リタルヲ以テ高橋ヲ下シポイントヤードヲ行フ大氣乾燥ヲ覺エ溫度八十五度ニ至ル

○六日水曜 快晴風收マリシヲ以テヤードヲ直シ高橋ヲ上ケ午後一時英艦コー德里ヤ入港我カ南西二鐘餘ノ地ニ投錨ス艦長碇泊ノ各軍艦ヲ訪フ

○七日木曜 晴午後風浪頗ル高シ午前、コー德里ヤ艦長來艦ス午後、マジヨルゼテラル來訪ス歸ルニ際シ禮砲十三發ヲ放ツ

○八日金曜 晴午後風浪又高シ當港碇泊中午後風浪ノ高カラサルヲ稀ニ上陸歸艦員浪ヲ蒙ラサルヲ少ナシ食品ヲ積ム

○九日土曜 晴午後昨日ノ如シ此日當殖民地陸軍觀兵式ニ招カレ往觀セル全艦員ノ話ニ分列式ハ稍可ナリト雖射擊ニ照尺ヲ用エル者稀ナルハ如何ニカ然レ共運動三時間ニ亘リ兵士疲勞ノ色ナク口頭一言ヲ發スル者ナク靜肅是極ムト

○十日日曜 晴午前分隊點檢ヲ行フ午後市民ニ縱覽ヲ許ス來觀スル者無慮千餘人艦内艙雜沓ナホプレスハン港ニ於ケルカ如シ唯風浪高ク且ツ運船ノ術ニ拙ク爲メニ舷梯ヲ破壞シ舷窓ヲ衝破スル如キアリテ迷惑一方ナラス又甲板士官ノ厄

介木工ノ骨折ナリ

○十一日月曜 晴風波稍穩ナリ

○十二日火曜 晴終日風強ク浪高シ

○十三日水曜 曇細雨時々來ル遭颶後木材鐵材缺乏ヲ告ケレハ今日之ヲ購ヒ不時ニ備フ

○十四日木曜 曇午前九時五十分英艦、コーデリア出帆英國ニ歸ル午後波高ク小蒸汽ヲ用ユ可ラサルニ至ル

○十五日金曜 雨屢來ル風屢強吹英國皇太孫、デューク、ヲフ、クリアレンス、薨スルニヨリ半旗ノ禮ヲ行フ

○十六日土曜 晴、アイランド、貴族、ロード、チャンス、其他陸軍將校來艦ス

○十七日日曜 晴

○十八日月曜 快晴艦長以下、バララット、金坑ニ赴ク者廿五人

○十九日火曜 晴午前七時ヨリ北風吹キ漸ク北西トナル而シテ頗ル乾燥溫度九十度ニ上ル

○廿日水曜 曇午前電光ヲ見ル

○廿一日木曜 午前二時汽罐ニ點火ス八時卅分艦長、チルソン、號ヲ訪フ、チルソン、



艦長直ニ答禮ニ來ル十時卅分左舷錨ヲ上ケ十一時卅八分右舷錨ヲ揚ケ茲ニ濠洲  
 ヲイクトリア州メルボルン港ヲ出ツクランクノ一回轉我日本ニ近ツキ時計秒針  
 一轉毎ニ我本國ニ歸ル期ヲ早ムルコトナリヌ  
 一日余ハ水兵上陸員ト共ニ上陸スポートメルボルンノ棧橋ニ上リ鐵道停車場ニ  
 至リ上等客車ニ投ス悉士尼府ニ於テハ上等鐵道自由切手三葉ヲ知事ヨリ我艦ニ  
 送り呉レタルコトナレハ互ニ之ヲ流用シ遠クブリユーマウンテン邊或ハ四百哩餘  
 ノ地ニ遊獵ヲ試ミル者アリ余モストロスフィールド迄之ヲ使用セシカ頗ル他ノ乘  
 客ヲ驚カシメタリキ蓋シ是實ニ政府ノ最惠ニ出ツル者ニシテ獵ニ得易ラサル者  
 タレハナリ

然ルニ當、ヱイクトリア州ニ於テハ上艦長ヨリ練習少尉候補生ニ至ルマテ人毎ニ  
 一葉ノ自由切手ヲ與ヘヌ而シテ此、ポートメルボルンヨリメルボルン府ニ至ル道  
 ハ又此自由切手ヲ要セス其制服ヲ着スルトキハ何時ニテモ士官ハ上等下士以下  
 ハ下等ニ乗ルコトヲ得ルナリ此事タル實ニ我艦一統大ニ政府ノ惠ヲ蒙リタル者ニ  
 シテ能ク一文ヲ費サスメルボルンニ至リ又ヨク歸リ得ルナリ政府ノ兵員ヲ待ス  
 ル又厚キ哉余ハ路ニシテ中條少機關士候補生ト遇ヒケレハ共ニ車ニ上リメルボ  
 ルンニ至リ、エリサベス街ヲ歩シ二三ノ雜品ヲ購ヒ又歩シテ水産館ニ至ル傍ニ又

博覽會アリ油繪ノ陶器金細工等目ヲ奪フ水産館ノ構造恰モ海底ノ岩窟ヲ探ルカ  
 如シ鰐魚海鹿ノ大ヨリ海老魚鰻魚ノ小マテ其玻璃ヲ隔テ、遊泳自適スル狀數フ  
 ヘシ又音樂會堂ヲ見ル宏壯雄偉余カ當年ニ至ルマテ目撃セシ第一ノ廣堂ナリキ  
 出テ、又美術館ヲ訪フ我日本ノ陶器漆器甲冑刀戟ノ類ヨリ雖人形ノ類ヲ陳列セ  
 リ唯下等社會按摩藝妓娼妓車夫等ノ眞影ヲ集メタルハ見ルニ忍ヒサル心地シヌ  
 又油繪塑像ナトノ妙人ヲシテ感賞去ルニ忍ヒサラシムル者アリ又、バララツトヨ  
 リ發掘セシ純金塊ナト數多陳列セルカ特ニ升形ノ方金ヲ堆ク積ミタルナトニハ  
 驚キタリ最下底ノ方金價殆我六百五十萬圓以上ニ至ルア、昨年ノ議會我政府ト  
 議會ト争ヒシ物僅此一方金ニ當ラサルヤ其他感ヲ惹ク者多シ一觀シ了ツテ歸途  
 ニ就キ又汽車ニ投シテ歸ル歸ルトキ五時卅分ナリキ  
 或日ノコト余ハ世界一二ト云ヘル米慕倫動物園ヲ見ントテ午後島田少機關士ト  
 上陸メルボルン府ニ至リ、ゲールカニ乗シ郊外ノ動物園ニ至ル禽獸蟲魚類ト  
 シテアラサルナク殆ト悉士尼ノ三倍アリ詳細ニ見來ラハ日ヲ暮スモ足ラサルナ  
 リ足早ニ見來ルニ恰モ二時間ヲ費セリ水兵ノ來觀スル者又多シ見終テ博物館ヲ  
 一覽シ且ツ余ハ導キテ水産館博覽會美術館ヲ歴、アイスクリームヲ喫シテ歸ル乘  
 組水兵ニハ英語ヲ解セサル者多ク爲メニ名高キ建築會場等見落スト多カリシト



見ユ此日動物園ヲ出ツルニ際シ四人ノ水兵モ全シク見終ツテ去ラントス余呼ンテ曰ク博物館ヲ見ント欲セハ吾後ニ從ヘト彼等余ニ尾シテ來リシカ喜ンテ曰ク此ノ如キ處アリシカ又出ツルニ臨ミ水産館博覽會ニ至ラントス汝等見ルヲ要セハ吾後ニ從フヘシト而シテ博覽會ヲ見テ曰ク斯ル物アリシカ水産館ニ入りテ乃ハチ曰ク此物アリシカ音樂會堂ニ入り乃チ曰ク斯カル建築アラントハト遂ニ美術館ニ尾シテ來ル驚キテ曰ク圖ラサリキカ、ル所アラントハト而シテ未タ嘗ツテ下士以下ニテ此等ヲ見シ者ナシ今日圖ラサルモ此事アル實ニ意外ノ慶ナリト知ルヘシ艦内ノ下士卒上陸後ノ一班ヲ：：室内射的銃購求ハ一時我艦内ニ於テ殆ト流行物ナリシ余モ其流行ニ追ハル、ニハアラサレ共暇日ノ慰之ニ増スモノアラサレハ終ニ之カ購求ニ上陸ス共ニスル者谷村千坂兩少尉外二三名二三ノ商店ヲ冷カシタリ終ニ余ハ一挺ノ室内射的銃ヲ求メヌ歸路兩少尉ト氷菓子ヲ喫ス五時半歸艦セリ暇アルトキノ消閑具「ブーブ」上ノ射的會信天翁ニ向ツテ試撃實ニヨキ慰ナリケリ

當米慕倫ハ我帝國領事館ノ在ル處ニシテ「マ」クス氏名譽領事タリ赤石定造氏書記生タリ其他在留我日本人三十人ニ近シト然レ共余ハ悉土尼ニ於ルカ如ク筆スルヲ好マサルナリ

濠洲ヲ去ルニ臨ミ茲ニ一段ノ記事ヲ挿マサルヲ得サルナリ曰ク何ノ記事ソ  
兵備兵備左ニ概略ヲ掲ケン  
新南維斯陸軍 該州ノ陸軍ハ英國派遣隊及土着義勇隊ヨリ成ル一千八百八十九年ノ調査ニ據レハ

	常備兵	將校	下士	兵卒	合計
參謀部	一七	二二	六八	三九六	四八一
砲兵	二	九	一一	一一	二三
布設水雷部	一	一	六	六一	六一
受給騎兵	一六	一	五二	一八七	二五五
砲兵	三一	一	一一	三一六	四一八
工兵	四	一	一五	七七	九六
攻擊水雷部	九	一	一一	八一	一〇一
步兵	一六	一	五一	二二八	二九五
第一大隊	三三	一	八二	五一二	六二七
第二大隊	三五	一	八五	五四九	六六九



第三大隊 三三 七七 五二六 六〇三  
 第四大隊 三三 八五 五四九 六六七  
 第五大隊 六 八 九四 一〇八  
 軍醫部 七 一二 四四 六三  
 歩兵倉庫 一 一 四 三  
 北部軍 千百九十五人ノ銃手生徒隊五千人ヲ有ス  
 女王州陸軍 常備兵士官廿三人下士以下二千七百十一人内砲兵七隊工兵一隊歩  
 兵一隊銃手ノ全隊十六組騎兵銃手八隊輜重二隊ナリ  
 義勇隊 將校四十三人下士以下千七百七十九人及十一隊ノ生徒隊アリ合計四千  
 百四十六其他巡查隊七百五十四人且ツライフルクラブ會員四百名アリ其他海岸  
 防禦軍及ヒ海軍義勇兵三百七十アリ故ニ之ヲ總括スルニ於テハ武器携帶兵員六  
 千三百七十人ヲ算ス  
 尙「ブレイスバン」河口及ヒ川ニ二砲臺ヲ設ク又布設水雷部アリ河口岸ニ爆裂藥庫  
 及ヒ信管庫ヲ設ク又「ロツタ」バムフトンニ二砲臺ヲ備フ  
 「グアイクトリア」州陸軍  
 常備兵 士官 下士 軍醫 兵卒 合計

參謀部	砲兵部	水雷部	民兵	騎兵	山砲兵	野砲兵	守砲兵	工兵	歩兵	軍醫隊	總	補助軍	マサシテット ライフル	レンジャ ライフル グライム ライフル
四	八	一	一	三	三	一	三	八	八	一	一	一	二	三
一	二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三七	一一	二	一	四	六	二	三	三	七	一	一	二	三	三
一	二三五	一六	一	六四	五一	二二二	六六〇	六六〇	一六五	一八六一	三二七四	三〇	三〇	三〇
五二	二五六	二一	一	七一	六〇	二六九	七二二	一八三	二〇一九	一六	三六六九	九四九	一八四	二六四九



ミニシニア  
レシニアライフル  
メシカルスタツ  
ミニニ  
メシカルスタツ

四〇  
一九  
一八

一六

一〇〇三

一八

其他種々ノ義勇兵アリト云フ

濠洲新西蘭ニ於ケル戰時兵員ハ總計四十五萬ナリ之ヲ區分スレハ「グイクトリア」州十一萬四千四百四十二人「ニューサウスウエルズ」州十三萬千八百五人「クイーンズランド」州四萬六千四百二十七人「サウスオーストリア」州四千三百五十四人「ウエストオーストリア」州五萬八千三百三十三人「タスマニア」州一萬五千九百二十九人「ニューサードランド」八萬六千五百十四人ナリトス

戰時ニハ四十五萬ノ大兵ヲ僅ニ三百七十二萬九千六百廿三人ノ中ヨリ出サントハ豈偉ナラスヤ然リト雖モ常備兵ハ前表ノ如ク僅少ナリ而シテ民兵或ハ義勇兵ハ盡ク是武器携帯ノ軍ニシテ一朝急アルニ際セハ直ニ之ニ應スルヲ得ル爲英國政府ヨリ派遣ノ陸軍將校ヲシテ毎週土曜之レカ操練ヲナサシム

右ハ濠洲陸軍兵備ノ一斑ナリ素ヨリ充分ノ調査ニアラサレハ讀ム人幸ニ之ヲ諒セヨ

海軍一班英國派遣濠洲艦隊ト殖民地軍艦ノニアリ之カ軍艦表ヲ製ス

濠洲艦隊軍艦表

Name	Material	Class	Displa- ciment	H.P.	Date of Com- p- letion	Armour Side Or Front Or Top Or Bottom Or 16 Comp	Speed	Coal	Distance Can be steamed at 10 K.S.	Armament
Orlando	steel 2s.	A. C.	5600	8500	1888		18.5	900	8000	2/42" 22ton B. L. R. 10/6" 5ton ds 16 P. F. 7 M. 31.
Lizard	comp.	Gun boat 1st class	715	1000	87		13.0	105	2500	6/4" 25cent B. L. R 4M.
Ringeroona	steel 2s	Cruiser 3rd class	2575	7500	90		19.0	300	4800	8/47" QF 83 Pdr PF. 4 M. 11.
Ringdove	comp.	Gun boat 1st class	805	1200	89		13.0	105	2500	6/4" 25cent B. L. R.
Curraon	steel.	Cruiser P.P. 3rd class	2380	2540	78		13.0	470	3280	4/6in 5ton B. L. R. 8/5 1/4dav do 13 Pdr PF 2 M. 2
Lauranga	"	"	2575	7500	89		19.0	300	4800	8/47" PF 83 Pdr RF 4 M. 11
Goldfinch	comp.	Gun boat 1st class	805	1200	89		13.0	105	2500	6/4" 25cent B. L. R.
Penguin	"	sloop.	1130	1110	76		11.0	150	1500	2/30-cent B. L. R. 23 Pdr QF 2M
Rapid	"	cruiser P.P. 3rd class	1420	1400	83		13.1	400	6000	2/5" 4M. 11 以下數項原書不分明ニ由リ 闕如ス
Royalist	"	"	"	1510	83		13.1	"	"	
Swinger	"	Gun boat 2nd class	430	520	72		10.38	40	"	
Wallard	steel 2s.	Cruiser 3rd class	2575	7500	89		19.0	300	4800	
Dart										



Name	Material	Class	Displacement	I.H.P.	Date of Completion	Armament	Speed	Coal	Distance can be steamed at 10 K.S.	Armament
Egeria										
Mildura	steel.	Cruiser P. 3rd class	2575	7500	1889		19.0	300	4800	8/4. 7"QE 83mm do J.M. 11.
Karrakatta	"	T. G. boat 1st class	735	4560	90		21.0	100	2500	2/4.7" QF 10 other 10
Katoombu	"	C. 1st class	2575	7500	89		19.0	300	4800	8/4.7" QF 83mm do
Boomerang	"	Cruiser 3rd class	735	4500	89		21.0	100	2500	2/4.7" QF 4-5 P. 10 T.M.

濠洲殖民地軍艦表

Name	Material	Class	Displacement	I.H.P.	Date of Completion	Armament	Speed	Coal	Armament.
Nelson	wood	Old line of Battle ship	4096	2102	1860		10	100	217" N. L. R 18-64 P's MIL. R 12-32 P's DQ
Dhert	steel	Gun boat	350	400	80		"	"	1/8" 12ton B. L. R 6" 4ton DQ
Victoria	"	"	530	800	83		12	"	1/10" ton B. L. R 2/13 25Pdr B. L. R 2/10
Batman	iron	"	387	350	"		"	"	1/6" 4 ton B. L. R 21 Nor
Funkner	"	"	387	"	"		"	"	12 galling

Gannet	"	"	346	500	"		"	"	21 nor
Fady loek	"	"	346	"	"		"	"	2 1/2 "
Childers	steel	1st class Torpedo boat	63	750	"		20	10	2 1/2 Hoatus G
Gayandole	"	Gun vessel	360	400	S4		10	"	1/8" 13Pdr QFR 11 1/2 ton B.L.R 1/6" 4ton do 21 Nor
Paluma	"	"	360	400	"		"	"	1/6" "
Otter	"	Gun boat	420	460	"		"	"	1/64" Pdr M.L.R
Buils	iron	"		400	"		"	"	
Stvirgee	"	"			"		"	"	
Lucinda	"	Yacht			"		14		1/8" 11 1/2 B.L.R 5/8" 1 ton 5G
Protector	steel	Cruiser	920	1640	"				
Cerbuns		Torret ship	3480	1660	"				

尙ホウキクトリアニアニ二等水雷艇アリ錫鋼ニテ作ラル噸數十二馬力百五十  
 十其他トルヒットラソチ三隻ヲ有ス上表初ヨリ入バウキクトリアニ屬シ  
 其次五隻バウキクソラソトドニ屬ス

露艦ノ兵備タルヤロニ記載スルル如シト雖モ其兵器ノ供給ニ至リテハ露艦ニ



惑ムヘキノミ此濠洲中二ヶ月間ニ僅ニ五十萬發ノ小銃彈藥ヲ製シ得ルモノ  
ニシテ其他兵器ノ製造所アルヲ聞カス其他各州ニ船渠ノ設アリト雖重ニ艦  
船修繕ニ應スルノミ軍艦ノ製造ハ勿論商船ト雖モ一千噸以上ノ製造ヲ禁セ  
リ是何ノ故ソ今ヤ濠洲ハ日ニ月ニ駭々トシテ繁榮ニ赴キ金坑牧畜石炭牧畜  
ヨリ海外貿易ニ至ルマテ益ス盛大ヲ極ムルニヨリ本國政府ノ關涉ヲ屑トセ  
ス自由獨立ノ精神ヲ抱キ共和政府ヲ建テ南球ニ第二ノ北米合衆國ヲ見ント  
スルノ意志當濠洲殖民ノ腦裡ニ充滿磅礴シ早晚破裂セントスルノ虞アルヲ  
以テ英國政府ニハ預メ其備ヲナスナリ派遣艦隊ノ如キ殖民地保護ノ名アリ  
ト雖又鎮壓ニ外ナラカルナリ而シテ各州ヲ分チ各統治ヲ異ニセルカ如キ互  
ニ相忌軋轢セシメ其團結ヲ妨クルニ外ナラサルナリ試ニ在留殖民人ニ汝ハ  
英人ナリヤト問ハ、必ス答ヘン吾ハ英人ナラス濠洲人ナリトア、此氣象彼  
ノ濠洲殖民地已ニ獨立ノ精神ノ充滿スルヲ知ルヘシ唯濠洲ヲ打ツテ一丸ト  
ナス大手腕ノ人ヲ缺クノミ

吾非英國國民。固是濠洲人。此語兒童吐。須知獨立眞。

ア、濠洲獨立ノ旗ヲ揚テ南球ニ第二ノ北米聯邦ヲ建テシ日ニハ我大日本國ノ之  
ニ對スルノ畧如何我々日本人ノ之ニ應スル策如何ト其道ナラヌ軍人ナカラ杞憂

ヲ筆スルヲ爾リ

○廿一日木曜 午後風浪高キヲ以テ七時十分アツバーヤードヲ下シ、ゲルンマス  
トヲ半下ス

○廿二日金曜 午前十時十二分、クレマト島ヲ左舷正横ニ十一時九分、ロドンド島  
ヲ右舷正横ニ見ル十一時卅三分、ウイルソン、プロモントリ、燈臺ヲ起程地トナス  
南緯卅九度十分東經百四十六度廿六分四十五秒ノ地トス此日朝未偏東ノ風強ク  
其力四ニ至リ艦體ノ滾轉ヲ覺ユ

正午南緯卅九度四分東經百四十六度廿八分

○廿三日土曜 午前八時縱帆ヲ展ス風力倍ス加ハルヲ以テ屢諸帆ヲ展シ或ハ縮メ  
或ハ絞ル汽機モ一度ハ停止セシカ再ヒ之ヲ用ヒタリ浪漸ク高ク北々東ノ風烈シク  
五ヨリ八ニ至リ艦滾轉春動甚ク傾斜廿度以上ニ至リ風雨針廿九呎九七ニ下ル  
正午南緯卅九度十九分東經百四十八度廿四分針路東四分ノ三南ニ九十哩ヲ走レ  
リ流潮南十五度西十七哩六アリ

○廿四日日曜 一昨日來ノ強風午前二時頃ニ至リ漸ク穩ニ其方向變シテ南東ト  
ナル八時再ヒ變シテ南西トナリ兩二三回來ル十一時アツバーヤードヲ上ケ總帆  
ヲ展ス全廿五分機關ヲ止メ汽罐ヲ消火ス帆前二隻ヲ見ル路新西蘭濠洲ノ航路ニ



當ル故カ正午南緯卅九度廿三分東經百五十度十九分針路南八十七度東距離九十哩ナリ流湖南四十二度東ニ十四哩アリ

○廿五日月曜 曇午前殆ト無風トナル午後東南ノ風ヲ得タルモ其力至テ微ナリ午前一時五十分汽鐘ニ點火五時廿五分逆轉ヲ始メ又總帆ヲ絞リテ全ク汽走ス正午南緯卅八度五十九分東經百五十一度十五分針路北五十度東距離五十五哩ナリ流湖北四十七度東ニ四哩ノミ

○廿六日火曜 雨フル夜ニ至リ西天ニ電光ヲ見ル

正午南緯卅七度卅六分東經百五十三度四十九分針路北五十六度東ニ百四十六哩ヲ走レリ流湖南八十度東ニ十哩アリ

○廿七日水曜 早朝ヨリ北東間ノ強風吹キ來ルヲ以テ午前五時十五分總帆ヲ展ス六時卅分汽力ヲ止メ消火ヲナス午後大雨來襲益ヲ傾クルカ如ク波浪太々高シ夜ニ及ンテ風力漸ク衰フ

正午推測南緯卅六度卅七分經度百五十五度五十五分北六十二度東距離百廿二哩ナリ

○廿八日木曜 晴風力衰フ夜ニ入り西ニ電閃ヲ見ル  
正午南緯卅六度廿一分東經百五十七度十三分針路北七十七度東距離六十哩ヲ得タリ  
○廿九日金曜 雨フル終日東南風其力三ヨリ四ニ至ル者ニ逢フ午前五時四十分

東ニ方ッテ洋上水柱ヲ見ル所謂俗ニ龍卷ト稱スル者ナリ直ニ八欄砲ヲ用意ス是龍卷ノ中心眞空ヲ攪タシテ危害ヲ避ケントスルニアルナリ其時位置南緯卅五度五十五分東經百五十七度四十四分ナリトス

正午南緯卅五度三十六分東經百五十七度五十八分針路北三十八度五十八分東五十八哩ヲ走ル流湖南五度東ニ五哩トス

○三十日土曜 孝明天皇祭ニアタル正午緯度南三十三度四十七分經度東百五十九度二分針路北廿四度東百廿哩流湖北十五度東廿五哩アリ此日風東南東ヨリ東南ノ間ニシテ其力三ヨリ五ニ至ル天晴ル

○卅一日日曜 雨フル正午南緯卅二度十五分東經百六十度卅一分針路北卅度東ニ百十九哩アリ流湖北ニ六哩ナリ

○二月一日月曜 終日東南東ノ風四ヨリ五ニ及フ者ニ逢フ滿帆風ヲ含ミテ快走ス此一週間カ程順風ニシテ帆走ニ適セリ所謂南東ノ貿易風是ナリ驟雨屢來ル正午南緯卅度卅五分東經百六十一度四十七分針路卅三度東ニ百十九哩ヲ走ル流湖北十七度東ニ僅カ二哩ノヨ

○二日火曜 晴風向艦首ニ廻リタルヲ以テ又午後一時四十分汽鐘點火ノ命下リ五時四十分總帆ヲ疊ミ終ニ機關運轉ヲ始ム夜ニ入り雨フル



正午南緯廿九東經百六十二度四十三分針路北廿七度三十分東百七哩流潮正東ニ四哩

○三日水曜 晴風向良キヲ以テ午前七時十五分縱帆及前帆ヲ展ス戰鬪操練ヲ行フ夜ニ入り雨フル南緯廿六度五十四分東經百六十三度四十六分針路北廿四度東百三十八哩流湖南四十度西ニ廿七哩アリ

○四日木曜 曇微雨屢來ル午後四時帆ヲ絞ル

正午南緯廿四度廿四分東經百六十五度十分針路廿七度東ニ百六十八哩ヲ走ル流潮北七度東ニ十五哩トス

昨年今夜横須賀ヨリ出京嘉納先生ニ本郷導場ニ見ヘ柔道ニ付キ質ス所アリ先生示導太々懇切ナリ余大ニ得ル所アリ此夜想起戲ニ菅公中秋ノ作ニ摸シテ一絶ヲ賦ス

去年今夜侍本郷柔理示訓獨鍛腸恩師眞影今在此拜持毎日仰餘光。

自覺ス一笑ス

○五日金曜 午前九時十分右舷艦首ニ方リ雲霧模糊ノ間ニニユーカレドニアノ山岳ヲ望ム忽ニシテ雨又至ル其影ヲ失フ因ッテ速力ヲ緩メ彷徨セシ際雨止ミ雲晴

レ明ニ陸地ヲ望ムヲ得タリ再速力ヲ復シ前進セシニ忽然艦首ニ方ッテ海水一帯變色シ淺洲アルカ如シ直ニ停止後退シ急ニ端艇ヲ下シ探檢セシニ豈圖ラン淺灘礁脈ニアラスシテ全ク一帯ノ汚芥海水ヲ濁セル者ナラントハ乃チ又艦ヲ進テ陸ニ向フ十時四十五分雨再襲前路又望ム可ラサルヲ以テ艦首ヲ轉シテ洋上ニ漂フ二時五十五分雨晴レタルヲ以テ港口ニ向フ三時五十六分「アミデー」島燈臺ヲ艦首ニ見ル五時廿五分水先案内者端艇ニテ來ル

五時四十五分燈臺ヲ右舷正横ニ見ル此燈臺ハ大中小ノ三燈臺ヨリ成リ意想新奇有名ノ建築ナリト云フ七時廿七分夜色暗然タル際終ニ「ヌメヤ」港ニ入り左舷錨ヲ投シヌ錨鎖三節水深七尋底質泥トス艦位「デノ」エ角南二點二分ノ「ウエレデー」砲臺南二點八分ノ三東信号所北三點八分ノ七東ナリトス

此夜暑氣恰モ蒸スカ如ク煩鬱言フ可ラス穩ニ夢ヲ結フ能ハサル程ナリキ新加禮士尼阿ハ彼ノ有名ナル甲比丹哥克ノ發見ニ係ル然レ共海岸礁脈塚ヲナシ陸地ヲ探檢スル頗危嶮ナルヲ以テ上陸セスシテ去ル實ニ西曆千七百七十四年ナリトス其後佛國司令長官海軍將官 D. Dubreuil 氏暗礁ノ位置港門ノ水道等ヲ探リ始テ上陸ノ望ヲ達セシガ爾後佛國軍艦屢來テ沿海ヲ測量シ或ハ宣教師來リテ勸化ヲ始メシヨリ白哲人種ノ足跡ヲ此州ニ印セシカ千八百五十三年遂ニ佛國



ノ旗ヲ樹テ其領地ト宣言スルニ及ヘリ而シテ地ヲ相シテ「ポルトガ、フランス」ノ市街ヲ起ス、今「ヌメア」市是ナリ、全六十二年始メテ刑徒殖民ノ制ヲ建テ爾來月ニ日ニ其數ヲ増加シ僅カ八年ヲ歴テ「イレノブ」ノ獄ノミニテ二千七百三十五人ヲ數フルニ至ル其頃刑徒ハ之ヲ四級ニ別チ一級ハ不羈ニシテ通常ノ殖民ト全シク、二級ハ「ヌメア」ヲ去ル遠ラサル「Yahona」ノ地耕作ニ從事シ、第三級ハ道路開鑿ニ使役シ、四級ハ「The Nov」ノ獄ニ繫カルト云フ而テ數年前「シヨ」、「Ohio」ニ「ニツケル」礦山ヲ發見セシヨリ大ニ其進歩ノ度ヲ加ヘタル者ノ如シ、ヌメア「府」ノ如キ人口一萬〇八百人ヲ算スルニ至ル

該島ハ南緯廿二度ヨリ廿度、東經百六十三度五十分ヨリ百六十七度一分ノ間ニアリテ南東ヨリ北西ニ延キタル一大島ナリ其長二百七海里、幅員廿七海里、餘全島到處山脈連亘シ四千呎ノ高キニ達スル者アリ樹木蒼然トシテ裸山ヲ見ルナク沿海石花礁脈連亘散在シ船艦ヲ進ムル甚危險ナリ土地膏腴ニシテ耕作ニ適セリト雖一般水利ヲ缺ク者ノ如シ

又一般ニ礦山ニ富ミ金銀銅鐵黑鉛「ニツケル」「クローム」等ニシテ「ニツケル」銅最多ク「ブラツ」ノ金鑛山ハ一年ニ四萬噸ノ鑛石ヲ出ス、而シテ十五乃至十八分ノ金屬ヲ含包ス「クローム」及「コバルト」ハ重ニ南部ヨリ産ス、今「ニツケル」礦ノ分析表ヲ掲ケン蓋

此鑛ハ「シリケート」ハ「イドレド」マ「グテシヤ」トナリテ存ス

ニツケル 廿六、 マグテシウム 十三、

鐵 三分、 シリカ 四十五、

水分 十三、

耕作ノ業ハ近來次第ニ進歩ノ兆ヲ呈シ甘蔗ヲ培養シ「ラム」ヲ釀ス又綿花ヲ栽培ス咖啡ハ甚地味ニ適スル者ノ如ク其質極メテ善良ナリ其價一吉瓦二佛克ヨリ二佛半ニ至ル又玉蜀黍、豆、米等ヲ植エ果物ハ橙、柘榴、檸檬、芭蕉、實鳳梨、椰子等ニシテ野菜ハ日用諸種類ノ外「リシン」「イグナム」「タロー」「タリ」「タロ」鳳梨ノ如キハ土人ノ最良食物タリ、當時牧羊ノ途開ケタ、濠洲ニ輸出スルノミニテモ四萬佛克ノ毛ヲ送ルニ至レリ

住民ハ佛國人ヲ以テ其重ナル者トス本國政府ハ本國ヨリ罪人ヲ送致シ來リ現今赦免セラレ正業ニ就キシ者頗多シ支那人モ其數僅少ナラスマ、其齒ヲ涅セル者ヲ見ル是安南ノ役生獲セラレ送致セラレタル者ナリト聞ク嗚々我上陸員ニ向ツテ其不幸ヲ訴ヘス、其他ハ土人并ニ黑人トス、土人ノ相貌新ブリテン「ノ如キ陋穢甚シカラス頗ル「ヒジ」島ノ者ニ近キヲ覺ユ、ヌメア「附近」ニ住スル者ハ殆西人ノ奴隸タリ聞ク處ニヨレバ本島住民悉ク老猾奸惡ニシテ爭鬪竊盜ヲ好ミ酒中毒ヲ混シ



テ醉倒セシメ財ヲ奪フ者アリト、本艦ニモ上陸ニ際シ懇ニ訓試スル所アリ酒ヲ禁セシメシガ其結果ニヤ一人ノ争鬪竊盜ニ遇セシ者ナカリキ又料ルニ住民稍進化したテ聞キシ程ニハ非ザリシナランカ市民モ多クハ是罪人ナリシカノ觀念アルヲ以テ見ル人毎ニ頗險惡ノ相ヲ備フル心地シテ快カラス、現ニ本艦ニ糧食野菜ヲ送ル商人ハ嘗テ六人ヲ殺戮セシ者ナリト云フ蓋信偽ハ知ラス例ノ出鱈目一句

ふれんち(佛國駐)の余りぞこゝの島守

氣候夏季最高溫度ハ九十八九度冬季最低溫度ハ六十六度ニシテ風ハ常ニ南東ヨリ至ル十二月頃ヨリ三月ニ至ル間ハ雨期ニシテ天候屢變シ時ニ颶風ノ起ルヲ多シ而テ南部ハ北部ニ比スレハ風害少ナシト云フ病氣ノ流行セシヲナク風土病モ斷ヘテ無ト云フ

「ヌメヤ」ハ該島ノ東南隅ニアリ島中第一ノ良港ニシテ灣内ノ四圍殆山岳島嶼ヲ以テ圍繞セラレ水深ク浪穏ニ且ツ稍廣濶ナルヲ以テ數多ノ船舶ヲ泊セシムヘシ灣口狭ク防禦又容易ナリ當市ニハ政廳ヲ置キ又裁判所ヲ置ク乃チ始審商法控訴院等ナリ又兵營并ニ軍艦ヲ置キ砲臺ヲ築キ守備頗嚴ナリ西曆一千八百八十七年ニハ兵士一千七百廿三人ナリシカ當今三千人ニ上ル乃チ砲兵歩兵海兵ニシテ海兵

團砲兵營陸軍病院ノ如キ當市主要ノ建築ナリ砲臺ニ「メレンデー」角「ブラン」島「ツ」角「ヌ」島「ビカール」及「テリカ」ニ置ク尙山ヲ崩シ建設ニ從事セリカク防禦ヲ嚴ニスルモノハ當港ハ南太平洋ニ於テ佛國殖民地中最要ノモノタルヲ以テ専ラ力ヲ盡クスヲ知ルヘク又佛國軍艦ノ「ステーション」トシテ二三ノ軍艦常ニ碇泊シ檣頭三色縦旗ヲ懸セリ目下當港ニアルモノハ定繫艦「テッチー」號ノ外「Debourdieu」及「リンヌ」ノ二艦アリ「Debourdieu」ニハ海軍少將「Prayon」氏乗組メリ、此島モ亦碧眼奴ニ先鞭ヲ著ケラレ空シク此地ヲ見テ悵望スルトハ抑モ何等ノ意氣ソヤ、聞ク一週間前日本郵船廣島丸九百人ノ移住民ヲ載セ「シヨ」ノ「ニツケル」礦山採掘ノ募集ニ應セリトア、何處ニ到ルモ徒ラニ人ノ願使スル所トナリ未タ一頭地ヲ出サ、ルハ何等ノ遺憾ソヤ他邦人民ノ功業ヲノミ羨ムモ亦益ナキナリア、

こゝもまた己が領地に「カリドニヤ」

洋夷ノ功業又慕フ可キカナ羨シキカナト云フノ外ナキカ  
當島ノ交通ハ「エムエム」會社ノ汽船アリ毎月廿日ニ佛國馬耳塞ヲ發シ「ボートセ」ド「スウエス」アデン「ヌヘー」アルベニ「アデレイト」メルボルン「シドニー」ヲ經テ卅七日ヲ費シ「ヌメヤ」港ニ至ル其船噸數四千餘トス其他不定期ノ「ナンレー」ス會社及



ヒA U S N會社ノ汽船アリ二週間ニ一回宛シドニト交通スシドニトハ四晝夜ヲ費シテ至ルヘシ其他ニユーカーツスルヨリ石炭運搬ノ帆船多シ  
物價ハ濠洲ヨリ舶載スルヲ以テ廉ナラス日用ノ食品雜貨得ラレサル者ナシ通貨ハ佛貨ヲ使用スレ共英貨モ又流通セサルニ非ラス當時英貨一磅ハ廿五佛克ニ換

○六日土曜 午前二時天候不穩電光屢閃キ西南西ノ強風至リ稍西ニ偏シ其力五ニ及フ晴雨計ノ降下著シク強風又至ル天明ニ及ヒ正西ニ變ス午後○時四十五分終ニ右舷錨ヲ投シ左舷錨鎖ヲ延ス右舷二節左舷四節トスタニ及ヒ風漸ク收マル直ニ右舷ヲ揚ケ左舷錨鎖ヲ縮メテ三節トナス

午前八時佛國大統領弁ニ佛艦隊司令官ニ禮砲ヲ放ツ式ノ如シ直ニ應砲アリキ  
○七日日曜 南東ノ貿易風ヲ得天漸ク晴ル午後四時海軍少將バラヨシ來訪十三發ノ禮砲ヲ受ケテ去ル夜ニ至リ微雨ス此日午後千坂仁禮釜屋三少尉ト上陸市北ノ信號臺ニ上ル眼下市街ヲ瞰視ス井然一區劃甚タ正シ眼ヲ放テハ近邱遠山近浦遠灣恰モ呼ヘハ應ヘントスル者ノ如ク風景頗ル佳ニシテ始ト身異域ニアルヲ忘ル、者ノ如シ山嶺ヲ歩シ大聲詩吟シ大呼兵ヲ操ル號令吟咏意太タ舒フ居ルヲ刻ヲ過ク下ツテ市街ヲ散歩ス見ルヘキ者ナシ五時歸艦ス

○八日月曜 晴午前九時五分當島ノ知事來訪十五發ノ禮砲ヲ放ツ午後一時五十分五分ヨリ石炭積入方ナス夕終ル量凡九十噸トス佛國商船一隻入港ス

○九日火曜 快晴終日石炭ヲ積入ル大凡百廿噸ナリ英國帆船一隻英國汽船一隻佛國汽船一隻入港ス

○十日水曜 昨日積殘リノ石炭ヲ積ム總量二百三十噸ニシテ濠洲ニユーカーツスル産ナリ一噸ノ價三十六志トス之ヲ積込ム艦内ノ手ヲ勞セリ陸上ニテハ土人ヲ用イテ「ダンベイ」ニ積マシムルニ其緩慢優悠タルヲ言語ニ斷ヘタリ

一月廿七日余ハ身體惡寒ヲ覺エ熱度稍高マリタルヲ覺エシカ翌日ニ至ルモ精神爽ナラス珍ラシクモ病氣トナリヌ醫官ノ診斷ヲ乞ビシニ脚部ノ歩行モ快ラサレハ釣床休業ノ哀レナル身トナリヌ其病源内部カ外部カ自ラモ怪ミタルニ左脚ノ舊創再發腫起セシヲ認メヌ直ニ冷却法ヲ行フア、廿二年飛鳥山運動會ノ創今日猶累ヲナスカ蓋シ下甲板ニ疾走ノ際痛ク撞打セシヲ以テ再起セシ者カ四日間釣床ノ主トナリタリキ日ヲ經ルニ從ヒ常ニ復シタリ

米慕倫ニテ出帆前日本ヨリノ郵便ヲ得ント期セシモ一月八日頃郵便新聞ヲ接手セシヨリ何等ノ便モナシ然ルニ昨日入港ノ船ニテ誰ニヤ經世新報十二月廿六日頃マテ送り來ル見來レハ議會ノ紛雜海軍大臣ノ大演說海陸軍上奏案等ヨリ終ニ



解散ノ勅下ルナト本國ノ紛亂想像スルニ堪ヘタリ如何ニナリ行クナルヲナル  
ヤト坐ロニ思ヲ焦シタリ

新カリドニヤニ我軍艦ノ寄航セシハ實ニ今回ヲ以テ嚆矢トス郵船モ亦一週前ノ  
廣島丸ヲ以テ始トスニツケル礦山ノアル地ハ反對側ニアリ陸路ヨリスルモ迎モ  
兩三日ニテ往還スルヲ能ハサレハ一人モ探檢ニ赴キシ人ナカリキ海路ヨリ艦ヲ  
寄センモ豫定日數ニ限アレハ終ニ空シク思ヲ殘シ十日午前十時十分錨ヲ揚ケ一  
抹ノ黒烟ヲ噴キテヌメヤノリツトルバツセージヲ出テ午後零時十五分ブラク小  
道ヲ過キリ新幾尼亞ニ向ツテ針路ヲ定ム附近南緯十二三度ニ至ルノ間ハ正ニ是  
不良ノ天候暴颶ノ時季危險測ラレサルヲ以テ專汽力ヲ用ヒ此區域ヲ脱セントス  
正午南緯廿二度廿九分東經百六十六度廿八分トス

○十一日木曜 快晴紀元節ニ當ル九時半總員整列北ニ向ツテ遙拜式ヲ行フア、  
國恩皇恩ノ忝ナキ四海到處大日本帝國ノ臣民帝國海軍人トシテ待セラレ今又國  
ヲ距ル三千六百哩外此茫茫タル太平洋鼓腹太平ヲ樂ミ嘻々此祝日ニ會フヲ得ル  
トハ艦内春風和氣ノ騷々タルヲ覺ユ南緯廿度三十四分東經百六十三度十二分針  
路北五十七度西航程二百十五哩流潮正南ニ八哩アリ  
○十二日金曜 晴東方ノ貿易風ヲ得正午本艦ハ南緯十八度以內ニアリ天候變化

ヲ見ス稍安シスルニ足ルヲ以テ機關ヲ經濟速力トス時ニ零時四十分ナリ  
正午南緯十七度三十七分東經百六十度五十五分針路北三十六度西航程二百十八  
哩流潮北廿三度東九哩ナリ

○十三日土曜 晴午後八時四十分總帆ヲ展シ汽走トナス驟雨屢來襲ス  
正午南緯十五度十五分東經百五十九度廿六分針路北三十二度西航程百五十九哩  
流潮六十二度西ニ十五哩トス

○十四日日曜 半晴午前人員調査ヲ行フ本日正午近傍ニ於テ太陽直下ヲ過ク溫  
度八十五度昨十一月十五日ヨリ常ニ太陽ヲ北ニ眺メ來リシカ今日ヨリ又南ニ望  
ムトトナリス雨屢來ル正午推算緯度南十三度十七分實測東經百五十八度廿二分  
針路北廿七度西航程百四十一哩ナリトス

○十五日月曜 昨夜來驟雨屢來襲シ風力漸ク衰ヘ風向又從テ變ス乃チ汽罐ニ點  
火十時三十分汽走ヲ始ム午後ニ至リ東方ノ風起リ其力三ニ及フ因ツテ帆力ヲ用  
ヒ機關ヲ停止シ機罐ハ埋火ニ付シヌ風漸ク南ニ變シ驟雨又屢來ル

正午南緯十一度五十九分東經百五十七度十分針路北四十二度西針路航程百三哩  
流潮南七十二度西廿三哩走ル

○十六日火曜 午前雨來ル風向變シ又東風ニ復ス其力三ヨリ四ニ至ルヲ以テ汽



罐ニ消火ヲ命セシカ午後大雨暴至風力頓ニ衰ヘタルヲ以テ又更ニ點火ヲ命シ十  
 一時半ヨリ機關ヲ轉スルニ至ル午前陸戰隊ノ配置ヲ行フ  
 正午南緯十度三十分東經百五十六度四十五分針路北三十一度西ニ航程百〇五哩  
 流潮南七十五度西ニ十五哩アリ  
 〇十七日水曜 晝曇リ驟雨時ニ至ル朝總帆ヲ展シ汽力ヲ助ケシモ午後風向ノ惡  
 シキ故ニ再ヒ之ヲ絞ル夜ニ入リテ一天快晴月色清涼掬スヘシ舊作航海月夜感慨  
 ニ効フテ一長歌ヲ作ル

後航海月夜感慨歌

認、虎、射、石、箭、飲、羽、精、氣、透、徹、何、不、成、悲、歌、慷、慨、橫、槩、立、月、色、皓、々、夜  
 三、更、煤、烟、迸、空、黑、龍、躍、疾、風、掠、檣、萬、索、鳴、茫、茫、一、碧、天、耶、水、此、間、意  
 氣、掣、長、鯨、威、壓、萬、國、老、西、撤、氣、蓋、四、海、歷、山、王、千、古、英、雄、絕、大、業、回  
 顧、向、月、問、彼、蒼、月、不、語、兮、天、不、答、天、色、月、光、兩、茫、々、撫、像、泣、月、感、何  
 窮、有、此、意、氣、有、此、功、遺、烈、不、朽、幾、千、載、萬、古、長、仰、雙、英、雄、噫、矣、吾、亦  
 堂、堂、一、男、兒、平、生、抱、負、何、所、期、鞠、躬、願、致、臣、子、職、熱、心、欲、爲、天、下、奇

艱難辛苦吾益友盤根錯節是良師唯恐偷安徒消日志業不酬吾  
 自欺獨立舷頭萬感攢姓名何留天地間大聲更誦奈翁語豈有妨

吾亞伯山

歷山王征畧印度夜指月泣曰若有路取彼世界西  
 撤嘗見歷山王像泣曰王於吾齡略世界大半矣

左ニ前作ヲ記ス蓋シ前作ヲ掲ケスシテハ後作モ其ノ意志ヲ確ムル能ハサレハナ

前航海月夜感慨歌

夜、寂、寂、望、茫、茫、水、如、天、兮、月、如、霜、舷、頭、長、嘯、對、月、立、聞、說、汗、日、河、畔  
 立、馬、夕、雄、圖、無、遺、泣、月、光、又、記、羅、馬、老、西、撤、猶、是、雌、伏、未、飛、揚、嘗、過  
 王、像、羨、王、業、感、奮、不、禁、淚、幾、行、嗚、呼、王、齡、與、我、等、雄、風、早、已、捲、八、荒  
 借、問、神、州、男、兒、汝、何、者、碌、碌、消、來、幾、年、光、自、顧、汝、寧、無、愧、死、老、西、撤  
 兮、歷、山、王、舷、頭、長、嘯、情、鬱、勃、慨、然、杖、劍、睨、彼、蒼、望、茫、茫、夜、寂、寂、水、如  
 天、兮、月、如、霜



正午南緯九度九分東經百五十五度卅六分針路北廿五西距離八十九度流潮西二十七哩ナリ

十八日木曜 降雨屢來ル風力西ヨリ南ニ轉シ終ニ東ニ遷ル其力稍強シ因ツテ午前九時二十分ヨリ汽走ヲ止メ總帆ヲ展ス本日端艇員ノ配置ヲ改正スタ又防水扉閉方ヨリジョンマツト出方操練ヲナス午後八時二十分ヨリ又汽力ヲ用ユ

正午南緯八度四十二分東經百五十三度三十四分針路北七十八度西ニ距離百二十五哩流潮南十五度西十二哩アリ

○十九日金曜 驟雨來襲スルコト屢木材ノ艦側ニ副フテ流ル、ヲ見ル午前スチムムバイブニ損所アルヲ以テ汽走ヲ止ム午後四時ヨリ再汽走ニ復ス

正午南緯七度五十四分東經百五十一度五十八分針路北六十三度西航程百六哩流潮正西ニ五哩トス

○廿日土曜 曇時々電閃ヲ見ル木材塵芥ノ流ル、ヲ認ムルコト多已ニ陸ニ近キヲ知ルヘシ午後六時キングウイルヘルム角ヲ距ル僅百二十哩若シ本艦ノ速力五哩以上ニシテ順潮之ニ乗シ爲ニ航力ヲ過大ニシ夜中不虞ノ危險ヲ慮リ機關ノ回轉ヲ減シ速力ヲ緩ム天明ニ及ヒ舊ニ復ス

正午推算南緯七度五分實測東經百五十度二分針路北六十七度西ニ百廿五哩ヲ走

ル

○廿一日日曜 晴木材芥等ヲ見ル倍ス多シ午後一時十分右舷正横ニルツク島ヲ見ル一時三十分ゲーブワイレテナヲ左舷正横ニ見ル四時遙ニ一隻ノ軍艦黒烟ヲ漲ラシテ來ル者ニ逢フ横三色旗ハ間ハスシテ獨逸ノモノタルヲ知ル聞クスベルベルナリト

○廿二日月曜 天明艦首ウキルヘルム港附近ノ諸山諸島翠嵐滴タラントスル者ヲ望ム十時三十分港口ダلمان水道ヲ過ク頗狹隘兩岸ノ蒼樹手折ラレ得ル想アリ帆船一隻擱岸破壊ノ跡ヲ留ムスチヤリングハービチル島ニ副ヒ左ニ轉シテ港口ニ入り十時五十四分左舷錨ヲ投ス水深十四尋半底質泥錨鎖二節トス午後大艇及小蒸汽ヲ出シ石炭積入方準備ヲナス又ストルム錨ヲ運搬之ヲ投下シ又ホーサー二條ヲ陸岸ニトリ艦ヲ石炭貯藏所ニ近ツク又右舷錨ヲ投下ス

○廿三日火曜 朝再ヒホーサーヲ取直シ尙陸岸ニ近ツク午前七時ヨリ石炭ヲ積込ムライター一隻アルノミナレハ本艦ヨリ大艇并ニ二隻ノカツターヲ用ユ本艦ニハ本艦人員ヲ以テシ頗活潑ナルモ陸地ニテハ土人ヲ使用セシカ舉動緩慢ニシテ其遅キコト腹立シキ限ナリキ漸ニシテ八十噸ヲ入ル終日曇天空氣濕潤ナリ

○廿四日水曜 雨屢來ル再石炭ヲ積入ルコ八十噸午後四時終ル石炭ハ在留獨逸



人ノ手ニアリ、ニユーカツスル及新嘉坡ヨリノ日本産四千餘噸ヲ有ス一噸四十五志ニ賣レリ候補生ハ外裝水雷並ニ掃海法ヲ行フ良結果ヲ呈セリ一聲爆然水柱忽然トシテ起リシトキノ如キ土人ノ驚愕恐怖ノ狀一笑スルニ堪ヘタリキ

石炭積方終リテ「ホーサー」二條并ニ「ストリーム」エジカイヲ收メ右舷錨ヲ垂錨ニナシ左舷錨ヲ縮ム夕獨逸國商船一隻入港ス

○廿五日木曜 晴午前四時汽鐘ニ點火ス早起大艇小蒸汽ヲ揚ケ右舷錨ヲ收ム十時左舷錨ヲ揚ケ此不快極マル「ウヰルヘルム」港ヲ去ル

新幾尼亞、新幾尼亞ノ地モ亦是洋夷ノ占斷スル所タリ實ニ英、獨、蘭、三國ノ分取スル所ナリ、今ヲ距ルコト僅々七八年彼ノ殖民政畧熱ノ一時歐洲列國ニ流行セシ際獨逸ハ最狂セル者ナルカ當時伯林ノ有力家相謀ツテ「ケビテンゲルマン」トクトルオツク「フキンク」ヲシテ當島ノ北部探檢ニ從事セシメシカ右兩氏ハ「シドニー」港ニ至リ汽船「サモア」號ヲ購ヒ乃チ新「ブリテン」マツビ島ナル獨逸商業殖民會社ノアル地ニ向ツテ出帆シ終ニ「ニユーギニヤ」ノ北部「キースト」岬ヨリ「バンボルト」岬ノ間ヲ探究シ數多ノ良港灣ヲ發見セリ此報一タヒ伯林ニ傳ハルヤ否ヤ直ニ「ニユーギニヤ」會社ナル者ヲ起シ政府ニ勸メテ獨逸ノ國旗ヲ當島ノ北東海岸及附近ノ諸島嶼ニユ「トブリテン」ニユ「アイランド」ニユ「ハノーバー」及「デニウク」ヲヨク「群島」ニ

其屬領ト宣言スルニ至レリ而テ當島ハ英國ト協議シテ其境界ヲ定メ當時ノ皇帝ノ名ヲ命シ「カイザー」ウヰルヘルム「ランド」ト稱シ附近ノ諸島ハ彼ノ有名ナル鐵血宰相「ビスマルク」ノ名ヲ冒スニ至レリ又偉ナラスヤ

一千八百八十五年 「Finsch Infev」ノ地ニ始テ殖民ノ基礎ヲ建ツ此港ハ水深クシテ大船ヲ泊スヘク又小船ニモ安全ナル錨地ヲ與ヘ得ヘキ良港ニシテ陸地ニハ倉庫ヲ建テ官舎ヲ設ケ且ツ「ジャワ」人ニ移住家屋ヲ與ヘ公園ヲ開キ植物ノ培養ヲ試ミ尋テ家畜ヲ移シ綿玉蜀黍ヲ栽ヘ頓ニ殖民開拓ノ實ヲ舉クルニ至レリ此外尙北岸ニ五箇ノ港灣ヲ開キ殖民ヲ試ミントス我艦ノ碇泊セシ「プリンス」フレデリノク「ウイルヘルム」港ノ如キハ即チ其一ナリ

「ウイルヘルム」港ハ南緯五度十四分東徑百四十五度四十七分ニ在リ數多ノ小島嶼ヲ以テ圍繞セラレ港内浪穩ニシテ水深クヨク大船ヲ泊スヘシ「コンスタンチン」港ト「ハツフェルト」港トノ間ニアリ又 「Finsch」港ノ間ニ定期航海アリ萬國聯合郵便ヲ發シ得ヘシ港ノ四圍樹木ノ繁茂鬱々蒼々亭々トシテ光景甚美ナルモ奈何セン此間彼ノ思ムヘキ恐ルヘキ毒乃ハチ「マラリヤ」熱ヲ有セントハ、

當島ノ氣候ハ熱帶ナルガ故ニ四季共ニ酷熱最高溫度九十五度最低溫度六十五度ニ下ルコトアルモ是實ニ稀ナル所ニシテ平均七十九度トス降雨ノ多少ハ其海岸



ニ連吹スル風向ニ從テ變シ南東信風ヲ受クルノ地ハ五月ヨリ十一月ニ至リ北西ノ風ニ觸ル、地ハ十一月ヨリ五月ニ至ルヲ其雨季トス而テ乾季ト雖二週間雨ヲラサルコトナシト云フ其雨量ハ一ケ年平均一百吋ヨリ一百十吋ニ至ル、本艦當港碇泊中モ亦雨期ニシテ終日殆天日ヲ見ス降雨屢來ル艦内鬱悶不快ヲ感セサル者稀ナリ

前ニ陳述セシ如ク當港ノ氣候酷熱ニシテ又濕潤且「マラリヤ」熱毒ノ存在スルコト多キヲ以テ不健康極マレリ熱病赤痢尤發生流行シ易ク獨逸軍艦ハ此附近港灣ヲ測量セシ後一艦三百餘人盡ク熱ヲ患ヘタリト又支那人ノ來リテ烟艸製造ニ従事セシ者モ爲ニ死亡多ク「シガ」一本ニツキ一人ノ死亡者アリト是實ニ話頭ニ過キスト雖人ノ此言ヲ爲ス其効績擧ラサルニ死亡相續クヲ意味スルヲ知ルヘシ陸上ノ視察ハ余上陸ヲ試ミル能ハサルヲ以テ充分實現セシ處ヲ筆スル能ハス蓋本艦ニハ石炭積入方ノ業アリ水兵火夫ノ手ヲ勞スルコトナレバ余ノ甲板士官タル位置トシテ獨リ上陸スルヲモ出來サレハ上陸セズ素ヨリ陸上ニハ忌ムヘキ恐ルヘキ熱毒ノ存スルヲ以テ艦内ニハ上陸ヲ許サス所要アル者ノ外僅カニ廿四日晚在留獨人ノ招ニ應シ土人ノ蹈舞ヲ見ントテ艦長以下士官候補生ノ上陸アリシノミナリキ此際余ハ此一行ニ加ハラサリシカハ終ニ「ニューギニヤ」ノ地ニハ一步

モ吾足跡ヲ印セサリシナリ假令我足跡ヲ印セストハ云ヘ舷頭ヨリ一望スル所ヲ以テ其沿岸ノ光景ヲ畧ホ記載スルヲ得ヘシ今左ニ之ヲ掲ケン、寂々寥々タル一寒村蔚々蒼々タル樹林ノ間ヲ關キ僅々掌大ノ地ニ一棟ノ倉庫在留支那人需用品ヲ收ムル物ト在留獨人ノ哀ハレナル二小屋ト其他二三ノ弊屋ヲ見ルノミ、又港内ノ一小島ニ一棟ノ家屋アリ支那人ノ避病院トス其他ハ彼ノ四千噸餘ノ石炭ヲ雨曝ニ積ミテ小堆ク邱ヲナセルアルノミ滿目荒涼タリ此所ヲ去ル數丁ノ地支那人ノ煙草製造所ヲ設ク之ヲ探リシ人ニ聞クニ陋穢蕪雜殆見ルニ堪ヘサリシト云フ

此寂寥タルニ一隻ノ獨逸船碇泊セリ又廿四日夕一艘ノ商船入港セリカク商船ノ入港スルヲ見レバ殖民ノ實ヲ擧ケント熱心スル者アルヲ知ルヘシ今ヨリ幾年ノ後ニハ如何ニ進歩スルヤ測ル可ラサルナリ土人ノ體格容貌等ハ一見「ニューブリテン」ノ者ニ異ラサルヲ覺ユ在留獨人ハ僅ニ七八人ニ過キス其他支那人「ニューブリテン」「ニューアイランド」「ボカ」諸島ノ人ヲ見ル皆獨人ニ使役セラル其使役ヲ嫌フ土人ハ皆山中ニ遁逃スルニ至ルト云フ當艦碇泊中カノ熱毒豫防ノ爲日ニ機尼涅ヲ服サシメ夜間ハ舷窓「バツチ」スカイライトヲ閉チ惡氣ノ闖入スルヲ防キ其他注意少シモ懈ルヲナカリキ故ニ夜間ノ



如キ下甲板ノ蒸シ暑キヲ云ハン方ナシ誰一人トシテ一日モ早ク此不快ナル不健  
康ナル地ヲ去ラント欲セサル者ナキ有様ナリ

○廿五日 午前十時揚錨十一時港口ヲ出ツ此航海ニ於テハ北東ノ貿易風及赤道  
流潮ヲ利用セントテ先ツ北方ニ航シ後一折西方ニ向ツテ「スル」島ニ至ラントス終  
ニ北緯八度三分東經百三十四度三十九分ノ「カジヤンクル」島ヲ「バウソンド」ス午後七  
時廿分左舷艦首ニ當リ紅色ノ火光一休一閃恰紅色回轉燈光ニ似タル者ヲ認ム是  
ヲ火山島トス大凡一分時ヲ隔テ山頂ヨリ噴火スルナリ十二時之ヲ左舷正横ニ見  
ル其火ヲ吐クニ當リ火色天ヲ焦シ雲ニ映シ頗好奇觀ヲ呈ス

○廿六日金曜 曇午前二時四十五分「レツソ」島ヲ左舷艦首ニ見ル四時之ニ並フ  
木材ノ浮流スル物ヲ見ル多シ十一時潮流ノ相鬪ヲ見ル其狀凄マシ午後風力増加  
スルヲ以テ總帆ヲ展シ汽罐ヲ埋火トナス

正午南緯二度四十五分東經百四十四度廿一分針路北三十五度西航程百五十四度  
流潮北廿六度西二十哩ナリ

○廿七日土曜 晴十時卅五分帆ヲ疊ミ又汽走ニ復ス午後一時十分「マツチ」島ヲ  
艦首ニ認メ四時四十五分ノヲ正横ニ見ル同島ハ平低ニシテ樹木頗蔚然タリ  
正午南緯二度十二分東經百四十三度八分針路北六十六度西航程八十哩流潮北八

十二度西ニ十五哩トス

○廿八日日曜 晴午前一時四十分東經百四十二度十五分三十秒ノ子午線ニ於テ  
赤道ヲ横キリ昨十月三十日來身ハ南球上ノ客トナリシガ再北半球ニ歸リ我同胞  
ト諸共ニ同半球ノ日ヲ仰クニ至レリ南球ニ入ルトキト同シク又赤道祭ナトノ遊  
興ヲナサス頗ル寂寥タリ明日大砲射的ノ用意ヲナス

正午南緯零度九分東經百四十度四十九分針路北三十九度航程百四十二哩流潮北  
六十三度西十六哩流ル溫度八十七度

昨十月「ガム」島出帆ノ後一人ノ脚氣患者ヲ生シ爲メニ米食ヲ減シ大ニ戒ムル所ア  
リシカ僅々二三週ノ後全治シケレハ大ニ安ニスルヲ得タリキ然ルニ新幾尼亞碇  
泊中乃ハチ今月廿四日ニ至リ突然候補生中脚疾ノ兆候アル者唯一人ノミナラス  
二人マテ生シタリキ此報一タヒ艦内ニ傳ハリタルヤ恰モ電氣ニ撲タレタル如ク  
悚然トシテ懼レ彼ノ龍驤十六年航海ノ慘劇ヲ再ヒ演シ出サンヤト危ミタリシニ  
翌日ニ至リ再ヒ候補生中新患者ヲ生シ尙續々増加ノ模様アルヲ以テ醫官ノ配慮  
一方ナラス其盡ク候補生ニ發シ他ニ發生セサルヲ以テ全ク候補生ノ勞働少ナク  
筋骨ノ力ヲ用ユル稀ナルガ故ニ食慾ヲ促カスコト下士以下ノ如ナラス其口ニ適  
セサルトテ「ビスケット」ヲ喫スルコト少ク爲ニ身體ノ營養ヲ缺キ其衰弱ヲ招キ茲



ニ脚疾ヲ發スルニ至リタリト懇ニ訓示スル所アリ且ツ例ノ米食二回ヲ一回ニ減シ僅ニ三十四匁ヲ與フルニ至ル而シテ特ニ各種ノ滋養品ヲ供セントスルモ艦内別ニ之ゾト云フ物ナク僅ニ例ノ罐詰スーブ等ニ止マレリ力ノ新機尼亞ニテハ一斤ノ生肉一把ノ野菜タニ得ル能ハス新加禮尼亞以後氣候炎暑ニシテ且ツ溫潤不快ヲ感セサル者ナキニ偶マ港ニ入ルモ前ニ述フルカ如ク生肉野菜ノ以テ其腸胃ヲ慰ムル者ナシ身體衰弱スル者アル又マサニ然ルヘキナリ此日ニ至リ又々患者發生シ益々蔓延セントスルノ兆アリ全ク脚疾ナランノ疑ヒアリシカ是ナン彼ノマラリヤ熱ニシテ我艦ニテハ新機尼亞熱ト稱セリ新機尼亞新機尼亞ノ語ハ痛ク忌ムヘキ歴フヘキ名詞トナレリカノ脚疾ノ兆候アリシ者ハ前後六人ノミ其他ハ盡ク新機尼亞熱患者ナリキ

廿九日月曜 快晴午前七時半二箇ノ標的ヲ浮ヘ候補生砲員ノ射的ヲ始ム漠々タル硝煙轟々タル砲聲彈飛ヒ水ヲ撃チ水昂リ彈跳リテ又水ヲ撃ツ愉快言フ可ラス特ニ候補坐湯淺安次郎氏ノ一彈標的ニ命中シテ其影ヲ留メサリシトキノ如キ覺エヌ踴躍ス午後四時四十分殘ノ標的ヲ拾ヒ舊針路ヲ取り總帆ヲ展シ七時半汽機ヲ止ム

正午北緯一度四十一分東徑百四十度四十九分針路北三十九度西航路百四十二哩

流潮北八十三度ニ卅九哩トス

○三月一日火曜 晴午前驟雨來ルコト二回風力漸ク衰ヘ正午全ク無風トナル終ニ又モヤ汽罐點火ノ命下リ七時ヨリ全ク汽走トナス而シテ針路ヲ變シ其目的地ヲ「クートレン」ヘステング島ニ定メ尋テ「ヘルウリーフ」ニ定ム此リ「リーフ」ハ三礁ヨリ成リ其面殆ト水面ト等シク頗ル危險ナリトス其位地北緯二度五十分東經百三十一度五十分ニアリ斯ク新機尼亞出帆ノ航路ヲ取ラサルハ艦内ノ病人倍々增加スルヲ以テ早ク「スル」島ニ泊シ生肉生菜ヲ得テ病ヲ養ハン爲メ汽力ヲ藉リテ直進スル者ナリト洩レ聞エヌ

正午北緯二度卅八分東經百三十九度二十分殆ト我觀音崎ト經度ヲ同クス直ニ正北ヲ指セハ二千哩以內ノ航程ニテ歸朝セン針路北五十七度西航程百六哩流潮五十九哩ニ及フ其方向北七十七度西ナリ

此日仁禮少尉ト代ツテ三番分隊士ニ轉ス

○二日水曜 雨フル風稍アリ波稍高カリシカ夜ニ入リテ收マル  
正午推測北緯二度四十五分實測東經百三十七度十四分針路北八十七度西航程百廿六哩トス

○三日本曜 快晴總帆ヲ乾ス



新機尼亞熱ハ倍ス増加シ發生ノ日ヨリ日々新患者ヲ生セサルコトナカリシカ此日已ニ候補生總員五分ノ一ニ上リ其熱度皆非常ニ高ク煩悶見ルニ忍ヒサリキ正午北緯二度四十一分東經百三十四度四十五分殆ト我標準時經度ニ同シ針路南八十八度西航程百四十九哩流潮北卅八度西ニ十一哩半ナリ

○四日金曜 晴針路ヲメアンジリス島ニ定ム該島ハ三四ノ小島嶼ヨリ成ル中ナヌサヲ以テ最モ大ナル者トス

正午北緯二度四分東經百三十二度四分針路南七十六度西ニ百六十五哩ヲ走レリ流潮北六十八度西ニ十八哩

○五日土曜 晴火災操練ヲ行フ兩三日來海水ノ密度漸ク奇零六五ニ下ルコアリ蓋シ近日大雨ノ爲メニ變化セシモノカ平均ノ密度ハ奇零七五ナリトス

正午北緯三度五分東經百二十九度廿二分針路北七十度西ニ百七十三哩流潮北六十七度西ニ三十哩トス

○六日日曜 晴午前六時「ナヌサ」カ、ルダン島ヲ艦首左舷ニ見ル九時五十分之ヲ正横ニ見針路ヲ轉シテ「マタ」島ノ西ニ導ク該島ハ舊海圖ニ載スル所ニシテ新海圖ニハ其ヲ削レリ本艦ハ之ヲ確メンガ爲メニ近ツキシモ終ニ發見スル能ハス愈新海圖ニ信ヲ措ケリ又更ニ針ヲ西ニ復シ午後五時「バラット」島ヲ右舷艦首ニ發見シ

夜ニ入り之ヲ正横ニ見テ「セレベス」海ニ入ル正午北緯四度五十九分東經百廿六度五十二分針路北五十三度西航程百八十九哩流潮北五十二度西ニ廿六哩アリ此日頃ヨリ彼ノ思ムヘキ新機尼亞熱ハ候補生室ニノミ止マラス「フォール」ニモ侵入シ續々釣床ノ主トナル者ヲ生セリ

練習候補生水雷術ノ試験ヲ行フ  
○七日月曜 曇正午南緯五度廿七分東經百廿三度五十三分針路北八十一度西航程百八十一哩流潮正南ニ廿二哩トス

此日候補生水雷術試験ヲ行フ豫期ナリシモ昨日試験後彼ノ病毒倍ス猖獗且ツ頓ニ新患者ヲ生シ醫官ノ診斷ヲ受クル者斷ヘサルヲ以テ之ヲ止ム

○八日火曜 曇雨屢來ル午前一時十分「トンキン」及「バラングン」島ヲ右舷艦首ニ見ル天稍白クルニ及ヒ突兀タル一島模湖烟雨ノ間正シク我前路二哩ノ所ニアリ是艦ノ潮ノ爲ニ偏流セラレタル者ナラン之ヲ右舷ニ避ク天明ニ及ヒ「スル」本島附近諸小島ノ翠笑フテ吾ヲ迎フルニ似タリ風致良シ恰モ我日本五島沖ヲ航スル心地ス九時五十分「バタ」ノ西端「タビアン」及「バタヨン」ノ山嶺ヲ一線ニ見ル午後一時廿五分「チュリアン」島ヲ正横ニ望ム終ニ二時廿七分「スル」島「スル」港ニ左舷錨ヲ投シテ泊ス水深十八尋半錨鎖三節底質沙泥トス



## 艦位

Marongas-Island (W end) Nu 1/2 W  
 Turianisland Su<sup>3</sup>W<sup>3</sup>/4W  
 Mount Tamontangis SSW

「スル」島ハ「スル」群島中其最大ナル者ニシテ殆ト群島中央ニ位置ス長三十里幅八里乃至十里トス此北西端ニ一港アリ之ヲ「スル」港ト稱ス  
 「スル」港碇泊地ハ又一ツノ良港ニシテ港内風浪ノ虞少シ且ツ其外觀モ亦頗佳ナリ後ニハ翠嵐滴ラントスルノ峯ヲ負ヒ前ニハ「モロガス」バスガシユラ諸島ノ翠色呼ハハ膺ヘントスルガ如シ樹木鬱蒼シ蒼林綠丘椰樹路ヲナシ蕉樹畑ヲナス其間ニ一大白壁ノ圍繞セル郭アリ中ニ白堊樓閣ノアルアリ棧橋ノ突出セルアリ燈臺ノ突兀タルアリ又は一ツノ良公園タリ陸ニ上リテ又一驚ス街衢ノ端正ナル道路ノ清潔ナル街頭ノ兩涯植ユルニ綠蒼々タル樹木ヲ以テス又左右ニ溝ヲ穿テ疎通ヲ便ニス且ツ到ル處花壇アリ樹園アリ其隅々ニ至ルマテ手ノ行キ届キタルコ余ノ實見セシ地ニハ第一ニ推サハルヲ得ス此叢爾タル一小島ニシテ此街アリ余等一行ハ實ニ驚嘆セシ處ナリキ  
 戸數殆ト一百五十戸支那人尤モ多シ彼ノ陋臭蕪穢ヲ以テ此大地球ニ有名ナルコノ人種ニシテ此ノ清潔ノ市街ヲナス又奇ナラスヤ聞ク市制頗ル嚴ニシテ塵埃ヲ

店頭ニ放置スル猶又罰アリト箒ヲ手ニセル人ヲ見ルコト多シ而テ繞ラスニ障壁ヲ以テス其構造又堅固ニシテ厚ク盡ク銃眼ヲ開ケリ而テ僅ニ三四ノ門ヲ以テ郭外及海中ノ棧橋ト交通シ得ヘクス防禦實ニ至レリ且ツ郭門ノ守衛アリ常ニ銃劍ヲ裝シテ備ヘ市中又常ニ兵士ノ警備セルヲ認ム警戒是勉ム恰モ重圍ニアルノ想アリキ其兵士ノ總數一千百有餘人卒ハ馬尼刺人ニシテ下士士官ハ西班牙人トス兵營アリ稍觀ルヘシアアカカル僻陬ニシテ此兵營アリ兵士アリ障壁アリ警備アル將タ何等ノ意ソ唯土人ノ來襲殺戮ヲ防クニアルノミ  
 土人性慄悍ニシテ西班牙人ノ下ニ屈スルヲ屑トセス屢隊伍ヲ編ミ突然襲撃狼藉ヲ極メテ去ル恩ヲ施スニ感セス威ヲ加フルニ潛レス西人駕馭ノ術モ又窮セリト云フ其一步タリトモ郭外ニ出テントセハ頗ル戒心ヲ要スマ、土人ノ所謂慷慨家攘夷家ノ爲ニ虐殺ノ慘害ヲ受クルコトアリト本艦ノ碇泊スルヤ知事ヨリ頗注意アリ其用アリテ郭外ニ出ツルヲ要スルノ士ハ知府ニ至レ兵士ノ警衛ヲ付シ不虞ニ備ヘント故ニ上陸セシ人モ僅ニ郭内ノ觀察ニ止マリ郭外ニ出テシ者殆ト稀ナリトス

土人ノ體格容貌ハカノ「ニューブリテン」「ニューカレドニア」「ニューギニア」土人ノ比ニアラス頗ルガム入種ニ似タリ即我日本人種ニ近キ者トス而テ其開化ノ度モ遙カ



「ニユーブリテン」「ニユーカレドニア」「ニユーギニア」土人ノ上ニアリテ裸體ノモノ少シ艦側ニ來ツテ交易ヲ望ム土人ノ如キハ所謂土人中ノ開化派ニ屬スル者ニシテ戒心ヲ要ス可キモノナラズ家屋ノ製造モ稍巧ニシテ竹蘆樹木ヲ以テ柱トナシテクニ椰子葉ヲ以テシ床ハ地ヲ離ルルヲ殆五六尺ノ高キニアリ昇降ニ階段ヲ用ユ其沼澤海中ニ臨ンテ家ヲナス者多キハ余等其理由ヲ知ラス

言語ハ西班牙語、土語、支那語、通用ス其他ハ通セス稀ニハ英語ヲナス者アレ共拙シ余ノ如キハ支那人ニ對シ筆談ヲ以テ其意ヲ通セリ主計官ノ如キモ皆筆談ニテ其用ヲ辨キ是市街ニハ支那人多ク商權ハ殆ト彼等ノ手ニアレハ他ニ向フテ語ル必要ヲ見サレハナリ

貨幣ハ墨銀、英貨、西銀皆通ス且ツ日本銀貨モ通用スルナリ物産ハ熱帶地方ノ植物盡ク發育ス又海產物多シ而テ特ニ多クシテ極テ廉ナルハ家鶏ナリトス一羽僅ニ十五錢ニ上ラス一弗ノ銀ヨク七羽八羽ヲ購フヲ得ヘシ

當港碇泊ハ艦内一統特ニ病患者ニ大安心ヲ與ヘタリ然レモ此地又カノ新幾尼亞ノ比ニシテ食品等全ク得ルニ途ナカラシヤハ危マサル者ナカリシニ其夕土人ノ獨木舟ニ乗シ鶏ヲ鬻ク者アルヲ見テ手ヲ額ニシテ慶スル者アリ甚シキハ我輩以テ生キタリト叫フ者アルニ至ル直ニ之ヲ購ヒ之ヲ煮之ヲ喰フ有様ニテ僅々碇泊

中艦内一同久シク鐘詰ニ喰飽キタル腸胃モ此ノ生肉ニ飽キテ満足セル者ノ如シ且ツ野菜モ充分得テ菜葉ノ涵物、新漬ノ香物舌ヲ鳴ササル者稀ナリキ其病ニ臥スル者ニ又鶏肉ソープ、鶏卵ノ滋養分ヲ與フルコトヲ得タリ然レ共其病患ノ甚シキ者ハ始ト絶食ニシテ此等ノ滋養分モ喉ヲ過ラサル者アリキ「スル」港出帆ノ日ノ如キ候補生患者已ニ廿人ニ及ビ右舷候補生室ハ是病院ト一般釣床十數箇下ニハ「テ」トブル「ベ」レチ等ヲ以テ假寢臺トナシ枕席狼藉一見人ヲシテ悚然タラシム「フ」オ「ル」ニテモ熱倍ス狼藉患者廿人ニ上レリ滿艦到處物淋シク陰々森蕭盡猶暗キ想アリ

此港ニ於テ滋養物、滋養分トテ買入レシ家鶏其數幾干ソ實ニ百ヲ以テ數フヘシ士官室、候補生室、準士官室、兵員食卓ノモノトテ各買入レタリ右舷「ウ」エストデツキニ假屋ヲ作り與ヘテ飼養セル分ニテモ出帆ノ日ニハ千羽以上ニ上ラン終ニ其家鶏ノ強健ナル者ヲ撰ミ鬻鶏ノ戲流行スルニ至リ圖ラサルニ此陰森ナル艦内笑啞ノ聲屢反響スルコトアリキ

碇泊ノ日午後三時當港碇泊西班牙王國砲艦「マ」ニレ「艦」長訪問五時五分此島ノ主權者タル西國王ニ對シ廿一發ノ禮砲ヲ放チ直ニ陸上砲臺ヨリ答砲セシカ其拙劣ナル俱發アリ不發アリ間隔ノ長キコト分時ヲ超ユル者アリ僅ニ三秒ニ過キサル



アリキ、

○九日水曜 晴艦長知事ヲ訪問ス午後知事代理陸軍中佐來艦ス余ハ此日士官候補生等ト上陸市街ヲ散歩セリ素ヨリ僅カ百五十餘戸一見シ終ツテ又ナス可キナシ支那人ノ店ニ到リ筆談端艇ノ來ルヲ待ツテ歸ル此地ニテハ如何ナル故ニカ一般ノ上陸ヲ許ササリキ上陸セシハ僅ニ候補生以上ノ人ノミ、

○十日木曜 晴、

○十一日金曜 晴午前三時汽罐點火八時出帆、バラワンニ向テ進ム十一時、ミニス島ヲ西南西ニ見ル

正午北緯六度十七分東經百廿一度六分、

○十二日土曜 晴、スルヲ出ツルノ日ハ、バラワンニ寄航セン豫定ナリシモ彼ノ新幾尼亞熱ノ猖獗倍ス甚タシク死ニ瀕セントスルノ患者アルヲ以テ、スルト同緯度ナル、バラワンニ向フモ溫度ニ差ヲ見ス且ツ聞ク所ニ據レバ又是頗不健康ノ地逆モ寄航スルノ價值ナク反テ害アルヲ以テ斷然北馬尼刺ニ向フコトニ決シヌ是馬尼刺ハ緯度高クシテ炎熱モ少ク且ツ艦内需要品ヲ得ルニ易ク病ヲ養フニ適セル所ナリトノ想像ニ原キシナリ

午前六時北々東ノ風四ニ至リ波浪稍高シ午後三時、サンデー島ヲ左舷艦首ニ認ム

此邊ヨリ島多ク右顧左視吟賞ニ違アラザラシム五時四十分、カウヰリ島ヲ左舷正横ニ七時四十五分、カ、マン島ヲ右舷正横前三點ニ八時四十分、カルサ島ヲ右舷正横ニ見ル

正午北緯八度四十分東經百廿度五十分針路正北ニ百四十哩流潮正西二十四哩トス

○十三日日曜 快晴午前五時二十分、バナ、島ヲ右舷艦首ニ見ル

正午南緯十二度卅七分東經百二十度四十二分ア、此十三日ハ我軍艦比叻ノ此航海ニ於テハ如何ナル最大惡日ソヤア書クモ忌マハシキ悲シキコトノミ起リ一艦上下ヲシテ一驚ヲ喫セシメシノミナラス再驚ヲ喫セシメタリキ又豈ニ一驚再驚セシメシノミナランヤ實ニ酸鼻流涕ニ堪フル能ハザラシメキ、何ソヤ此朝六時余ハ洗面所ニアリシニ人アリ數名探リ求メントスル者アルニ似タリ余訝リテ之ヲ問フニ患者中村與太郎在ラスト余倉皇制衣ヲ着シ走ツテ其釣床ニ到ル衆手ヲ盡シ艦内ニ求ム到處ノ隈搜索セサルナシ而シテ其影タニ認メストテ殆トナス所ヲ知ラサル者ノ如ク唯釣床ノ空シキヲ護スルノミ余又其釣床ヲ檢ス一巾着アリ中ニ金若干別ニ一葉ノ名刺アリ觀相周易本當堂京橋區南紺屋町一番地ト余惑フ又自カラ搜索スル所アルモ同シク認ムル處ナシ聞ク去ル一日頃ヨリ赤痢患者發



生セシカカノ中村與太郎モ又其兆アリトノ疑アリシニ又モヤ彼ノ新幾尼亞マラ  
 リヤ熱ニ冒サレ已ニ釣床ノ上下ナホ人ノ助ヲ藉ル程容易ナラサル容體トナリ頗  
 ル疲勞ノ色アリ昨十二日友人ニ乞フテ其正服ヲ持テ來ランコトヲ求ム人之ヲ質  
 スニ唯惡寒堪へ難キヲ以テ着服シテ凌クノ旨ヲ以テス人其異ナル乞ヲ以テ毛布ヲ  
 重ネシメ且ツ畧服ヲ釣床ノ後部ニ入ル且曰ク此中村與太郎ハ到底助カル能ハス  
 ト辭色頗ル凄シ其人叱シテ曰ク汝愚ヲ吐ク勿レ大丈夫大丈夫ト然レ共其言語ノ  
 異ナルヲ覺へ稍薄氣味惡シク思ヒシモマサカ自ラ死ヲ速ムルコト勿ラント午前  
 四時人ノ彼カ猶釣床ニ横ハルヲ認シカ其後一人アリ己レカ釣床ノ下ヲ通リ他人  
 ノ釣床ヨリ吊リ下レルズボンヲ穿ツ者ヲ認メヌト又一人アリ確カニ黒ズボンヲ  
 穿テ蹣跚タル步楷段ヲ蹈ミテゲルンフオクスルニ上ル者ヲ認ム其貌中村與太郎  
 ニ似タリト其餘一ツノ手掛アルナシ今朝五時半其釣床ニアラサルヲ認メタリシ  
 モ便所ニ赴キシヲ疑フ久シクシテ歸ラス朝食ヲ持テ來タスモアラス求ムレ得  
 ス因ツテ大ニ艦内殘ル隈ヲ求メタルモ見當ラサルナリト而シテ一人アリ釣床  
 ニ吊セルズボンヲ失フ幾回モ求ムレ共ナシト因ツテ更ニ再三再四搜索セシモ亦  
 益ナクアア中村與太郎ハ全ク在ラサルナリ彼ハ四時ヨリ五時半ニ至ルノ間全ク  
 其形影ヲ此比叡艦内ニ失ヒシナリ彼ハ死ヲ決セルナリ其死期ノ近ツクヲ信セシ

者ナリ彼ハ衣ヲ正シクシテ死セントセシナリ彼ハ自カラ病ヲ力メテ釣床ヲ下リ  
 シ者ナリカノ他ノズボンヲ穿テシ者ハ彼ナリ楷子ヲ上リシモノモ彼ナリ彼ハズ  
 ボンヲ穿テリ蹣跚トシテ楷子ヲ蹈メリゲルンフオクスルニ上リ來レリ而シテ舷  
 燈當番ノ前部ヲ見詰メテ心付サル間シトエンカー上ヨリ投セシナリ此青海原  
 此風此浪彼カ羸弱ノ體イカテカ凌クヲ得ンヤイカテカ全フスルヲ得ンヤア  
 、彼カ釣床中ノ巾着巾着中ノ名刺シカモ周易觀相ノ名刺ヲ彼ハ此航海中ニ於テ  
 其家ニ赴キシナルヘシ不幸ニモ其運命ヲ此名刺ノ主ニ任セシナリ恐ラクハ此航  
 海中面白カラヌ不幸ナル運命ト示セシヲ信セシニ非サルカ彼ハ不幸ニシテ病ニ  
 罹レリ不幸ニシテ其病ハ勢甚タ強カリシナリ其病苦ハ甚タ激シカリシナリアア  
 彼ハ此病此苦ニ遭ヒ其ト者ノ言ヲ信セリ其運命ノ完カラサルヲ信セリアア寧ロ  
 死スルナラハ一思ヒニ早ク此病苦ヲ脱セントセシニ非サルカ自ラ進ンテト者ノ  
 言ヲ證セシニ非ルカア、惜ムヘキカナ痛シキカナ中村與太郎ハ二等水兵ナリ丈  
 高ク色稍白ク眼明カニ髻跡青クシテ事ヲ爲スニ實着蔭日向ナクヨク勉ム又一介  
 ノ良水兵タリア、出帆ノ際三百六十一人弘瀬ハ死セリ松岡ハ逃レリ今又此中村  
 ヲ缺キ都合三人ヲ失ヒ總員三百五十八人トナリヌ武夫ノ目ニモ涙ノ一雫  
 アア此不幸一艦ヲシテ悲愴ノ域ニ沈メタリシニ又モヤ一艦ヲシテ倍ス悲痛驚嘆



セシムルノ不幸ヲ蒙ラシメ總員三百五十八人ヲシテ又一人ヲ缺クニ至ラシメタ  
リキ是誰ソヤ、曰ク練習少尉候補生諸野亭氏ナリ氏ハ去ル七日熱ヲ感セシカ容體  
特ニ危篤ニシテ急激終ニ天ナルカナ命ナルカナ午後八時廿二分ヲ以テ長眠歸ラ  
ヌ旅ニ赴キケリ、アア此有爲ノ少年多望ノ才子學ナリ業終ハルニ垂トシテ不幸ニ  
モ一人ノ老母一人ノ小弟ヲ家ニ殘シコノ千里殊域ノ海上ニテ終ラントハ天道果  
シテ是非カ非カ噫余ハ已ニ筆スルニ堪ヘサルナリ無情ノ天無情ノ月無情ノ山無情  
ノ海モ此夜ニ限り物ノ哀ヲ知り顔ニ何トナク物凄キ心地シヌ

○十四日月曜 午前五時卅分、イリン島ヲ右舷艦首ニ午後八時十五分、カブラ燈光  
ヲ右舷艦首ニ見テ一〇五之ト並フ

正午北緯十二度卅七分東經百二十度四十七分トス

昨夜徹霄棺ヲ作ル今朝諸野亭氏ノ遺骸ヲライムニテ之ヲ詰ム衆相顧ミテ悄然タ  
リカノ候補生室ノ如キハ患者多ク連モ手ノ廻ハリ兼ルヲ以テ給仕四人ヲ増セシ  
モ尙用ヲ辨スル能ハサリキ、フオールニテモ、バートヨリ人員ヲ出シ病者ノ看護ニ  
當ラシム醫官ノ煩忙ナル看病夫ノ多忙ナル實ニ目ノ廻ル許リ體溫検査ノミニテ  
モ一時ノ寸暇ヲ得ズト

此日一天快晴夜ニ入りテ月色明ナリ月下刀ヲ弄フトノ題ニテ

### いつかまた屍の上に照る月の影添ふ太刀を振翳しつゝ

○十五日火曜 午前三時五分、コンドル燈光ヲ認ム五時半拂曉港口ニ進ム兩岸ノ  
山、コンドルノ島曙色掬スヘシ十時八分、マニラ港ニ入り右舷錨ヲ投ス水深五尋半  
底質泥土

棧橋燈臺

北東 $\frac{1}{2}$ 北

「ヂェグレイ」角

南西 $\frac{1}{2}$ 西

本艦ノ位置

「レドンド」山 西 $\frac{1}{2}$ 北

非立賓群島ノ面積ハ大約十一萬五千方哩ニシテ呂宋島ハ面積六萬五千方哩ヲ算  
シ全群島ノ一半ヲ過クル者ナリ、マニラ府ハ實ニ其首都トス、マニラ灣口ヨリ廿五  
哩ニシテ、バジク河口ニアリ人口市外ヲ合シテ三十萬東洋屈指繁華ノ地タリ、小船  
ハ常ニ河ニ入りテ泊スルモ大船ハ海岸ヲ距ル大凡二哩ノ遠ニ泊スル者トス、灣内  
廣潤ニシテ風浪ノ虞アルヲ免レス、氣候ハ三月ヨリ五月ニ至ル間尤酷熱ニシテ此  
頃ヨリ雨季ニ入り十二月ニ至ル大氣一般ニ煩鬱ニシテ六、七、八、ノ三ヶ月間ハ周圍  
ノ池沼等ノ卑濕ノ地ヨリ惡氣蒸發シ、マニラ市上ノ空氣ヲシテ不純ナラシム且炎  
々タル酷熱ト時々強雨ノ下降スルアルヲ以テ熱病ノ流行ヲ免レス  
馬尼刺煙艸ノ名ハ此世界ニ於テ隈ナク響キ渡レル所ナリ人ノ馬尼刺ト云フ者ア



レハ必其胸中ニ煙草ノ名産地ナリト先ツ浮ハサルモノナカルヘシ宜ナルカナ此地實ニ煙草ノ多キ埠頭ニ上リ逢フ人毎タトヒ其番頭丁稚車力水夫タルヲ問ハス口ニ葉卷ヲ啗ヘサル者殆稀ニ其煙草製造所ノ如キモ宏壯驚クニ堪ヘタリ精巧ナル機器ヲ使用シ職工三千乃至四千人ヲ有スル者アリ煙草ニ馬尼刺ノ名ヲ冒ス如ク索ニ馬尼刺ノ名ヲ冒ス者アリ之ヲ「マニラローブ」トス又當地ノ名産ナリ其他織物砂糖製造所アリ農産物ハ即煙草砂糖麻玉蜀黍米珈琲等ニシテ水牛ヲ使用シテ田圃ヲ開墾シ之ニ種子ヲ植ユルノミ絶ヘテ肥料ヲ施サル者ノ如シ而テ其季ニ至レハ皆ヨリ發育シ充分ノ收穫ヲ得ヘシ又以テ地ノ膏映ヲ知ルヘキナリ

交通ハ西班牙國汽船會社アリ毎月一日ヲ以テ歐洲ニ向ケ發途ス又「ヒリヅビナ」汽船會社ノ定期航海船アリ新嘉坡ニ一週一回香港ニハ斷ヘス往復セリ又我日本郵船會社ノ一ヶ月一度ノ定期航海アリ日ニ商船巨船ノ出入セサルヲナシ

「マニラ」ヨリ海上七哩ヲ距テ東方カヱイツド港アリ西國艦隊ノ碇泊場トス陸ニ官設造船所アリテ船舶ノ修覆ニ適スヘシ

アア此呂宋ノ地モ亦東洋人種ノモノナラスカノ西班牙王國ノ屬領タリ例ニヨツテノ禮砲廿一發カノ壯快ナル砲聲モ彼ノ歐洲ノ王國ニ對スル禮ト思ヘハ恨メシシ如何ニ此呂宋ヲシテ同シク東洋ノ獨立國トシテ禮スルヲ得ハ又我々東洋人ノ

愉快ナラスヤ特ニ此呂宋ヲシテ我大日本帝國ノ屬領トシテ以テ今日アラシメハ我々一艦ノ愉快如何ソヤトハ此「マニラ」港ニ入ルノ日ノ感想ナリ頭ヲ擧ケテ江山風月ヲ望ミ頭ヲ俯シテ過古將來ヲ想フトキ實ニ彼ノ一個ノ快男兒伊達政宗ノ雄襟ヲ想像セスンハアラサルナリア、政宗ヲシテ彼カ鞆肉ヲ撫シテ千里遠征ヲ圖ラシメシトキ彼ヲシテヨク其所念ヲ行ハシメハ今日ノ此呂宋果シテ誰ノ有タラシカ惜ムヘシ憾ムヘシ千載ノ遺恨萬年ノ遺憾余ハ遺憾ノ涙痕ノ吾カ征衣ニ點スルヲ覺ヘサルナリ

南、溟、直、欲、奮、鵬、翼、不、要、區、區、百、萬、封、月、明、眞、韭、灣、頭、夕、坐、想、雄、圖、獨、眼、龍。

ア、今日ノ形勢ヨリ獨眼龍ノ雄圖ヲ施スノ時機アルヲ許スヤ否ヤ

今は又如何に詮術すべいの物と眺むる此處の月かな

或ル一土人ノ話ニ我呂宋人ハ實ニ西班牙ノ壓制ヲ厭ヒ其羈絆ヲ脱セント欲スルモノナリ實ニ支那人ノ狡猾ヲ忌ミ國外ニ追ハンコヲ希フ者ナリ昨年日本ノ火山列島ヲ占領スルヤ實ニ喜ヲ表シタリアア日本國ヨ日本人ヨ願クハ其壯圖ヲ擴ケ臺灣ヨリ此非立賓群島ヲ畧セヨ是我呂宋人ノ望ム處ナリト



土人ハ再ヒ兵ヲ擧ケタルモ西班牙政府ヨリ壓伏サレタリ街頭ノ商賈殆ト盡ク支那人ノミ西班牙人支那人ノ土人ヨリ嫌惡ナルルハ蓋シ此故ナリ  
 廿三年ノ春ニハ金剛比叻ノ兩艦ハマリアナ群島ガムニ巡航セリ昨廿四年夏ニハ火山列島ヲ占領セリ同年秋ニハ當比叻ハ又ガムニ寄港セリ西班牙人ハ皆猜忌ノ眼危懼ノ心ヲ以テ之ヲ迎ヘタリ現ニ昨秋ノ如キガム知事ハ土人ノ我艦ニ來ルヲ禁セリ我艦ノヲヲ西班牙政府ニ訴ヘリ我外務省ニ尋問スル所アリキ聞處ニ因レハ曩ニ西班牙ニ於テ我日本ノ火山列島ヲ占領スルヤ其官民ノ感情甚タ穩ナラズ日本討ツヘシナトノ動議起リシカ愈ヨ日本ト戰端ヲ開カハ勝算果シテ孰レニアルカノ疑問第二ニ現ハレヌ然ル結局其東洋ニ於ケル海軍ノ勢力ハ迎モ日本ニ優ル能ハサル者ト決シ寧ロ朋トナルモ敵トナル勿レ東洋ニ於ケル西班牙ノ勢力ヲ有テカノ領分ニ充滿セル支那人ヲ驅逐センニハ一ツニ日本ノ力ヲ藉ラサルヘカラスト爲シ爾然我日本ニ對スル感情方策ヲ改メ一意我日本ノ歡心ヲ得ン者ノ如シ乃チ日本ヨリ輸入品ニハ特ニ稅額ノ半ヲ減シ日本郵船會社ニ一ヶ月二千弗ノ保護金ヲ與フルナト特別ノ待遇ヲ爲セリ二週間前我高千穂浪速ノ此「マニラ」ニ投錨スルヤ其一週間ノ碇泊中西班牙官吏ノ待遇篤カリシト云フア、西班牙政府ヲシテカクナサシムルハ何ソヤ我大日本ノ海軍アレハナリ我大日本ノ海軍アレ

ハナリ

余ハ身ヲ以テ帝國海軍ニ許セシモノナリ我海軍ノ消長ヲ深ク憂フル者ナリ「マニラ」ニ來ツテ高千穂浪速兩艦ノ來航セシヲ聞キ大ニ喜フ所アリ我帝國ノ海軍進歩セシヲ知ルナリイツモ經費ノ點ヨリ躊躇日本沿岸或ハ上海ウラジホストツク邊ヲ巡航セシ艦隊ノ一步ヲ進メテ香港マニラ迄ニ及ホサントハ何等ノ快事ソヤ艦内又一入ノ愉快ヲ感セサル者ナシ

馬尼刺港ニ投錨スルヤ例ニヨリ西班牙國ニ對シ廿一發ノ禮砲續テ同國艦隊司令長官ニ對シ十三發ノ禮砲ヲ放チシカ旗艦并ニ陸上砲臺ヨリ直ニ答禮アリキ午前十時五十五分檢疫官來艦ス艦内ハカノ熱病流行シ枕席狼藉且ツ遺櫃ヲ飾リアルヲ以テ如何ニ小面倒ナルヲ生センカト坐ロニ案シタリシモ案スルヨリ産ムカ易ク極メテ單簡ニタタ儀式一遍ノ視察ニテ辭シ去リヌ

午後五時十分小蒸汽大艇ヲ出タシ又總帆ヲ取離ス五時五十分當港註割我帝國領事代理來艦ス夜歸ル其夜本國ヨリノ手紙郵便ニ接シヌ又浪速高千穂各士官ノ手紙ヲ殘シアル者ヲ得ヌ快言ヲ可ラス終宵手紙新聞閱讀ヲ事トセリ  
 溫度八十八度熱氣ヲ覺ユ

○十六日水曜 午前圓材ヲ洗フ九時五十五分森艦長旗艦其他ヲ訪問セラル午後



四時五分サンクイントン号艦長來艦セラル少時ニシテ去ル  
 ○十七日木曜 晴午前七時卅分諸野氏ノ葬儀ヲ行フ滿艦悄然涙ヲ吞ンテ之ヲ陸ニ送ル終ニサン、ベドロ、マカチノ墓地ニ葬ル葬式埋葬ニ付キ頗議スル所アリシモ此地火葬ヲ許サス又兵器携帶隊伍ノ上陸ヲ許サルヲ以テ儀仗兵ヲ上ケス遺骨ヲ本國ニ持チ歸ルコトモ出來ス終ニ之ヲ埋葬ニ付セリ、アアサンベドロ、マカチノ墓地ヨ我比叙一行ノモノノ長ク胸襟ヲ去ラサル悲愴ノ地トナリス

ここもまた忘れぬ里となりけり

十一時二十五分カステラ艦長訪問午後零時三十分半舷上陸ヲ許サル余モ亦上陸ス河口船舶ノ咽嘆我大阪河口ニ過ク街上ヲ散步スルニ汚穢厭フヘシ然レ共商賈ノ盛ナル余ノ想像外ナリキ郵船會社支店ニ至リ又一二ノ雜品ヲ購フ六時歸艦ス  
 ○十八日金曜 午前七時廿分總帆ヲ取付ク十一時四十四分南東微東ヨリ驟風雨俄然來襲ス直ニ「ロヤル」ヲ下ス半時餘ニシテ止ム午後半舷上陸ヲ許ス  
 ○十九日土曜 正午市知事來艦  
 ○廿日日曜 午前八時微雨ス九時卅分分隊點檢アリ十一時十分司令長官來艦ス其退艦ニ際シ禮砲十三發ヲ放ツ此日微雨乍晴レ乍チ來ル

○廿一日月曜 晴石炭積入方ヲナス八時廿五分ヨリ午後零時三十分終ル此事業盡ク支那人ノ手ナリ五時大艇小蒸汽ヲ取入ル  
 當「マニラ」ニ住スル我日本人ハ僅ニ四人ナリ一人ハ大工、一人ハ行商他二人ハ領事館ノ領事代理及書記ナリトス郵船會社支店ノ支配人ハ白人ナリ其他下僚給使等ハ盡ク馬尼刺人ナリ  
 ○廿二日火曜 曇午前六時汽鐘點火十時十分拔錨出艦スルコトニナリヌ一時殆ト底止スル所ヲ知ラサルカ如キ觀アリシ彼ノ「マラリヤ」熱モ當港投錨ノ日ヨリ稍下火ニ向ヒシ者ノ如ク拔錨ノトキニハ已ニ輕快釣床ヲ離ルル者多シ午後一時廿分「コルレゲドル」島燈臺ヲ左舷正横千二百「ヤード」ニ見ル六時卅分右舷艦首ニ「グレ」トトカツボン「ノ」燈火ヲ認メ八時五十三分ノ右舷正横ニ見ル此日屢縱帆ヲ展セシモ風向惡シク屢之ヲ絞ル  
 ○廿三日水曜 晴北風ニヨリ三ニ至ル者ヲ得  
 正午北緯十六度廿三分東經百十九度九分針路北廿九度西二百一哩  
 ○廿四日木曜 曇朝來北風強ク夕ニ至リ漸ク東ニ偏シ其力六ニ至ル  
 正午北緯十八度卅九分東經百十七度四十三分針路北卅一度西航程百五十八哩半  
 潮流正南ニ九哩アリ



○廿五日金曜 曇雨屢來ル風威衰へス終日波浪頗高ク近頃北半球ニ入りテ珍ラシキ不穩ノ天候ナリキ吹ケヨ吹ケ荒レヨ荒レト望ミシ余等ノ腦中モカノ熱患者ヲ伴ヒシコトナレハナルヘクハ静カニアレ穩ニアレト望ムニ至リヌ午前八時五分一隻ノ風帆船滿帆風ヲ孕ミテ愉快ニ南走スル者ト逢フ  
 正午北緯廿度四十三分東經百十五度十分針路北五十度西航程百九十哩西方ノ流潮強ク卅哩西ニ偏セシヲ知ル夜ニ入り速力ヲ減スレマ群島ノ前途ニアルヲ虞ルレハナリ

○廿六日土曜 晴朝起艦首ニレマ群島ヲ認ム十時サルハ一海峡ニ向フ十時十分「グロリアイラレド」燈臺ヲ左舷正横ニ見テ香港ニ入ル十時四十五分停止ス知港事來艦セリ誤テ指定ノ錨地ヲ過キ艦首ヲ回ラサントセルモ港内船舶多ク太タ艱難ナリ漸ニシテ頭ヲ回ラシ十一時卅五分右舷錨ヲ投ス全五十分左舷錨ヲ投シテ「ムニア」午後ニ至リ「ムーリ」ングスイブルヲ置ク艦ハ英露西米軍艦ノ間ニ我旭章旗ヲ飄ヘス在留ノ我同胞人之ヲ見テ其感情果シテ如何カ

香港流石ハ東洋一二ノ良港貿易ノ中心タリ碇泊ノ軍艦商船帆檣林立タリ本艦ノ禮砲ヲ發チシ日モ此航海ニ於テハ香港ヲ第一トス先ツ英國女王陛下ニ向ヒ廿一發次ニ英國艦隊司令長官ニ十五發魯國艦隊司令長官ニ十三發「アメリカ」國艦隊司

令長官ニ同シク十三發總計六十二發ヲ放ツ陸上砲臺并ニ各旗艦ヨリ直ニ答砲セラル硝煙港ヲ蔽ヒ轟聲海ニ響キ山ニ鳴リテ勇マシシ三時艦長各艦ヲ訪問セラル三時五十五分西班牙軍艦出港ス

此日新聞郵便ヲ受取ル濠洲ヲヘテ來ル者アリ余ノ如キ都合十二通ヲ受取レリ一讀ナホ刻ヲ過ク一夜新聞閱讀ニテ寢ネス我本國ノコトナホ身其境ニアルカ如シ異域ノ土ニアルヲ感セサルナリ

○廿七日日曜 曇ル午後雨フル「マラリヤ」熱モ大ニ衰へ臥ス者ハ僅ニ過キス其病熱ノ燒點ナル候補生室モ已ニ四五人ニ下ルヲ以テ候補生水雷術試驗ヲ行フ余ハ四時上陸砲術長ト共ニ廣東行ノ汽船ニ投ス

廣東 廣東ハ支那南部ノ首府貿易ノ中心水師ノ根據一旦事アリ必ス争フヘキノ地必ス衝クヘキノ地將校ノ一見ヲ勞スヘキノ價值況ンヤ珠江ノ水路屈曲逶迤湖ニ難ク下ルニ艱ム我海軍將校ノ一航他日ノ用ニ應スヘキノ路タルヤ知ルヘン茲ニ余ハ山下大尉ニ誘ハレ廿七日午後四時上陸直ニ埠頭ニ至リ汽船漢口号ニ乗ル乘客咽噴爲メニ一室ヲ得ル能ハヌ五時半解纜南太澳島ト馬鞍島ノ間ヲ過リ銅鼓島ヲ右ニ見テ過ク時ニ日全ク暮レ四方暗黒ニシテ辨スル能ハヌ水路ノ目標又一ツモ知ルヘカラサルナリ遺憾八時半晚餐ニ就ク食膳ノ美味云フ可ラス飽食滿胃



忽チ聞ク船底嗽々聲アリ機關忽チ靜カニ船ノ擱沙セシナルヲ錨ヲ投シテ滿潮ヲ待ツ乃ハチ寢ニ就ク夜半夢覺ム潮來リ船浮テ拔錨スルヲ見ル雨又來リ前路濛々眼ヲ勞スルモ益ナシ又眠ニ就ク朝ニ至ルマテ二三回起出ルモ又益ナカリキ味爽第二柵ヲ過ク六時第一柵ヲ過ク柵門ニ重僅カニ八十呎ノ通路アルノミ木柵ノ間ハ嚴ニ鐵鎖ヲ張ル附近ノ丘阜諸所砲臺ヲ見ル終ニブレンヘイム通路ヲ取ル水路又一ツノ鐵鎖柵ヲ見ル七時半廣東ニ達シ沙面濱ニ投錨ス江心恰モ是帆檣林立輕舸小艇水ヲ蔽ハントス上陸スル者ハ先ヲ爭ヒ客ヲ延クノ舟ハ多キヲ爭フ喧々囂々トシテ一場ノ奇觀ナリキ山下大尉此行ノ企アルヤ曩キニ香港領事館ニ至リ領事ヨリ廣東在留ノ我國人永田虎次郎紹介ノ書ヲ得タリシカ艦ヲ出ツルノ際之ヲ遺失シ且ツ其姓名ヲ忘ル然モ永田氏素ヨリ著ハル運轉手又之ヲ知ル爲メニ使シテ氏ヲ招カシム船内ニテ朝食ノ卓ニ就ク終ル頃永田氏來ル乃ハチ伴ハレテ沙面ニ上ル此地ハ外客居留地ナリ雅片ノ亂後洋人此沙地ヲ填メ以テ己レカ居所トナス故ニ沙面ノ名アリ區劃正シク建築稍見ルヘシ一橋ヲ渡ル番卒アリ傍ニ一營アリ橋ニハ鐵門ヲ設ク警戒稍嚴ナリ蓋シ居留地ノ非常ニ備フリナリ橋ヲ過クレハ實ニ肩摩疊擊ノ大繁盛タリ行クト二丁途永田氏ノ寓ニ投ス氏ハ八年前ヨリ此地ニアリ貿易ニ従事セリト云フ憩フ一少時又氏ニ伴ハレ廣東城内及ヒ四壁ヲ見ン

ト途ニ上ル街路ノ狹隘ナル街頭ノ雜沓ナル招牌ノ多數ナル店頭ノ繁闐ナル實ニ余カ意想外ニ出テヌ路幅ノ廣キモ我東京日蔭町ニ及ハス若シ一人ノ大手打振リ歩ム者アルトキハ行キ違フ人ハ軒下ニ避ケサル可ラストテモ二人シテ相駢ヒ乍ラ歩マンコハ殆ト出來得ベカラサルナリカク道路ノ狹隘ナルニ加ヘ人口ノ頗ル過多ナルヲ以テ街頭ノ雜沓云ハシ方ナシ到處人行絡繹密肩肩ト摩シ手手ト觸ル喧々囂々混々雜々タリ而シテ店頭ニハ色紙ニ筆太ク種々ノ文字ヲ認メタル者ヲ帖シアルノミナラス金字銀字ヲ以テ現ハシタル招牌ヲ掲ケタルヤ實ニ無數ニシテ殆ト三十間ヲ隔ツレハ招牌ノ爲メ前ヲ遮ラレテ望ム能ハス人アリ若シ廣東市上何物カ尤モ多キト云ハ、余ハ招牌ナリト答フルニ躊躇セサルナリ且ツ店頭ノ修飾華麗ナル又眞ニ當地ノ名産タランカ家屋櫛比道路敷クニ石ヲ以テス太平門前ヲ横キリ正西門ヨリ城内ニ入り同文館ヲ見ル館ハ滿洲人及ヒ官吏士弟ノ修學所ニシテ英語ヲ教授ス余等一行ノ訪問セシトキハマサニ英國教師ノ數學ヲ教ユルトキナリキ本校生徒ノ年齢十三ヨリ三十ニ至ル之ヲ辭シ城北ノ丘陵ニ至リ終ニ五層樓ニ上ル樓ハ當府第一ノ美勝トス建築又尤モ宏壯ナリト雖モ今ヤ頽破セントス四顧ノ眺望極メテヨク廣東近郊盡ク眼下ニアリ附邊ノ阜陵大砲ヲ備フルモ鏽鏽セリ



征兒伏劍上城樓。千里江山入兩眸。落日雲迷鴻影沒。西南寸黛是何州。

樓ヲ下リ北門ヨリ廓外ニ出テ養老院ヲ過キリ造幣局ニ至ル局吏米人某氏指示説明ノ勞ヲトル太々勤ム終テ氏ノ寓ニ慰フコト少時辭シテ正東門ヨリ再ヒ城内ニ入リ大藏省前ヨリ一折南大門ニ出テ新城廓ニ入り又太平門ヨリ郭外ニ出テ永田氏ノ寓ニ歸ル日本流ノ膳部ニ對シ飯ヲ喫シ又河上ノ保安號ニ赴キ寢所ヲ定ム蓋シ保安號ハ明朝「ワンプ」ノ路ヲ過ギルトノ「ナレバ」又水師ノ一班ヲ見水路ノ如何ヲ見ルコトヲ得ン目的ト寧「ホテル」ニ泊ルヨリハ船内反ツテ快キナルベシノ感想ヲ以テ泊セシナリ夕ニ及ビ又永田氏ニ伴ハレ上陸沙面地ヲ散策終ニ一白耳義人ノ宅ニ入り談話刻ヲ移ス歸路書店ニ入り廣東案内一部ヲ購ヒ保安號ニ歸ル八時半永田氏辭シ去リヌ其夜ハ砲術長ト「ダブル」ニ寝テタルカ毛布薄ク寒氣強ク爲ニ夢ヲ破ラル「ア」キ翌朝沙面地ニ船ヲ進メ七時半「ブレ」ヘン「ム」通路ニ向テ發ス失望遺憾又言フ可ラサルナリ歸路ハ恰眼ヲ睜ハリ唯水路ノ目標ヲ失ハス己レカ記憶ニ殘サンコトヲ勉ム兩側ノ砲臺其數實ニ多シト雖其構造ハ如何其兵備ハ如何カ四時香港埠頭ニ着ス下リ車ヲ駛ヒ我上陸地ニ至ル艇ナシ一小

舟ヲ雇フ一家七人盡ク此扁舟ノ裡ニアリ風雨強ク五時廿分歸艦スルコトヲ得タリ

此日艦ニハ練習候補生機關術試驗アリ

○卅日水曜 曇午前各國艦隊長官艦長ノ來艦スル者相踵ク舷門番兵出迎衛兵隊太々煩忙長官ノ退艦ニ際シ制ニ從ヒ禮砲ヲ放ツ十時魯ノ旗艦「アゾ」ヲ訪問ス寒氣強ク五十八度ニ下ル

○卅一日木曜 曇六時空知丸出帆ス廿九日入港セシモノナリ魯ノ「アソ」號八時六分出艦ス午後一時上陸先ツ「ケ」ブルカーニ乘リ香港第一ノ勝「ピクトリア」山嶺ニ上ル俯瞰四顧感慨頻ニ起ル滿目ノ山河是誰ノ有ソヤ悲憤逍遙スル一時餘又「ケ」ブルカーニ乘リテ下ル下ツテ市街ヲ散策シ二冊ノ書ヲ購ヒ五時歸艦ス

○四月一日金曜 半晴六時米艦「アララット」號出ツ十時「ア」チヤ「」號出ツ午後三時廿分再入港セリ

香港島ハ北緯廿二度一分ヨリ全九分東經百十四度五分ヨリ全十八度ノ間ニアリ長サ十哩幅二哩周圍廿七哩ノ一小島ニシテ廣東河口ノ東方ニアリ廣東ヲ距ル九十哩澳門ヲ距ル四十哩東部屈指ノ良港タリ人口大凡十六萬ヲ有ス對岸ノ九龍半島其面積四方哩ヲ畫シ木柵ヲ以テ清領ト別ツ皆英吉利國ノ領地タリア、到處盡



ク是東洋人種ノモノナラス空シク洋夷ニ占斷セラレトハ遺憾何ソ極マラン英人ノ拮据經營ノ周密ナル驚クヘシ感スヘシ全島嵯峨タル山岳馬鬣ノ如ク一ツノ平地ヲ見スト雖海濱ヲ填メ山腹ヲ平ニシ市街家屋ヲ設立セリ其建築ノ壯大ナル觀ルニ足ル者アリ、グイクトリア山嶺ニケイブルカトヲ設ケ山嶺ニ旅館ヲ設ケ道路ヲ通スルナト人ヲシテ規模ノ壯ナルニ驚カシム港ハ英國東洋艦隊ノ繫泊所ニシテ軍艦ノ碇泊スル者多ク商船ノ出入又頻繁一船出テ一船來ル、ビクトリア山嶺信號竿頭旗ノアラサルコトナシ眞ニ是東洋交易ノ中心タリ船舶ノ寄航所タリ石炭ハ政府所屬ノ倉庫ニアリ又私有倉庫ニアリ、ウエルス及日本九州地方ノ者アリ本艦ハ高島產ヲ購求セシカ一噸七圓五十錢ナリ食品等ノ需要品ハ多量ニシテ價廉ナリトス、飲水ハ彙ニ、タイムスニ水溜ヲ製シ兩季之ヲ蓄積シ鐵管ヲ以テ之ヲ全市ニ導ク導水ノ法見ルニ足ルヘシ其質不良ナラス又造船會社二箇所アリ皆完備シテ堅牢ナル船渠ヲ有ス艦船ノ修理等一モ缺クル所ナシト云フ

香港ノ防禦ハカノ英人ノ經營セシ者其砲臺等實ニ盡セリト謂ツヘキカ全島兵士三千人アリ又鎮守府海軍病院ハ舊艦三層甲板ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充ツカク其兵備ノ完キニモセヨ此香港ノ商權ハ多クハ支那人ノ手ニアランカ市街ノ商店殆支那人ノ物ノミ白人ノ店ヲ見ルヲ稀ナリトス

香港ハ已ニ我國人ノ屢來ル處ナレハ余ノ筆ハ徒ラニ蛇足タルヲ免レス委細ヲ知ラント欲セハ余カ購ヘル香港案内記ヲ讀メ余ハ茲ニ擱筆セント欲ス然レ共當香港ニ於ケル我日本人ノ位置ハ如何ンカ是余カ筆セント欲スル所ナレ共又快ク筆スルニ忍ヒサルナリ聞ク去年十二月卅一日ノ調査ニ我在留人二百五十二人内男兒ハ僅ニ百二人殘餘ハ婦人ニシテ其人ニ向ツテ耻チサルノ女ハ僅々二人ナリトス男兒ト雖モ我居留人ノ組織セル土曜會ニ出席シ得ル者ハ又廿人ニ上ラスト云フ噫矣噫矣

○二日土曜 晴午前十時十五分香港拔錨品海ニ向フ十一時、ライモン水道ヲ出ツ全三十分、タリン水道ヲ出ツ已ニ我日本モ僅々一週間ニシテ見ルコトヲ得ン、乃チ「格蘭ク」ノ半回轉時計秒針ノ一轉毎ニ近ツクニ至レリ午後二時二十分「ポイントヤード」ヲ行ヒ「ゲルンマスク」ヲ半ハ下ス風力強ク殆艦首ヨリス濃霧ス四方ニ起ル夜漁舟ニ逢フコ多シ

○三日日曜 曇午前人員調査ヲ行フ又候補生運用術試驗アリ此日風力強ク浪稍高シ太陽ヲ中天ニ認メ得ルモ靄霧ノ爲水天交界ヲ辨スル能ハス屢測鉛ヲ投シテ艦位ヲ確ム

正午推測北緯廿五度九分東經百十七度十五分針路七十一度東距離百六十八哩



○四日月曜 午前十時端艇軍裝操練ヲ試ム  
 正午北緯廿四度十九分東經百十四度廿七分針路北五十一度東ニ百五十一哩  
 ○五日火曜 風力微ニシテ霧大ニ收マル午前戰鬪操練本艦軍裝哨艇配置操練ヲ  
 ナス午後二時縱帆ヲ展セシカ夜ニ入り之ヲ絞ル  
 正午北緯廿六度四十八分東經百廿二度三十一分針路北四十八度東ニ二百廿五哩  
 流潮北緯五十六度東ニ十六哩ナリ  
 ○六日水曜 雨フル午前陸戰隊操練ヲナシ午後縱帆ヲ展ス  
 正午北緯廿八度十七分東經百廿六度十一分針路北六十六度東航程二百十五哩流  
 潮正東ニ八哩アリ  
 ○七日本曜 午前疾風艦首ヨリ來ルヲ以テ縱帆ヲ絞ル六時卅分雹下リ雨ニ變ス  
 七時雨止ムモ風猶強ク艦艙ノ滾轉春動甚シ八時卅分右舷艦首ニ方リ一點ノ青臥  
 蛇島ヲ認ム是昨廿四年九月廿日以降始テ目セシ我日本領ノ島ナリトス快ナリ之  
 ヲ認ムルヤ又薩南諸島續々眸ニ入りテ來ル午後四時廿分口永良部島ト並ヒ六時  
 廿分硫黃島ヲ左舷正横ニ見ル佐多岬海門岳等我行ヲ迎ヘテ笑フモノ、如ク指點  
 喃々人ノ舷頭ニ立タサルモノ稀ナリキ七時廿五分竹島ヲ左舷正横ニ九時廿分佐  
 多燈臺ヲ見ル夜ニ入りテ風穩ニ浪又靜ナリ

正午北緯卅度十六分東經百廿九度卅八分針路北六十二度東距離二百十五哩流潮  
 北四十度東廿五哩ニシテ已ニ黑潮ニ感スル多ヲ知ル  
 ○八日金曜 快晴午前一時四十五分左舷艦首ニ日向大島ノ燈光ヲ認メシカ三時  
 之ト並フ午後四時ヤードヲ直シトツブスルヲ展レ高桁ヲ備ヘゲルンスルヲカク  
 正午北緯三十一度四十二分東經百三十二度五十三分針路北六十度東航程百九十  
 四哩トス  
 ○九日土曜 午前三時四十五分左舷艦首三點ニ沙見崎燈火ヲ見四時四十分檣野  
 崎燈光ヲ認ム朝總帆ヲ伸ヘ「ロヤル」ヲ展セシカ七時卅分風向俄然變セシヲ以テ直  
 ニ横帆ヲ絞リ縱帆ヲ展ス九時九分風ノ再ヒ艦尾ニ偏スルヲ以テ又横帆ヲ展シ又  
 風ノ異ナルヲ以テ之ヲ絞ルコト屢ナリ風力強ク其力五ニ至リ波浪高ク艦ノ動搖  
 甚シ午後六時四十五分御前崎燈臺ヲ認メ八時之ヲ正横ニ見テ針路ヲ變ス九時五  
 十分神子元燈臺ヲ望ム十一時卅分ト並フ  
 正午北緯卅三度五十分東經百三十七度七分  
 ○十日日曜 神子元燈臺ヲ過クルヤ僅一時ナラス風向俄然トシテ變シ奇寒言フ  
 可ラス直ニ展帆ヲ絞ル劍崎燈臺ヲ六時四十五分左舷正横ニ見ル終ニ諸「ヤード」ヲ  
 正シ威儀ヲ繕ヒ一隻ノ艦體勢ヨク東京灣内ニ乗込ミタリ愉快何ノ辭カ之ヲ表セ



シヤ、唯諸野、弘瀬、中村、松岡四氏ヲ失ヒ、總員三百六十一人、茲ニ四人ヲ缺キテ、今日アルハ、轉々、憮然ニ堪ヘサル所ナリ、十時卅分、羽根田燈臺ヲ左舷正横ニ見ル、遠クハ富峯函嶺近クハ房線ノ諸山東都附近ノ風光相笑ツテ我ヲ迎フル者ノ如ク、茲ニ日數二百四日ヲ費ヤシ、一萬四千九百九十四哩ノ長程ヲ經テ、日出度品川灣ニ入り、一聲、聲高ク、錨入レト、諸共ニ「ズドン」左舷錨ヲ投シタルハ正ニ是、今上天皇明治廿五年ノ春四月十日午前十一時十五分ニシテ、此航海ヲ終リタリ、日出度シ、日出度シ、

航過一萬四千程、富嶽依然、帶笑迎、今日平安、是誰力、小臣先拜九重城。

○

送廣瀨武夫君之南洋

本間 九介

水天一碧望渺茫、南海風光感慨長、瘴烟癘雨君勿愴、朝陽紅處是故鄉。

次韻

廣瀨 武夫

舷頭回首水茫茫、一萬三千航路長、男子生涯君識否、滄溟到處是吾鄉。



航南私記の後に書す

廣瀬少尉酒を嗜ます而して餅を好む妓女に戯れす而して詩歌を弄す事を忽にするに無く業を怠ること無く小心翼翼切に職分を盡す能はさることを畏る想ふに色蒼にして頰陥り煦々を仁と爲し子々を義と爲し規矩に拘泥し些事に齷齪し難に臨みて倉惶狼狽爲す所を知らざる者ならんか而して其人を看るに形貌豊偉對談快活時に詼諧人の願を解く確々乎として使酒流連する者を壓することあり磊落を装ふは大心に於て小膽なりと云ふ小心にして大膽なる焉ぞ天真の爛漫を妨げんや樂翁言ふ只色にふけり酒にのまれてかゝずりありき我がすべき事をもせず晋の世のみやびなりと思ふたぐひはいふにもたらじいでや武夫ならばかの槩横たへてからうたよみ弓に矢はけて歌よみしなどほまことのみやびな



るべしと少尉の如き寧ろみやび男と稱すべからざるか信玄  
入道鏡を援て曰く吾が貌は不動明王に似たりと乃ち劔を抜  
き繩を握り雕工をして肖像を刻ましむ今尙ほ甲州人士の尊  
敬を表する所なり少尉豈に言ふを得さるか吾が貌は仁王尊  
に似たりと渠れ仁王や山門に屹立して寺院の莊嚴を顯はす  
少尉其れ發憤勵精して東海の大關門を干護するの意なから  
んや素より智深坊主の輩に毆打せらるゝの痴を免かるゝこ  
とを得ん勉乎哉二十年の後此の航南私記を披かば果して如  
何の感かある

明治廿五年四月

尋知 三宅 雄 識

## 活版航南私記跋

松平伯爵誠意正心の學を好み身修まり家齊ひ更に政  
治以外に於て世の風教を賛くるを身の務めとせらる  
夙に日本弘道會に入りて其の副會長に推され又躬行  
會を興こして之が幹事たり爲に施設する所頗る多し  
とそ其の先哲の遺書の世に出てさりしものを刊行せ  
られしか如きは余が輩に至るまで亦其の惠に與かれ  
り實に國民の儀表にして華胄の型範とも謂ひつへし  
頃者故廣瀬中佐の弱き時にもせし航南私記といふ  
を一見せられ己れ獨り讀まんよりはとて許多の私財



を擲ちて活版にものしやがて之を同好に頒かち贈らんとせらる此の本是れなりさて此の事に就きて尤も稱すべきは令愛貞子姫の手づから之を抄寫して其の藁本を作られ家臣山口氏の女春子娘と朝日氏の女保子娘との之を佐書しかくて伯爵の親つから校讐せられしことなり蓋し伯爵を始め三人の淑女達まで中佐の人と爲りを尙づるの餘りそを人手に委するに忍みずとてなりとそ徳を好むの風閨闈に溢れたるを見るべし古人の刑于寡妻至于兄弟以御于家邦君子不出家而成教於國杯いはれしをおもへば亦以て伯爵の學の筆札口舌の外に在りて能く聖賢の心を得られしを窺

ふに足れり余中佐の同郷なる故を以て聊か上版の謀に與かることを得たりされば始めより此の事に盡力せられし松本眞弦ぬしの跋をものせよと勧めらるるに辭みかねてまのあたり見聞せしことともを記すと此の如し

明治三十七年九月十五日 竹田 工藤 一 記



明治三十七年九月二十日印刷  
明治三十七年九月廿五日發行

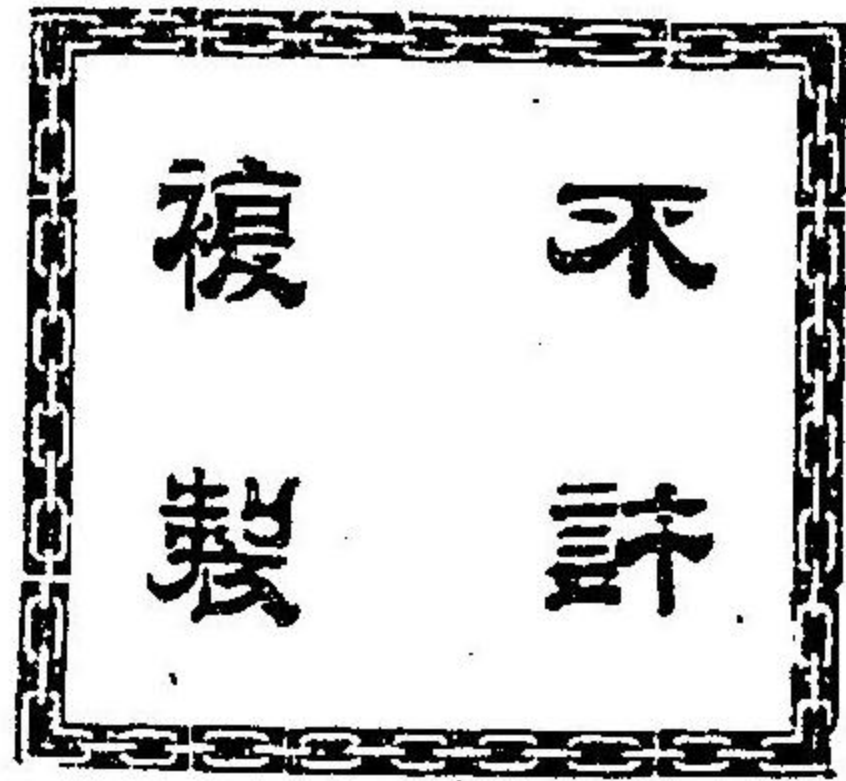
(非賣品)

著者 故 廣 瀨 武 夫

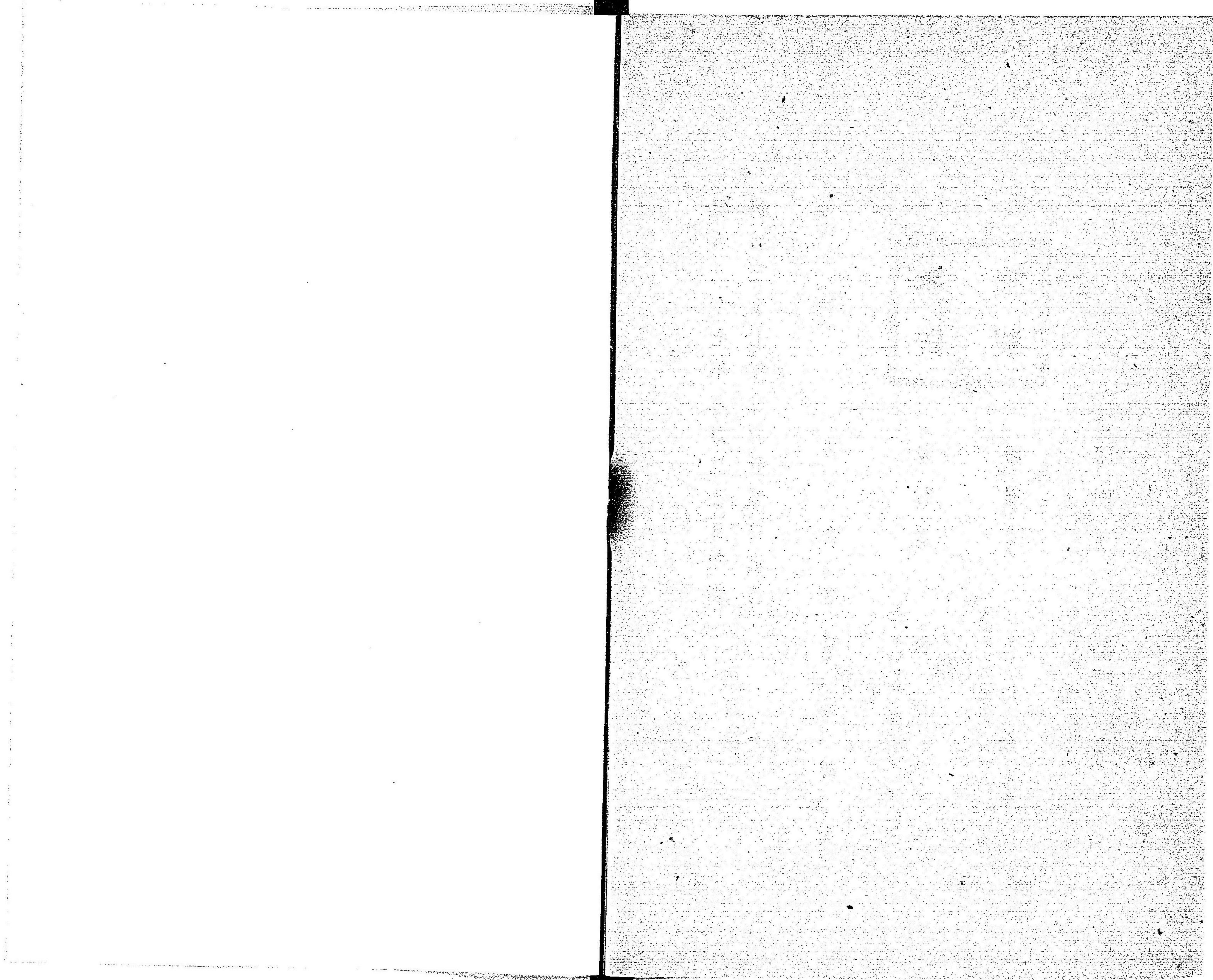
發行者 松 平 直 亮

印刷者 東京市京橋區西紺屋町二十六七番地  
石 川 金 太 郎

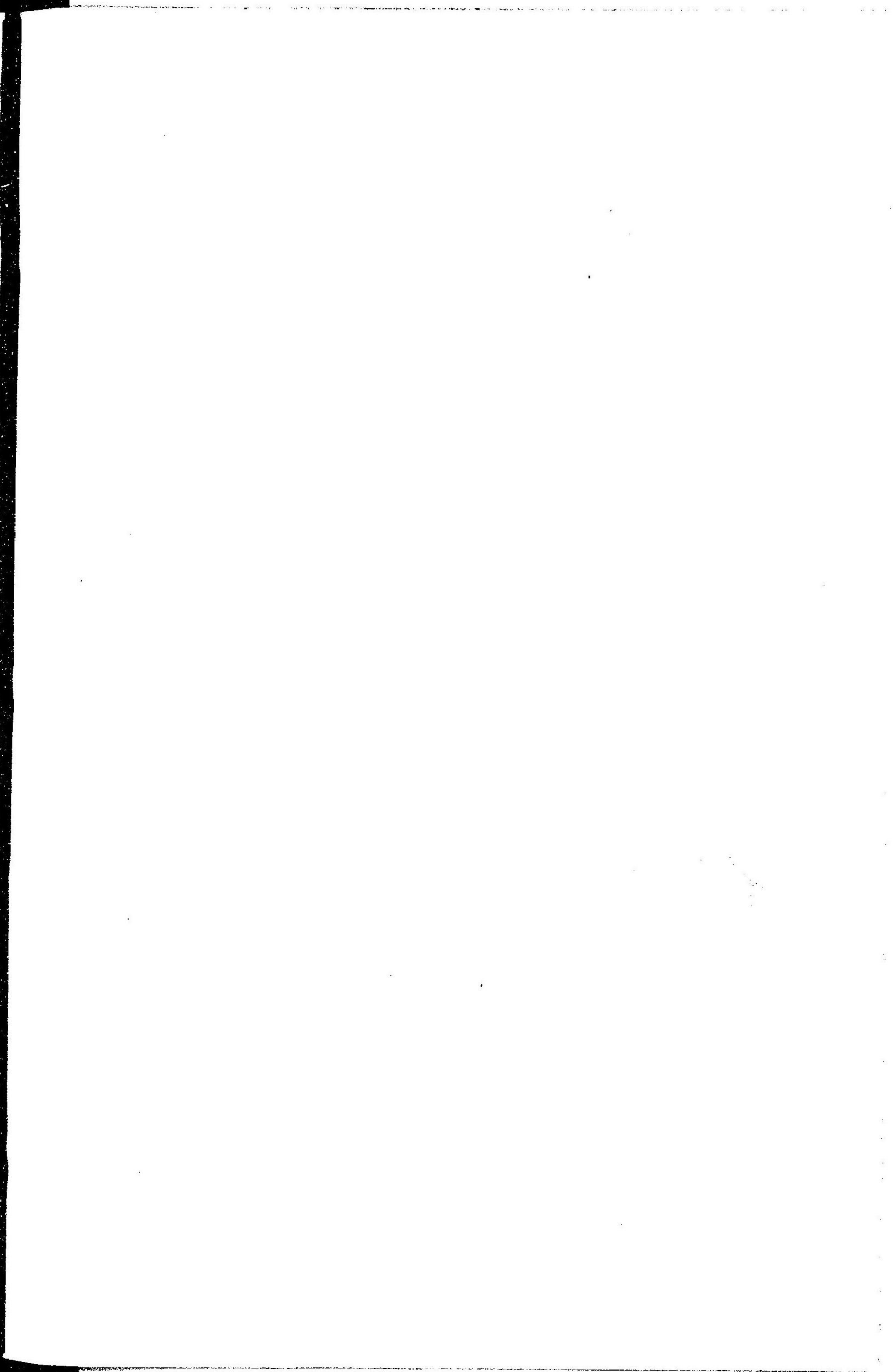
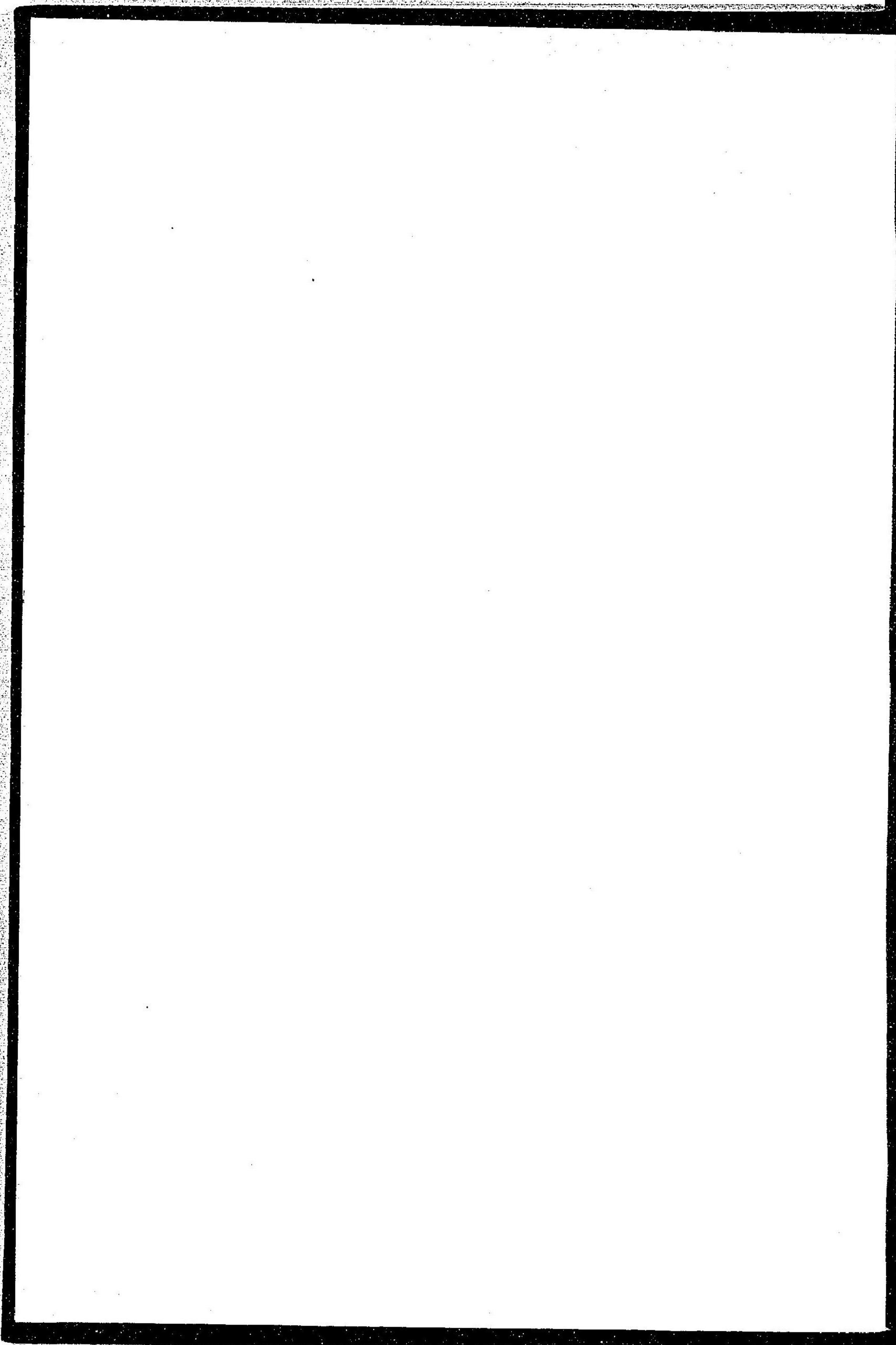
印刷所 東京市京橋區西紺屋町二十六七番地  
株式會社 英 舍



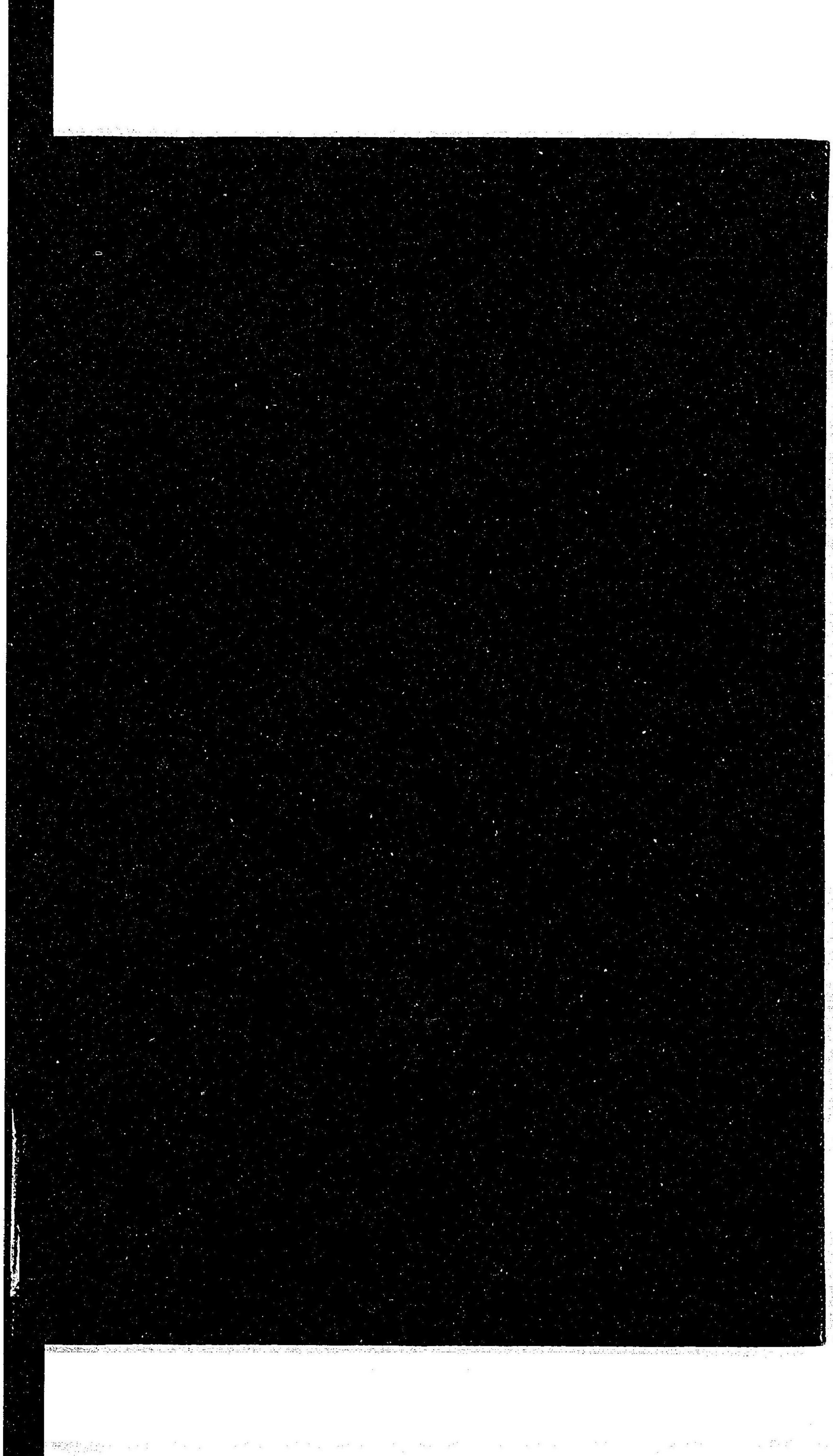














067103-000-5

558-H566k

航南私記

広瀬 武夫/著

M37.9

CDG-0217





